

# がん対策推進評価専門部会報告書

～がん 75 歳未満年齢調整死亡率が高い要因及び今後取組むべき対策について～

平成 25 年 2 月 16 日

## がん対策推進評価専門部会

- 部会長 祖父江 友孝 (大阪大学医学専攻社会環境医学講座 教授)
- 委員 合地 明 (岡山大学病院 教授)
- 委員 大城 等 (鳥根県保健環境科学研究所 所長)
- 委員 岡本 幹三 (鳥取大学医学部 健康政策医学分野 講師)
- 委員 吉中 正人 (鳥取県医師会 副会長)
- 委員 岡田 克夫 (鳥取県健康対策協議会 理事)
- 委員 中村 廣繁 (鳥取大学医学部附属病院 胸部外科 准教授)
- 委員 内田 伸恵 (県立中央病院 医療局放射線科放射線治療室 室長)
- 委員 陶山 久司 (県立中央病院 医療局内科 医長)
- 委員 藤井 秀樹 (鳥取県福祉保健局健康医療局 局長)
- 委員 長井 大 (鳥取県東部総合事務所福祉保健局 副局長)

### 1 検討概要

鳥取県は、平成 20 年 4 月に策定した「鳥取県がん対策推進計画」において、がんの 75 歳未満年齢調整死亡率の減少を計画目標の一つとし、平成 22 年 6 月に制定した「鳥取県がん対策推進条例」を契機に、がん予防、がんの早期発見、がん医療の推進などを強化したところであるが、本県がんの 75 歳未満年齢調整死亡率（以下、「がん死亡率」という）は、全国と比較し、従前より高く（悪く）推移していることが問題となっている。

特に平成 22 年のがん死亡率の全国順位においても、本県は青森県に続きワースト 2 位となるなど、がん死亡率は依然として高く推移しており、その原因を究明し、有効な対策に取組むことが喫緊の課題である。

平成 24 年 6 月、県は、鳥取県がん対策推進県民会議のもとにがん対策推進評価専門部会（以下、「部会」という。）を設置。平成 24 年度中に行う「鳥取県がん対策推進計画」の見直し検討に併せ、本県が全国に比べがん死亡率が高い要因について、鳥取県地域がん登録や人口動態統計によるがん死亡、がん罹患状況や喫煙率をはじめとする生活習慣にかかる各種データをもとに総合的に評価分析し、今後取るべき有効な対策等について検討を行った結果の概要は、次のとおりである。

### <がん死亡率が高い要因と強化推進すべき対策>

75歳未満年齢調整死亡率を高くしている原因	左記の要因を引き起こしていると思われる項目等	必要な対策
肝、胃、肺がんの高死亡率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝、胃、肺がんの罹患率の高さ</li> <li>・肝炎ウイルス陽性率の高さ</li> <li>・塩分摂取・野菜摂取に課題 (ピロリ菌の関与の状況は不明)</li> <li>・50～60 歳代男性の喫煙率の高さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎ウイルス検査受診機会の拡大</li> <li>・肝炎ウイルス陽性者に対する定期フォロー検査の推進</li> <li>・肝炎医療費助成制度の推進</li> <li>・がん予防教育の推進(職域・学校)</li> </ul>
50 歳代から 70 歳代前半の男性で高い死亡率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肝炎ウイルス陽性率、喫煙率</li> <li>・検診受診率の低迷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙支援の推進</li> <li>・受動喫煙防止の推進</li> </ul>
乳がん等の死亡率が上昇傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40～50 歳代前半で全国平均より高い死亡率、検診受診率の低迷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診受診勧奨の強化等</li> <li>・医療体制の整備</li> <li>・高度専門的な医療を提供する拠点施設の体制強化(集約化)</li> <li>・県内がん診療施設での標準的な治療水準の確保(均てん化)</li> <li>・乳がん検診受診体制のさらなる強化</li> </ul>

## 2 今回、検討に用いた基本的なデータ

### (1)がん死亡

がん死亡データについては、主に「人口動態統計調査」を活用し、部位別、地域、年齢、性別に各種統計データの値を導いた。多くのがんは、加齢に伴い死亡率が上昇する傾向にあるが、本部会の評価分析は、75歳未満年齢のがん死亡率であることを鑑み、75歳未満年齢に注目して評価した。また、全国値については、独立行政法人国立がん研究センター（がん情報サービス）公表値等を用いた。

また、今回評価分析する上で特に注意したのは年次変動（年によるブレ）である。鳥取県＞部位別＞市町村別＞男女別と、細かく分析していく場合、該当件数が極端に少ないケースも発生し、単年だけのデータをもって妥当な評価を行うことはできない。このことを考慮し、年次推移以外の各種統計データは、数年間（5年間又は3年間）の平均により求めることとし、年次変動に対応させた。

### (2)がん罹患

主に「鳥取県地域がん登録」のデータを引用した。

### (3)生活習慣

歩行数（運動）、野菜摂取量、食塩摂取量、飲酒習慣の本県統計データについては、調査客体数を考慮し、より本県実態に近い平成22年県民健康・栄養調査（n=約700）とし、全国値は平成22年国民健康・栄養調査（n=約7,000）とした。喫煙率についても、同様の理由で平成22年国民生活基礎調査（n=約12,000）を採用した。

### (4)がん検診

市町村がん検診受診率及び精検受診率については、厚生労働省が集計した地域保健・健康増進事業報告を採用し、陽性反応の中度などの検診の精度管理の評価値は、鳥取県健康対策協議会の各プロセス指標を採用した。

肝炎ウイルス陽性率等についても、鳥取県健康対策協議会集計値を用いた。

### (5)がんの医療

#### ①院内がん登録2009年集計

治療前ステージ（I期～IV期）別、がん診療連携拠点病院別の治療方法割合。

#### ②がん5年生存率

がん診療連携拠点病院が公表する5年生存

## 3 鳥取県のがん死亡の現状

### (1)鳥取県のがん死亡率は本当に高いのか

本県のがん死亡率は、全国平均と比べ、従前より高く推移しているが、本県の年齢構成の特徴（高齢化）等が、本県がん死亡率算出に影響していないか分析を行った。

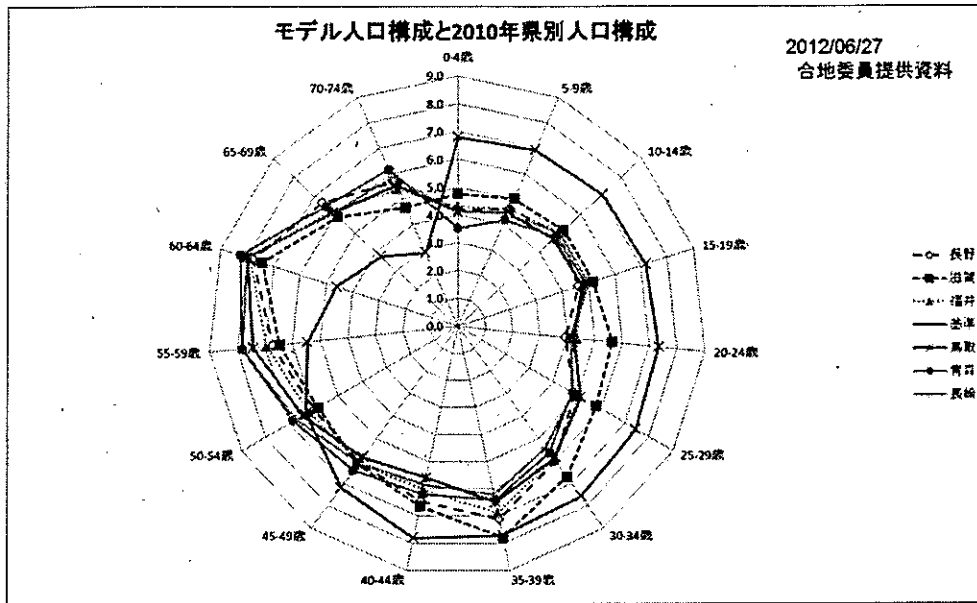
年齢調整死亡率の算出にさまざまな人口モデル（表1）を当てはめ分析した結果、鳥取県の死亡率は、いずれも全国平均より高い（悪い）傾向を示した。確かに算出に用いられている人口モデルは、鳥取県の年齢構成とは大きく異なっているが、全国的にみて高い（悪い）ことが確認された。（2012/06/27 合地委員分析）

<表1>2010年の75歳年齢調整死亡率(10万人対)

年齢調整死亡率比較の算定に用いた人口モデル	がん死亡率	全国順位
昭和60年全国人口モデル (現在用いられている基準人口モデル)	96.2	46位
2010年の全国人口モデルに当てはめた場合	157.7	46位
2010年の長野県人口モデル*に当てはめた場合	165.3	46位
2010年の鳥取県人口モデルに当てはめた場合	165.1	44位

\*長野県は従来よりがん死亡率が低く（良好）、同統計において10年以上にわたり全国順位1位

<表 2>



(2) どの部位にがん死亡者が多いのか

<表 3> 鳥取県の 75 歳未満死亡者数(死亡者数順)

	75歳未満死亡者数 鳥取県・男性 (単位:人)					75歳未満死亡者数 鳥取県・女性 (単位:人)						
	部位	2008	2009	2010	直近3年平均 (2008,2009,2010)	寄与率 (%)	部位	2008	2009	2010	直近3年平均 (2008,2009,2010)	寄与率 (%)
	全部位	544	475	543	520.7	-	全部位	283	250	280	271.0	-
1	肺	101	101	131	111.0	21.3%	乳房	31	42	53	42.0	15.5%
2	胃	90	74	101	88.3	17.0%	肺	34	36	37	35.7	13.2%
3	肝	78	65	80	74.3	14.3%	大腸	46	20	41	35.7	13.2%
4	大腸	55	59	58	57.3	11.0%	胃	33	35	27	31.7	11.7%
5	膵	45	40	43	42.7	8.2%	膵	27	19	19	21.7	8.0%
6	食道	42	36	26	34.7	6.7%	肝	15	18	23	18.7	6.9%
7	胆のう	16	21	12	16.3	3.1%	卵巣	17	15	17	16.3	6.0%
8	悪性リンパ腫	18	11	12	13.7	2.6%	胆のう	23	10	10	14.3	5.3%
9	前立腺	14	11	9	11.3	2.2%	子宮	10	12	14	12.0	4.4%
10	白血病	10	11	8	9.7	1.9%	悪性リンパ腫	11	7	5	7.7	2.8%

(出典) 人口動態統計調査 データ加工 3年平均 AVG (2008,2009,2010年)

⇒本県のがん 75 歳未満死亡者数は、男性は、肺がん、胃がん、肝がんの順で多く、女性は、乳がん、肺がん、大腸がんの順で多い。

<表 4> 鳥取県の全年齢死亡者数 (死亡者数順)

	全年齢死亡者数 鳥取県・男性 (単位:人)					全年齢死亡者数 鳥取県・女性 (単位:人)						
	部位	2008	2009	2010	直近3年平均 (2008,2009,2010)	寄与率 (%)	部位	2008	2009	2010	直近3年平均 (2008,2009,2010)	寄与率 (%)
	全部位	1144	1125	1171	1146.7	-	全部位	833	804	842	826.3	-
1	肺	254	266	294	271.3	23.7%	大腸	134	98	135	122.3	14.8%
2	胃	172	166	204	180.7	15.8%	胃	108	134	111	117.7	14.2%
3	肝	136	126	135	132.3	11.5%	肺	128	106	111	115.0	13.9%
4	大腸	114	125	118	119.0	10.4%	膵	86	79	66	77.0	9.3%
5	膵	87	76	88	83.7	7.3%	肝	56	70	70	65.3	7.9%
6	前立腺	54	72	59	61.7	5.4%	胆のう	66	59	69	64.7	7.8%
7	食道	62	57	47	55.3	4.8%	乳房	42	59	72	57.7	7.0%
8	胆のう	52	55	46	51.0	4.4%	子宮	23	27	28	26.0	3.1%
9	悪性リンパ腫	34	29	27	30.0	2.6%	卵巣	26	26	25	25.7	3.1%
10	膀胱	26	21	27	24.7	2.2%	悪性リンパ腫	29	20	21	23.3	2.8%

(出典) 人口動態統計調査 データ加工 3年平均 AVG (2008,2009,2010年)

⇒本県、全年齢死亡者数は、男性は、肺がん、胃がん、肝がんの順で多く、女性は、大腸がん、胃がん、肺がんの順で多い。

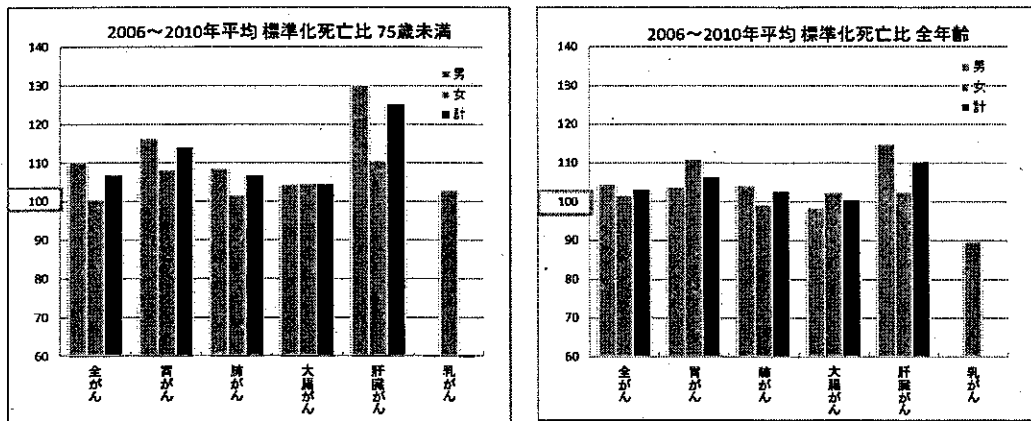
<表 5> 75 歳未満年齢調整死亡率全国平均値と比べて乖離の大きい部位

	男性 部位	鳥取県	全国	差	女性 部位	鳥取県	全国	差
		直近3年平均 (2008,2009,2010)	直近3年平均 (2008,2009,2010)			直近3年平均 (2008,2009,2010)	直近3年平均 (2008,2009,2010)	
	全部位	125.28	110.96	14.32	全部位	64.18	62.01	2.17
1	肝	17.68	12.94	4.73	胃	7.56	6.62	0.94
2	胃	21.61	17.46	4.15	卵巣	4.48	3.69	0.79
3	肺	26.46	23.82	2.64	乳房	11.45	10.73	0.72
4	食道	8.19	6.88	1.31	大腸	8.23	7.52	0.70
5	膵	9.97	8.71	1.26	胆のう	2.75	2.32	0.43
6	膀胱	2.05	1.45	0.61	肺	7.37	7.04	0.33
7	悪性リンパ腫	3.38	2.94	0.43	悪性リンパ腫	1.75	1.54	0.21
8	大腸	13.79	13.40	0.39	肝	3.65	3.52	0.13
9	胆のう	3.61	3.56	0.05	膀胱	0.43	0.36	0.07
10	前立腺	2.51	2.47	0.04	食道	0.75	0.87	(0.12)

(出典) 国立がん研究センターデータ加工 3年平均 AVG (2008.2009.2010年)

⇒男性は、肝臓、胃、肺の順、女性は胃、卵巣、乳房の順

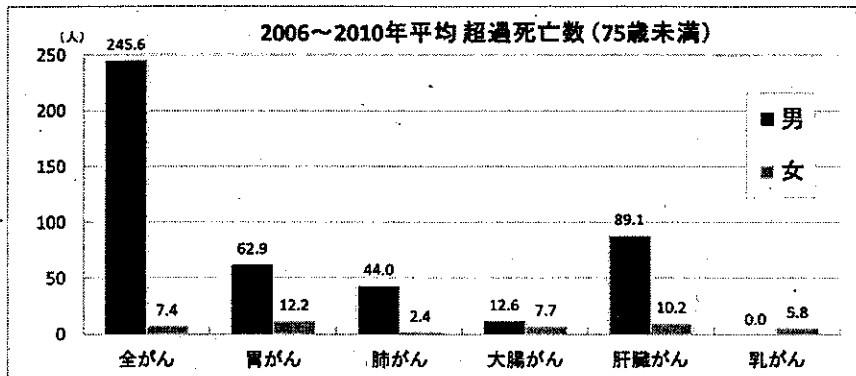
<表 6> 部位別標準化死亡比比較



⇒全国を 100 とする標準化死亡比(SMR)においては、肝がん、胃がん、肺がんが高く、75 歳未満年齢で顕著となる。性別では女性より男性が高値。

<表 7> 75 歳未満における超過死亡数(2006~2010 年平均)

男性	実死亡数	期待死亡数	超過死亡数	女性	実死亡数	期待死亡数	超過死亡数
	A	B	(A-B)		A	B	(A-B)
全部位	2,637	2,391.4	245.6	全部位	1,367	1,359.6	7.4
肝がん	386	296.9	89.1	胃がん	163	150.8	12.2
胃がん	448	385.1	62.9	肝がん	108	97.8	10.2
肺がん	561	517.0	44.0	大腸がん	180	172.3	7.7
大腸がん	299	286.4	12.6	乳がん	209	203.2	5.8
計	1,694	1,485.5	208.5	肺がん	168	165.6	2.4
				計	828	789.7	38.3



(3) どの部位のがん死亡率が増えているか

(評価方法)

1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
3年平均											3年平均		

<表 8> 75 歳未満年齢調整死亡率の部位別増減(鳥取県)

鳥取県/男性	75歳年齢調整死亡率				鳥取県/女性	75歳年齢調整死亡率			
	10年前3年平均 (1998,1999,2000)	直近3年平均 (2008,2009,2010)	差	寄与率 (%)		10年前3年平均 (1998,1999,2000)	直近3年平均 (2008,2009,2010)	差	寄与率 (%)
<b>減少傾向</b>					<b>減少傾向</b>				
肝	24.7	17.7	-7.0	31.8%	胃	12.5	7.6	-4.9	50.2%
胃	28.0	21.6	-6.4	28.8%	肝	5.7	3.6	-2.0	20.6%
大腸	16.2	13.8	-2.4	10.7%	子宮	4.3	3.3	-1.0	10.1%
肺	28.4	26.5	-1.9	8.7%	胆のう	3.6	2.8	-0.9	8.9%
悪性リンパ腫	5.2	3.4	-1.8	8.3%	白血病	2.2	1.6	-0.6	5.8%
胆のう	5.2	3.6	-1.6	7.2%	肺	7.6	7.4	-0.3	2.7%
白血病	3.3	2.5	-0.8	3.6%	悪性リンパ腫	1.9	1.8	-0.2	1.8%
食道	8.3	8.2	-0.2	0.7%					
前立腺	2.6	2.5	-0.1	0.4%					
減少部位の計	121.9	99.7	-22.2	100.0%	減少部位の計	37.8	28.0	-9.8	100.0%
<b>増加傾向</b>					<b>増加傾向</b>				
膵	9.0	10.0	1.0	69.4%	乳房	8.7	11.4	2.8	67.2%
膀胱	1.6	2.1	0.4	30.6%	卵巣	3.8	4.5	0.7	16.6%
					膵	4.2	4.5	0.4	8.7%
					大腸	8.0	8.2	0.2	4.9%
					食道	0.7	0.7	0.1	1.7%
					膀胱	0.4	0.4	0.0	0.9%
増加部位の計	10.6	12.0	1.4	100.0%	増加部位の計	25.7	29.9	4.1	100.0%

(出典) 国立がん研究センターデータ加工 3年平均 AVG (1998,1999,2000年)、AVG (2008,2009,2010年)

<表 9> 75 歳未満年齢調整死亡率の部位別増減(全国)

全国/男性	75歳年齢調整死亡率				全国/女性	75歳年齢調整死亡率			
	10年前3年平均 (1998,1999,2000)	直近3年平均 (2008,2009,2010)	差	寄与率 (%)		10年前3年平均 (1998,1999,2000)	直近3年平均 (2008,2009,2010)	差	寄与率 (%)
<b>減少傾向</b>					<b>減少傾向</b>				
肝	23.0	12.9	-10.1	35.1%	胃	10.3	6.6	-3.6	34.7%
胃	25.9	17.5	-8.4	29.2%	肝	6.0	3.5	-2.4	23.3%
肺	27.4	23.8	-3.6	12.5%	大腸	8.9	7.5	-1.4	13.3%
大腸	16.0	13.4	-2.5	8.9%	胆のう	3.4	2.3	-1.1	10.5%
食道	7.9	6.9	-1.0	3.6%	肺	7.7	7.0	-0.7	6.4%
胆のう	4.5	3.6	-0.9	3.1%	白血病	2.5	1.8	-0.6	5.9%
悪性リンパ腫	3.8	2.9	-0.8	2.8%	悪性リンパ腫	2.0	1.5	-0.4	4.0%
白血病	4.0	3.3	-0.7	2.5%	卵巣	3.8	3.7	-0.1	1.3%
前立腺	2.9	2.5	-0.5	1.6%	膀胱	0.4	0.4	0.0	0.4%
膀胱	1.6	1.4	-0.2	0.7%					
減少部位の計	117.0	88.2	-28.8	100.0%	減少部位の計	44.9	34.5	-10.5	100.0%
<b>増加傾向</b>					<b>増加傾向</b>				
膵	8.4	8.7	0.3	100.0%	乳房	9.8	10.7	1.0	57.2%
			0.0	0.0%	膵	4.4	4.9	0.5	29.4%
					子宮	4.2	4.4	0.2	10.7%
					食道	0.8	0.9	0.0	2.7%
増加部位の計	8.4	8.7	0.3	100.0%	増加部位の計	19.2	20.9	1.7	100.0%

(出典) 国立がん研究センターデータ加工 3年平均 AVG (1998,1999,2000年)、AVG (2008,2009,2010年)

⇒<男性>

- ・鳥取県、全国とも、多くの部位で減少傾向にある。特に肝臓、胃、大腸、肺で顕著
- ・一方、膵臓、膀胱が増加傾向
- ・全部位の減少値計は、全国-28.8に比べ、鳥取県は-22.0と鈍い
- ・全部位の増加値計は、全国 0.3に比べ、鳥取県は 1.4と高い。

⇒<女性>

- ・胃、肝臓は、鳥取県、全国とも減少が顕著。
- ・乳、膵臓は、鳥取県、全国とも増加傾向。大腸は、全国減少傾向にあるなか、鳥取県は 0.2の増加
- ・全部位の減少値計は、全国-10.5に比べ、鳥取県は-9.8とやや鈍い
- ・全部位の増加値計は、全国 1.7に比べ、鳥取県は 4.1と高い。

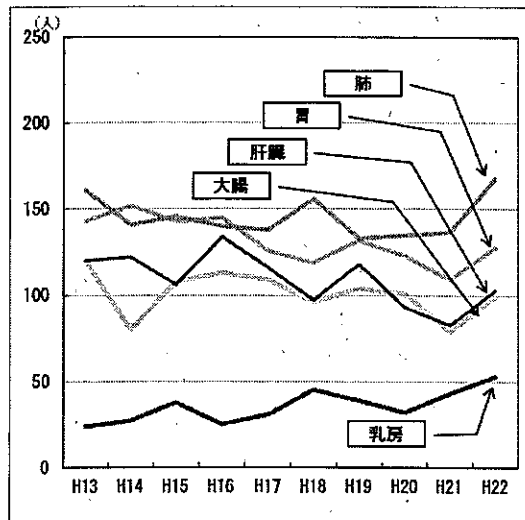
<表 10> 全年齢における年齢調整死亡率の部位別増減

男性	全年齢年齢調整死亡率				女性	全年齢年齢調整死亡率			
	10年前3年平均 (1998,1999,2000)	直近3年平均 (2008,2009,2010)	差	寄与率 (%)		10年前3年平均 (1998,1999,2000)	直近3年平均 (2008,2009,2010)	差	寄与率 (%)
<b>減少傾向</b>					<b>減少傾向</b>				
胃	40.5	32.0	-8.5	36.1%	胃	18.1	12.8	-5.3	50.1%
肝	30.3	24.1	-6.3	26.5%	肝	8.4	6.0	-2.5	23.2%
大腸	25.2	20.8	-4.3	18.3%	子宮	5.4	4.1	-1.3	12.3%
胆のう	9.8	7.8	-2.0	8.4%	白血病	3.0	2.3	-0.7	6.4%
悪性リンパ腫	6.8	5.3	-1.5	6.3%	胆のう	6.3	5.8	-0.5	4.9%
肺	46.5	45.5	-1.1	4.5%	悪性リンパ腫	3.1	2.8	-0.3	3.2%
減少部位の計	159.1	135.5	-23.6	100.0%	減少部位の計	44.4	33.7	-10.6	100.0%
<b>増加傾向</b>					<b>増加傾向</b>				
膵	13.2	14.9	1.7	52.6%	乳房	9.0	12.1	3.1	67.9%
前立腺	7.6	8.5	1.0	30.5%	卵巣	4.3	4.9	0.6	12.8%
膀胱	3.6	3.9	0.3	10.6%	大腸	12.8	13.1	0.3	7.4%
食道	10.5	10.6	0.1	3.8%	膀胱	0.9	1.1	0.3	5.5%
白血病	3.5	3.6	0.1	2.5%	膵	7.7	7.9	0.2	3.9%
増加部位の計	38.3	41.5	3.2	100.0%	肺	12.0	12.1	0.1	1.6%
					食道	1.0	1.0	0.0	1.0%
増加部位の計	47.6	52.2	4.6	100.0%					

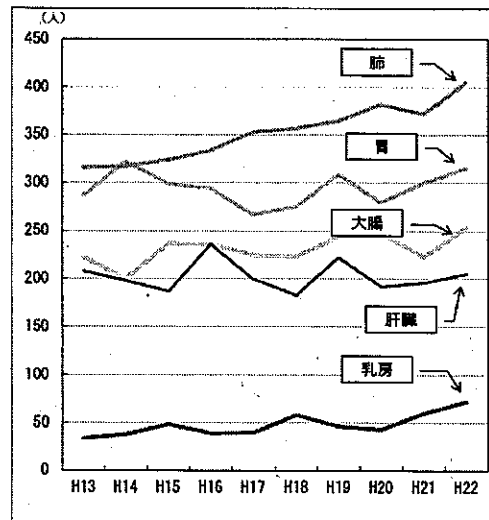
(出典) 人口動態統計調査 3年平均 AVG (1998,1999,2000年)、AVG (2008,2009,2010年)

<表 11> 部位別がん死亡数数の年次推移

鳥取県がん死亡者数 (75歳未満)



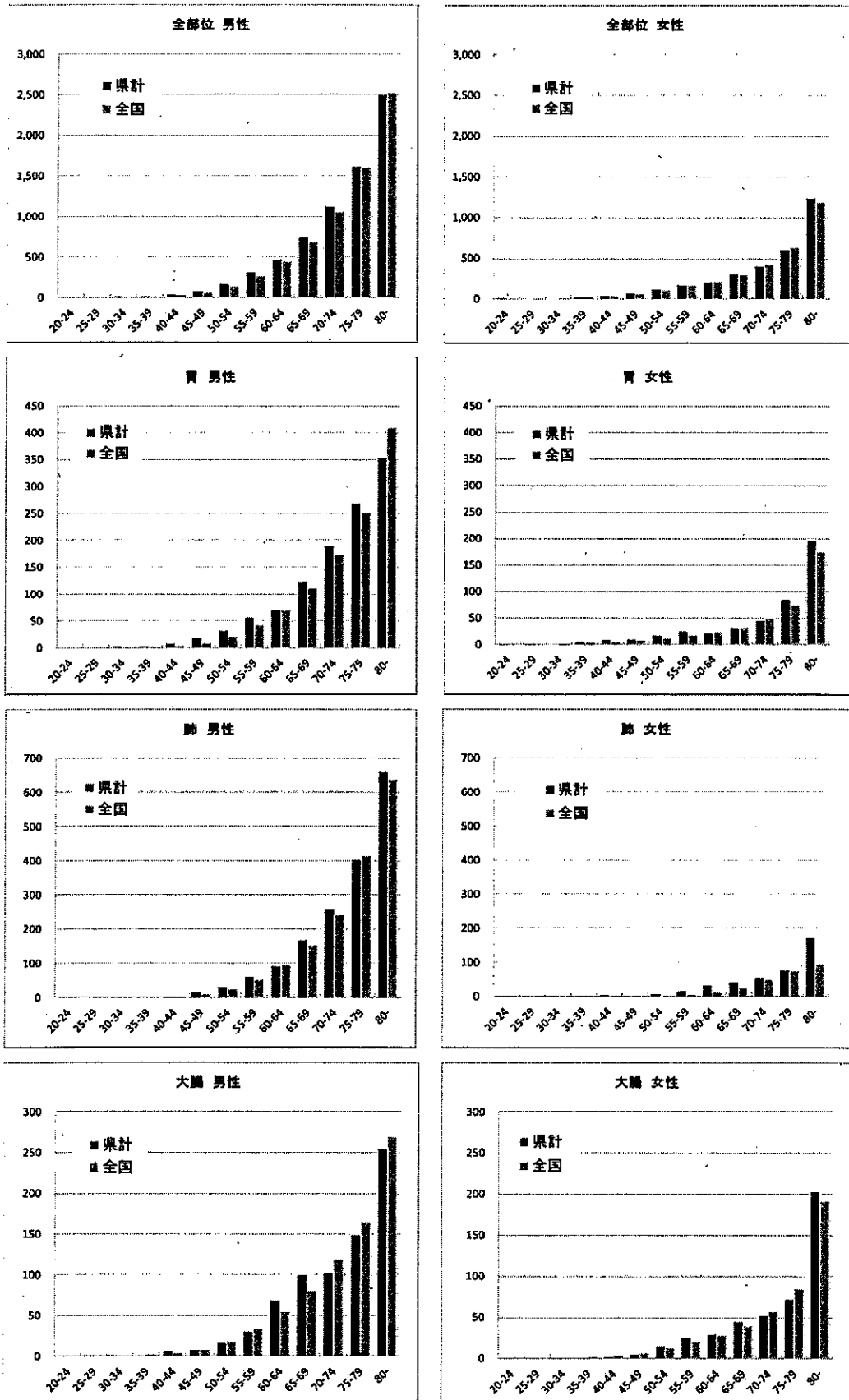
鳥取県がん死亡者数 (全年齢)

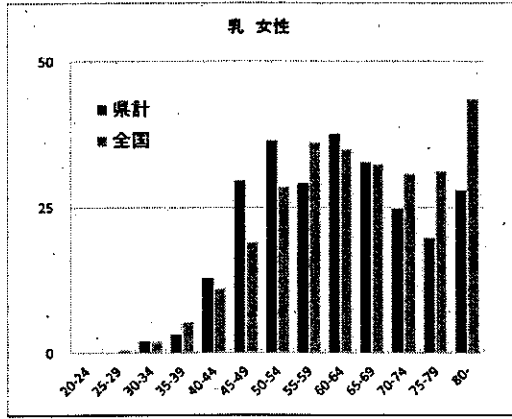
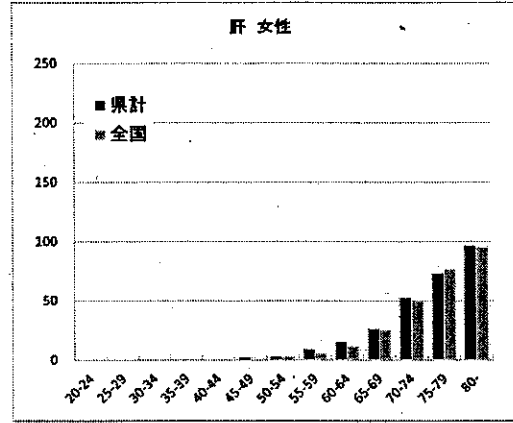
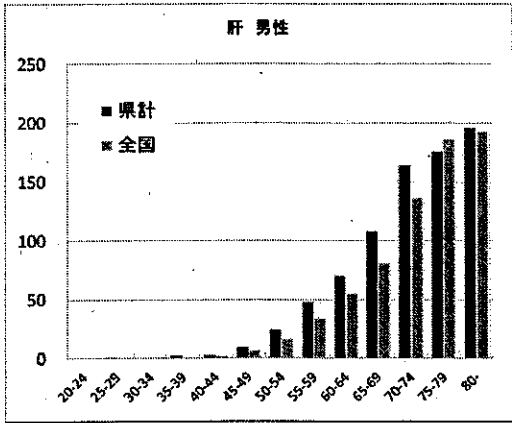


⇒また、鳥取県の75歳未満死亡者数は、多くの部位で概ね年々減少傾向にあったが、平成22年に増加。特に乳がんの増加傾向が顕著である。全年齢では、多くの部位で増加又は横ばい傾向にある。

(4) どの年代で死亡率が高いのか

<表 12> がん年齢階級別死亡率 (10 万人対) 全国比較 全部位 5 年平均 (2006~2010)  
 ⇒ 本県は、特に 50~60 代の男性が全国と比して高値。



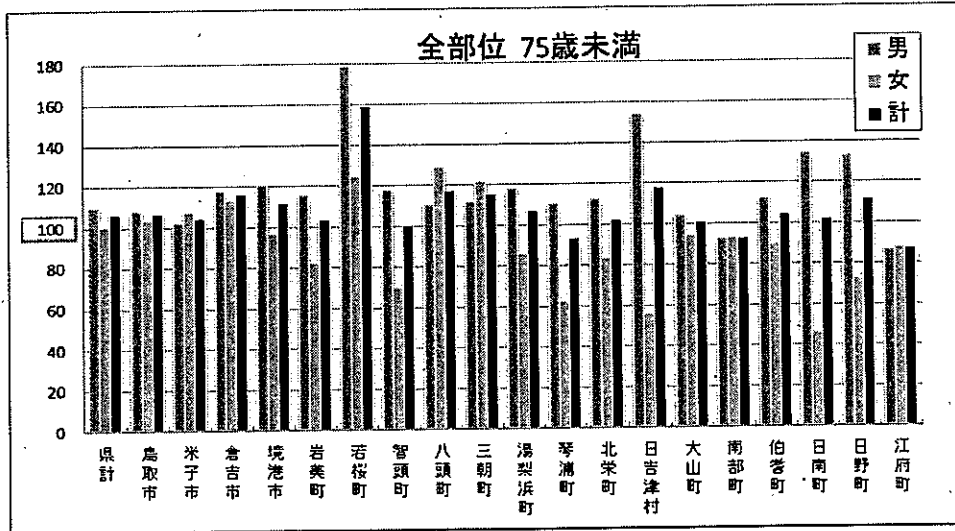




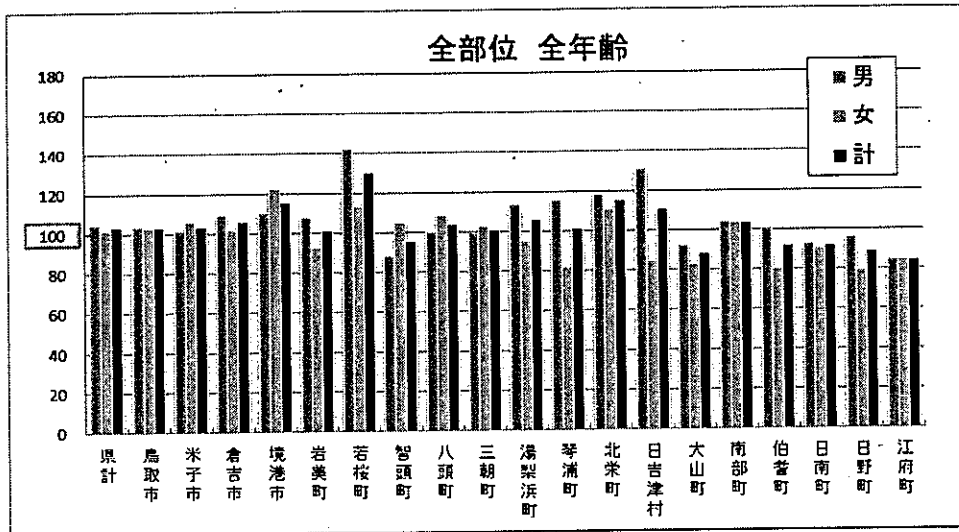
(5) 地域で死亡率に違いはあるか

ア <表 13> 全部位、市町村別、標準化死亡比 (SMR) 5年平均 (2006~2010年)

(ア) 75歳未満



(イ) 全年齢

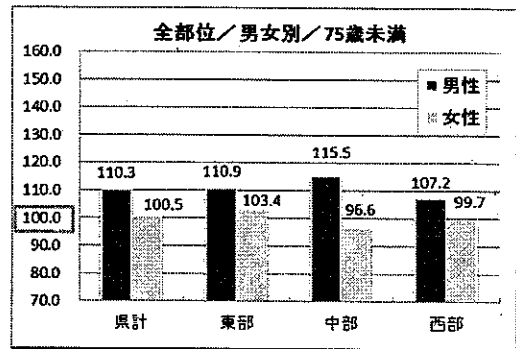
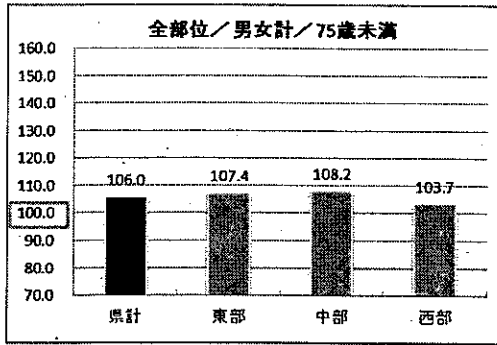


イ <表 14>地域別、部位別、男女別、標準化死亡比 (SMR) 5年平均 (2006~2010年)

(ア) 75歳未満

○全部位

県内全地域で男性、女性とも全国値(100)より高い。特に東部、中部が高い傾向。

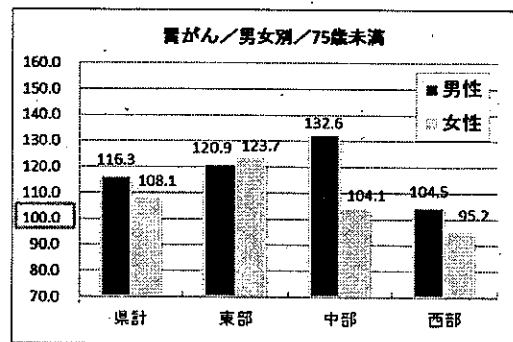
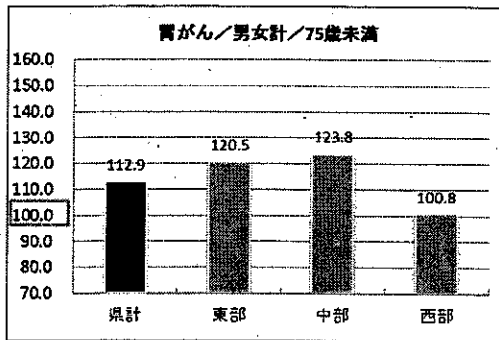


○胃がん

県内全地域で全国値(100)より高く、特に中部、東部が高い。

男性胃がんは、県内全地域で全国より高く、特に中部が高い。

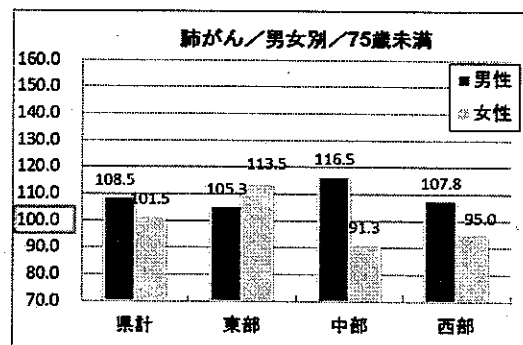
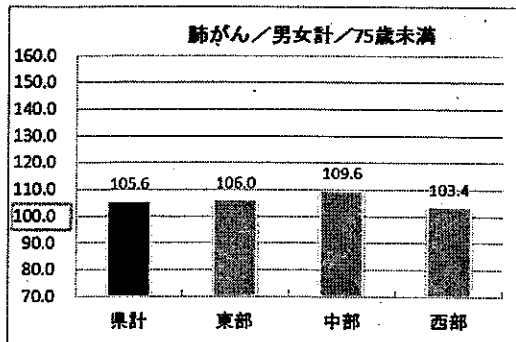
一方、女性は東部が高く、中部は全国並み、西部では全国を下回る。



○肺がん

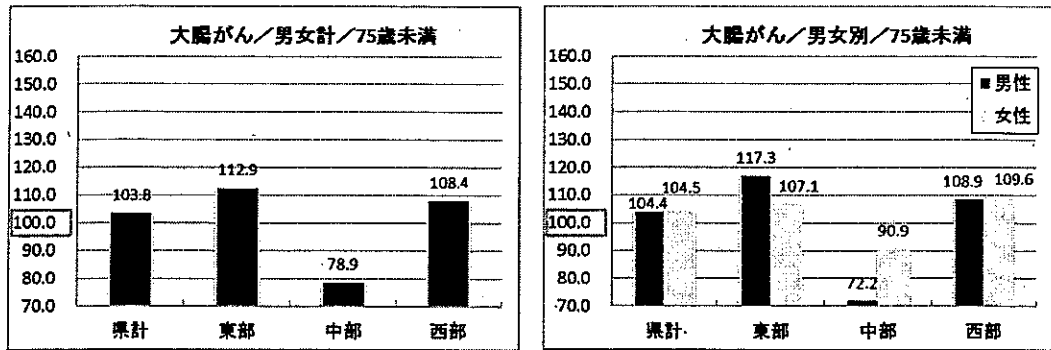
県内全地域で全国値(100)より高い。

男性肺がんは全域で全国値を上回る。女性は東部が高く、中部、西部は全国値を下回る。



○大腸がん

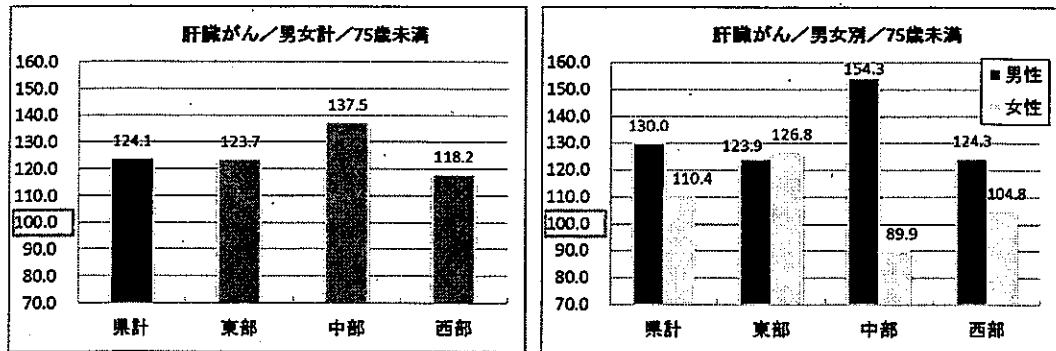
県計では全国値(100)より高いが、中部が全国値より低い。性別も同じ傾向。



○肝臓がん

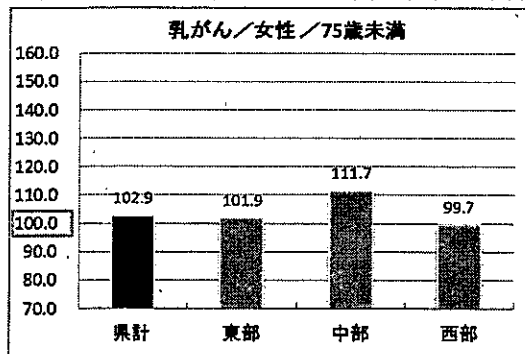
県内全域で全国値(100)より高く、特に中部が高い。

男性肝臓がんは中部が極めて高い。女性では東部が高く、中部は全国平均を下回る。

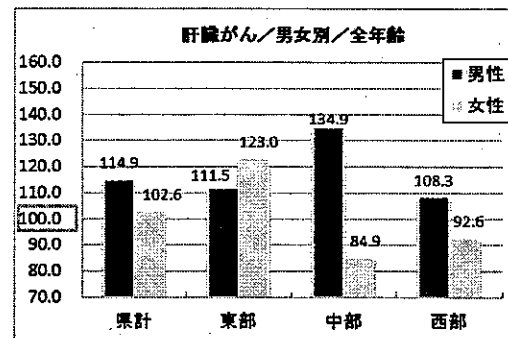
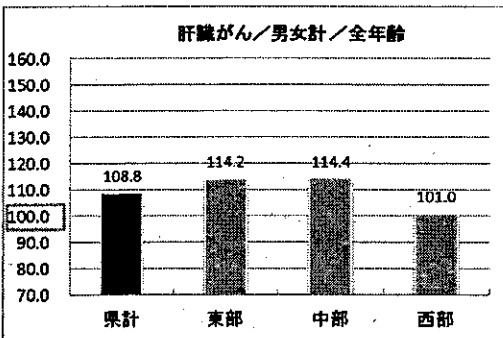
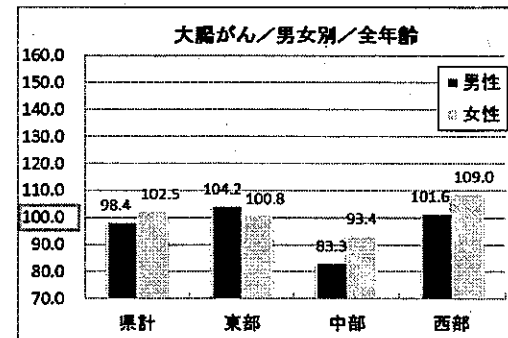
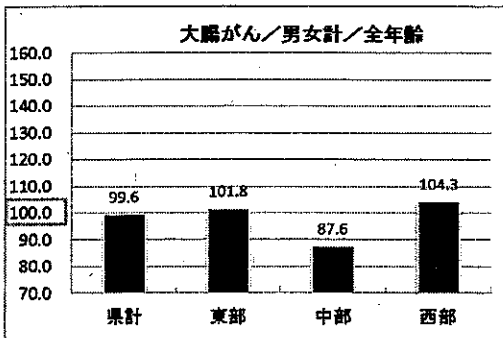
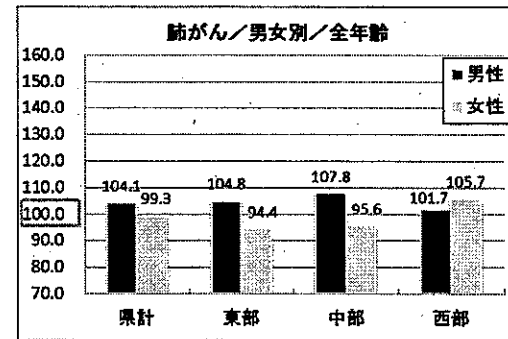
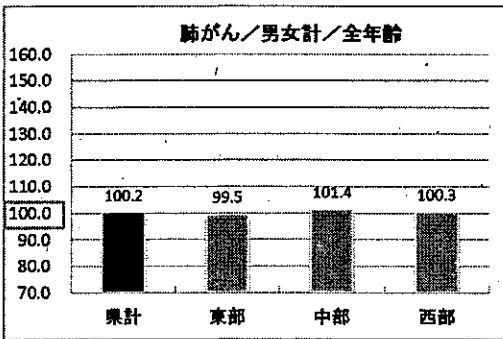
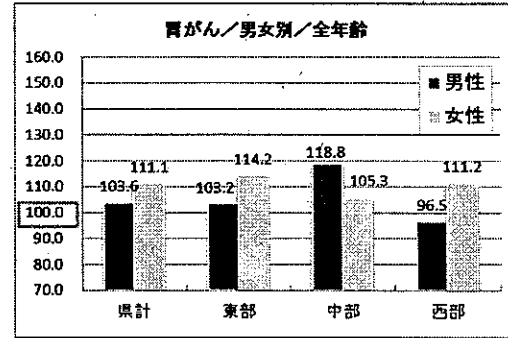
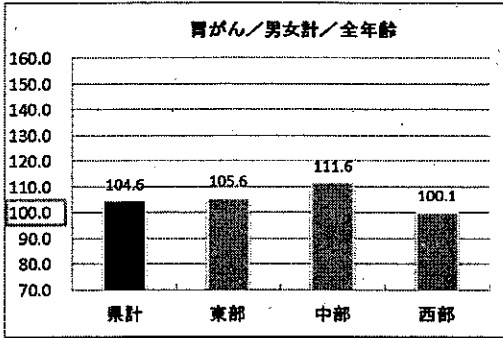
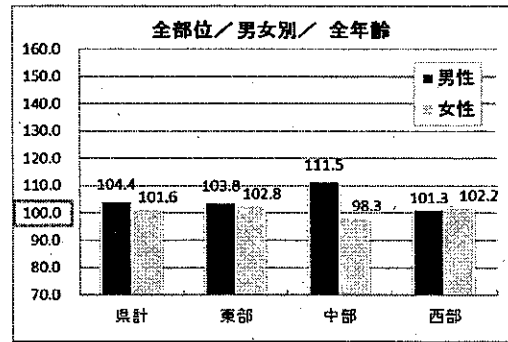
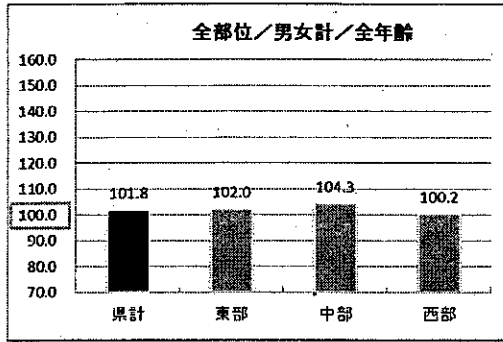


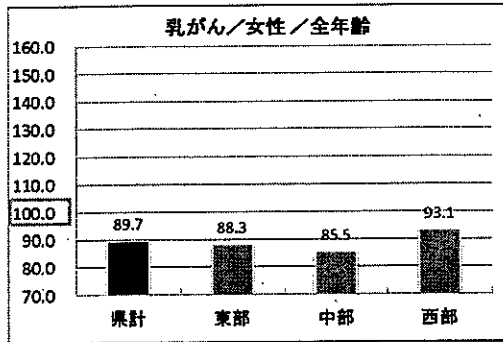
○乳がん

県内全域で全国値(100)より高く、特に中部が高い。



(イ) 全年齢

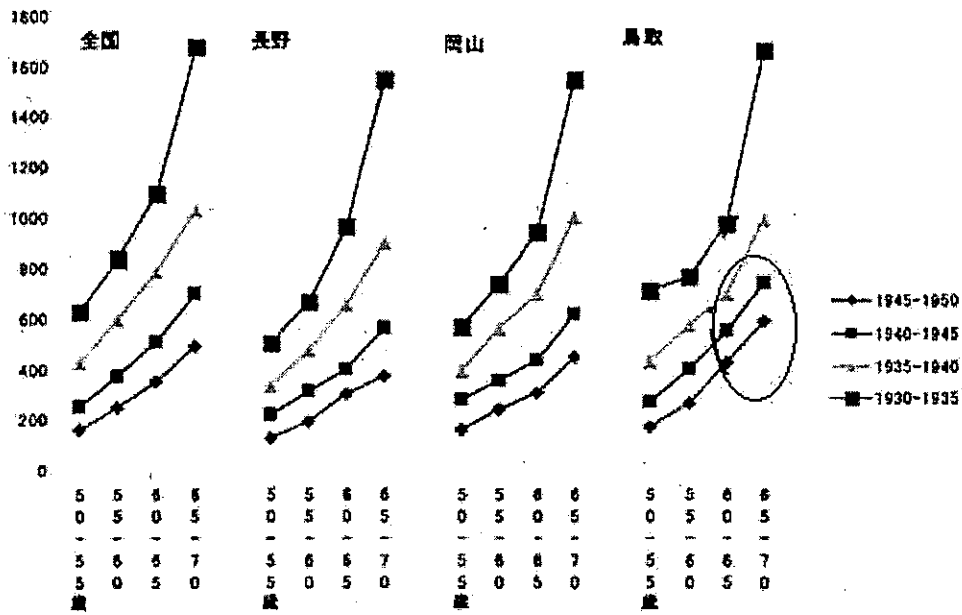




(6) がん死亡率の高い出生年齢はあるか

全国、長野、岡山、鳥取の出生年代別がん死亡率を比較すると、鳥取県は1940~1945年、1945~1950年に生まれた方の60から70歳（昭和15年から25年生まれ）の死亡率が高い傾向（H24.08.20合地委員分析）

<表 15> 生年年度別 各年齢でのがん死亡率



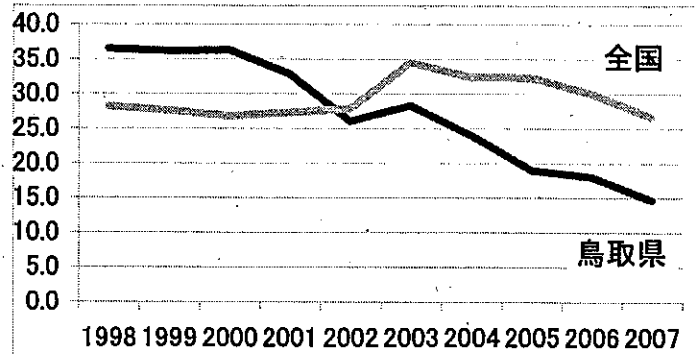
#### 4 鳥取県のがん罹患の現状

〈罹患データ解析の留意事項〉

がん罹患率は、地域がん登録の登録精度に影響を受ける。地域がん登録精度が高まれば、それに比例して罹患率が高まる。本県の地域がん登録は、近年、特に上昇傾向にあることからデータ解析の際は留意する必要がある。

※登録精度の高さはDCN値で図ることができる。DCN値が低いほど登録精度が高い。

年	DCN (%)	
	鳥取県	全国 *1
1998	36.5	28.2
1999	36.2	27.6
2000	36.3	26.8
2001	32.9	27.3
2002	26.1	27.9
2003	28.3	34.5
2004	24.0	32.4
2005	19.0	32.3
2006	18.1	30.1
2007	14.7	26.7



\*1:年度により採用府県市の件数が変動

#### (1)鳥取県の罹患率が高いか、どの部位が多いか

〈表 16〉

鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況—平成20年(2008年)—

	男												
	全部位	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢胆管	膵臓	肺	前立腺	膀胱	リンパ腫	
罹患数	2,579	95	509	259	115	178	68	84	376	299	125	51	
罹患割合	100.0	3.7	19.7	10.0	4.5	6.9	2.6	3.3	14.6	11.6	4.8	2.0	
粗罹患率	908.5	33.5	179.3	91.2	40.5	62.7	24.0	29.6	132.4	105.3	44.0	18.0	
調整罹患率	500.3	19.3	100.2	51.1	23.8	36.3	12.2	15.1	67.0	51.6	22.5	10.8	
全国推定罹患率	407.1	16.2	80.8	38.8	26.0	29.5	9.2	13.8	58.2	40.2	12.2	10.8	

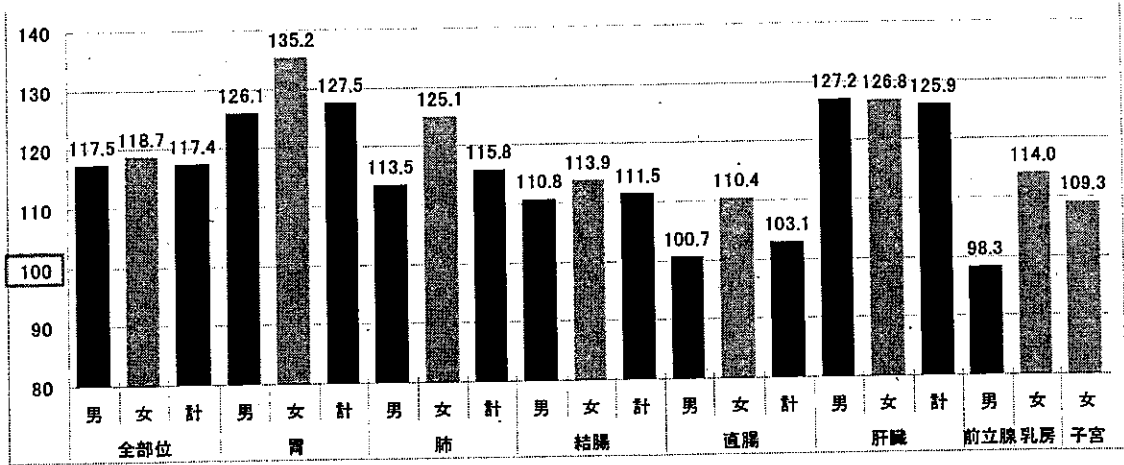
  

	女													
	全部位	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	膀胱	リンパ腫
罹患数	1,979	13	263	206	82	95	67	82	214	339	123	53	33	47
罹患割合	100.0	0.7	13.3	10.4	4.1	4.8	3.4	4.1	10.8	17.1	6.2	2.7	1.7	2.4
粗罹患率	636.3	4.2	84.6	66.2	26.4	30.5	21.5	26.4	68.8	109.0	39.5	17.0	10.6	15.1
調整罹患率	339.9	2.3	37.5	29.6	12.9	11.1	6.2	8.5	26.1	82.1	37.1	13.6	3.5	7.6
全国推定罹患率	274.6	2.3	29.7	24.7	11.6	10.0	6.5	8.2	19.6	65.6	34.7	9.0	2.7	8.0

\*全国推定罹患率は2006年データを使用

(出典)鳥取県地域がん登録

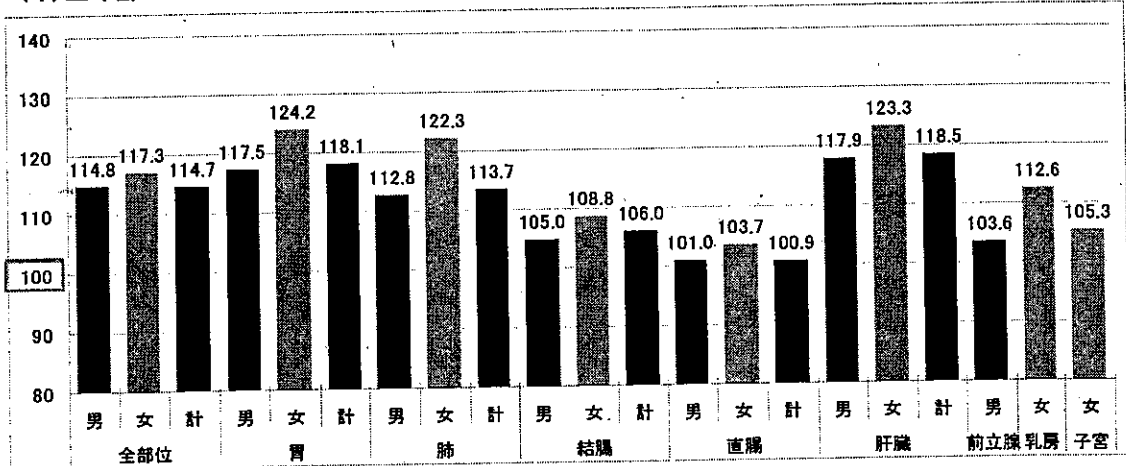
<表 17> 鳥取県標準化罹患比(SIR) 3年単純平均(2006,2007,2008) 部位別、性別  
(ア)75歳未満



年	全部位			胃			肺			結腸			直腸			肝臓			前立腺乳癌	子宮
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
2006	118.3	116.3	116.8	123.1	134.1	125.1	122.0	105.7	115.9	119.1	116.7	117.6	118.1	97.4	110.3	130.7	149.7	134.5	117.4	125.2
2007	115.6	123.8	118.5	122.6	131.5	124.0	107.8	135.1	114.9	100.9	116.4	106.6	101.4	128.2	109.4	128.6	137.4	129.9	116.6	102.2
2008	118.6	116.1	116.9	132.6	140.1	133.5	110.8	134.4	116.7	112.5	108.6	110.4	82.7	105.7	89.6	122.2	93.2	113.4	108.1	100.5
3年平均	117.5	118.7	117.4	126.1	135.2	127.5	113.5	125.1	115.8	110.8	113.9	111.5	100.7	110.4	103.1	127.2	126.8	125.9	114.0	109.3

(出典)鳥取県地域がん登録 3年単純平均 AVG(2006,2007,2008)

(イ)全年齢



年	全部位			胃			肺			結腸			直腸			肝臓			前立腺乳癌	子宮
	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
2006	115.3	112.9	113.1	117.2	129.6	119.8	121.1	104.0	113.5	109.2	114.0	110.7	113.8	91.2	103.9	120.2	131.6	122.9	107.5	119.0
2007	113.3	124.8	117.1	113.0	120.8	114.2	109.7	132.1	114.6	97.0	114.8	104.6	106.0	119.3	110.0	119.1	131.5	122.2	118.8	103.0
2008	115.8	114.1	113.9	122.1	122.3	120.5	107.6	130.9	112.9	108.7	97.6	102.8	83.1	100.5	88.7	114.4	106.7	110.4	111.6	93.9
3年平均	114.8	117.3	114.7	117.5	124.2	118.1	112.8	122.3	113.7	105.0	108.8	106.0	101.0	103.7	100.9	117.9	123.3	118.5	112.6	105.3

(出典)鳥取県地域がん登録 3年単純平均 AVG(2006,2007,2008)

⇒全国を100とする標準化罹患比(SIR)において、主要部位すべてで高値。男女別では、男性に比べ女性が高く、特に肝がん、肺がんなどに顕著。

(2) どの部位のがん罹患率が増えているか

<表 18> 部位別、性別年齢調整罹患率(全年齢)

図4-1 年齢調整罹患率の年次推移(男)

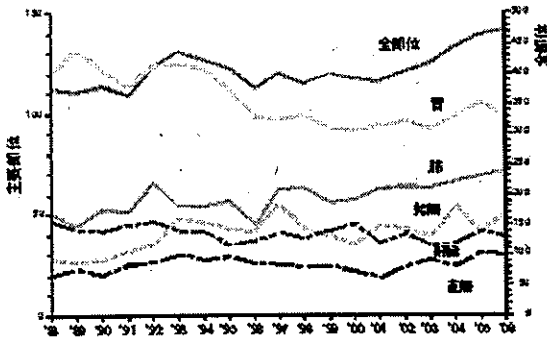
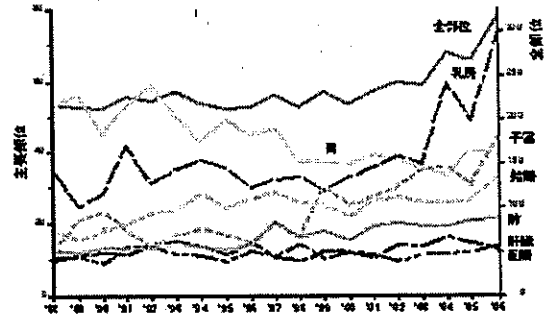
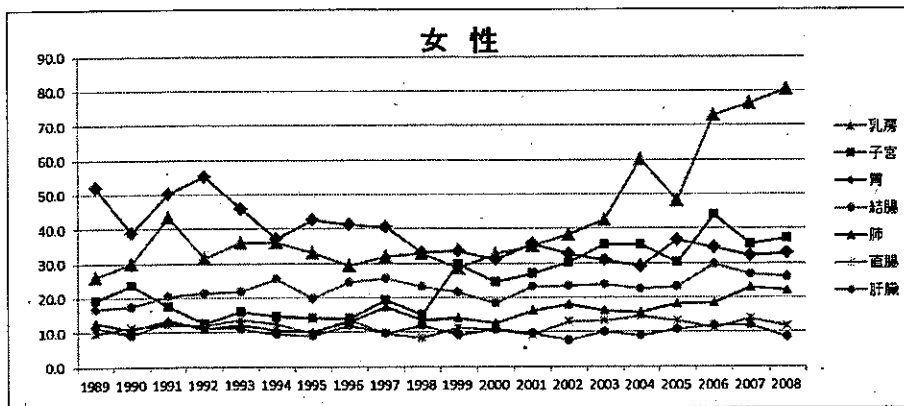
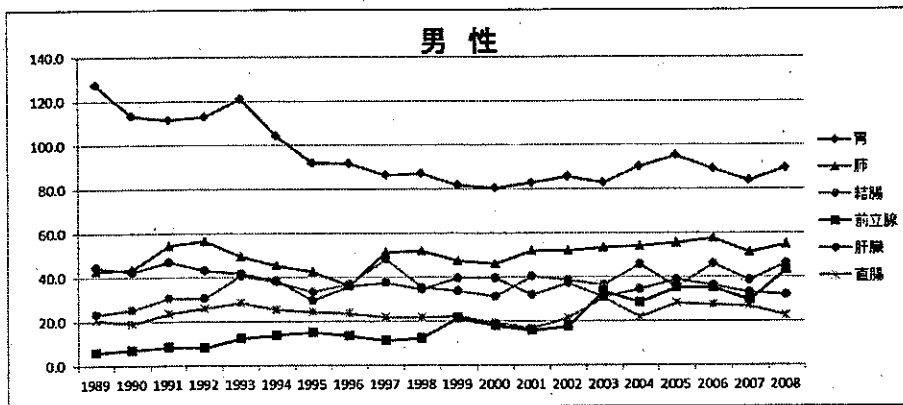
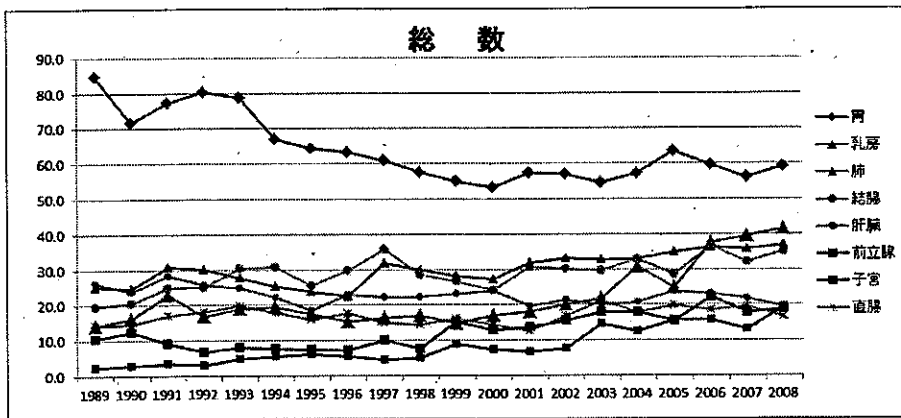


図4-2 年齢調整罹患率の年次推移(女)

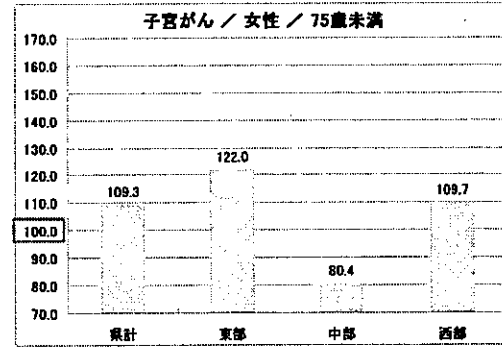
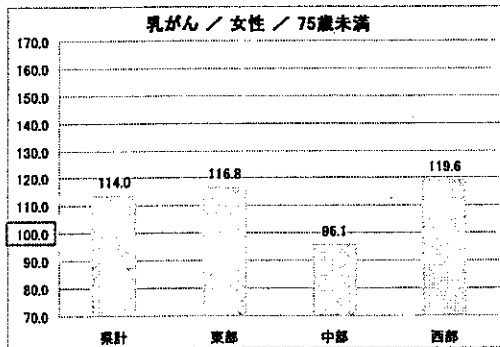
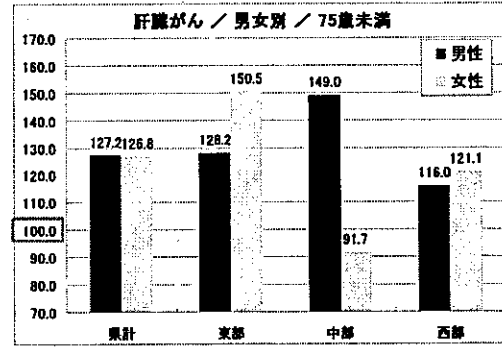
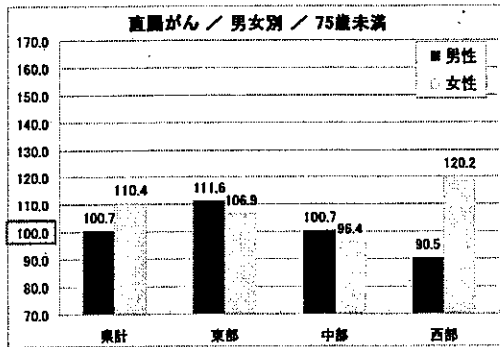
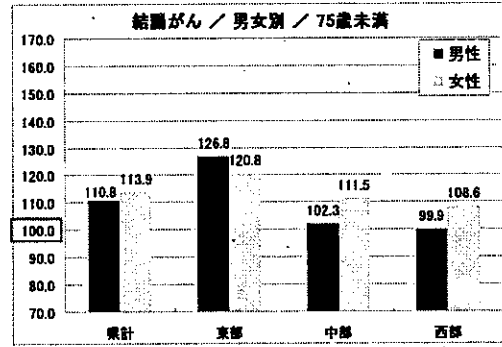
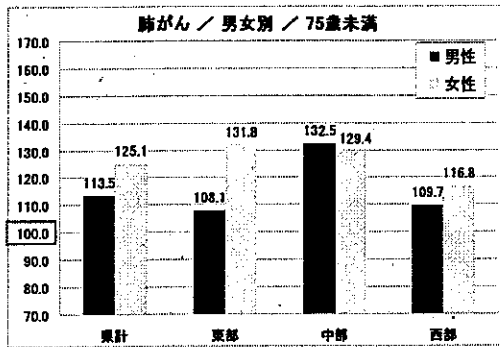
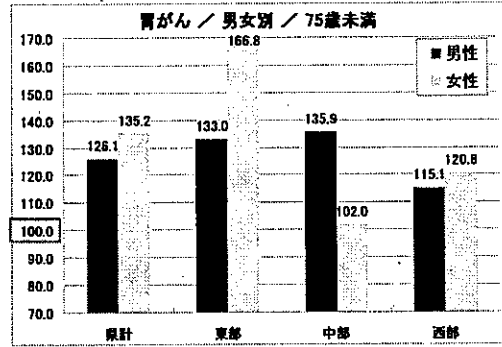
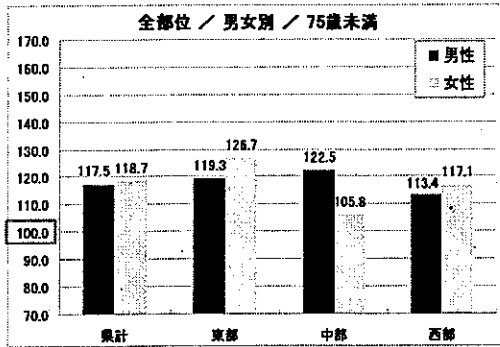


<表 19> 部位別、性別年齢調整罹患率(75歳未満)

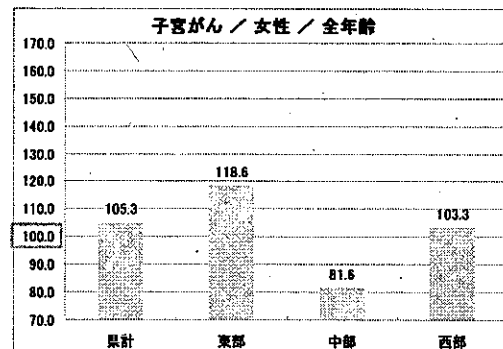
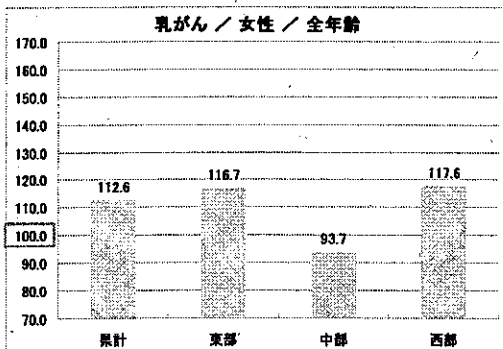
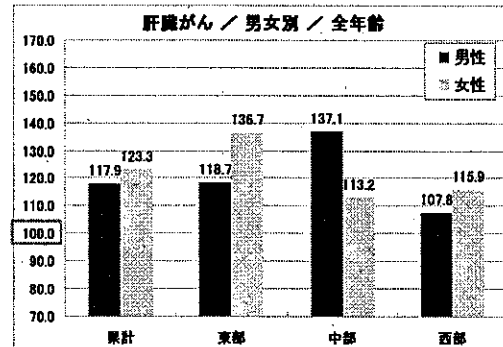
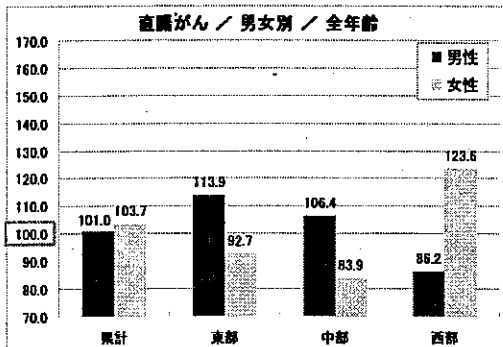
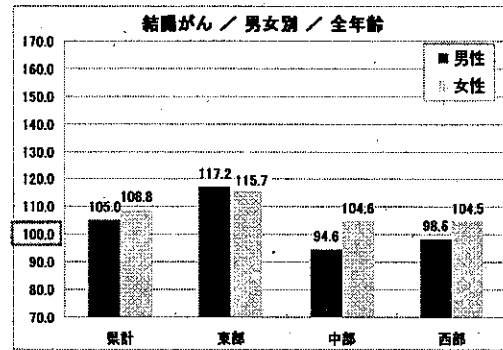
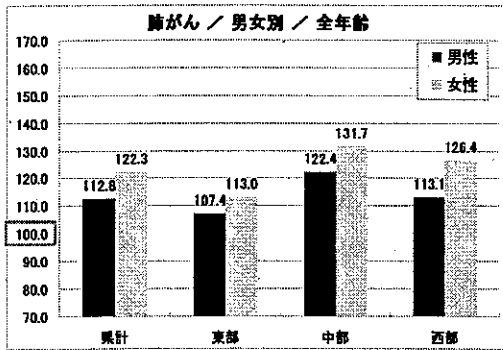
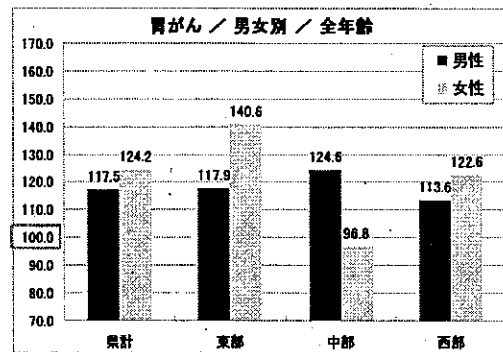
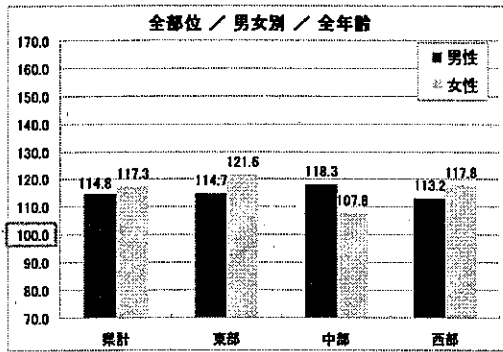




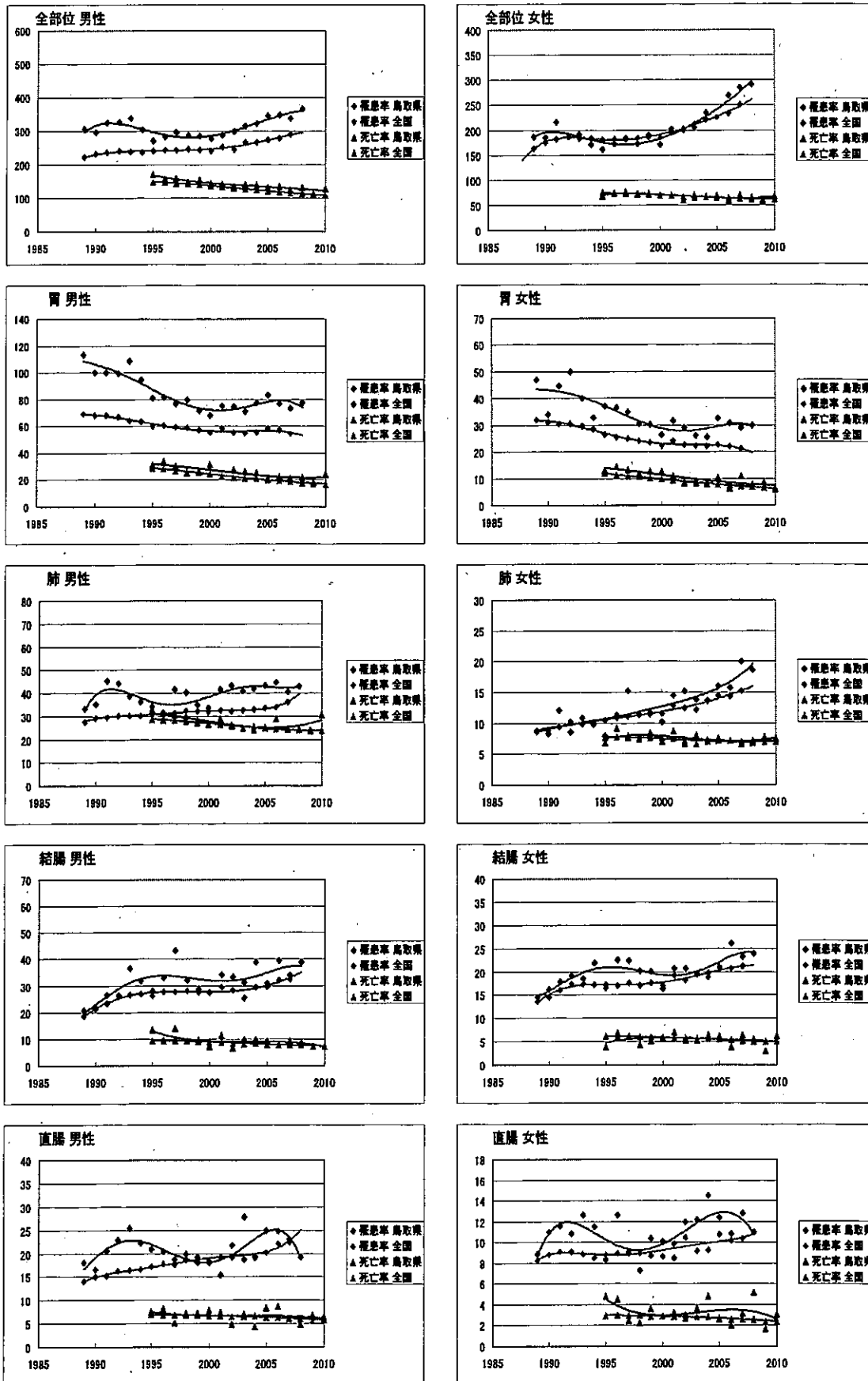
イ <表 20> 地域別、部位別、男女別、標準化罹患比(SIR)3年平均(2006~2008年)  
(ア)75歳未満

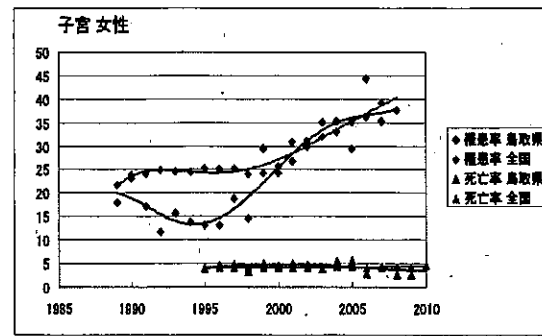
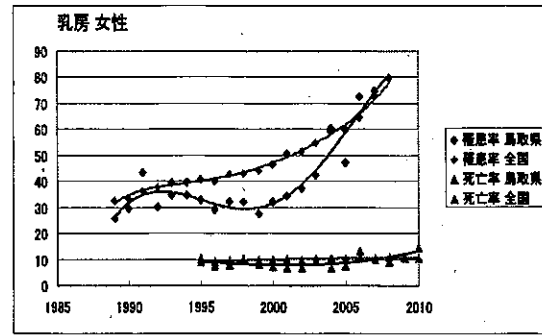
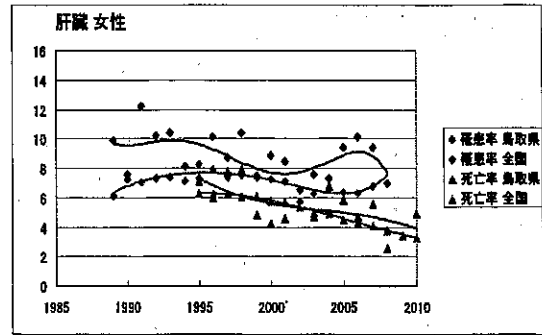
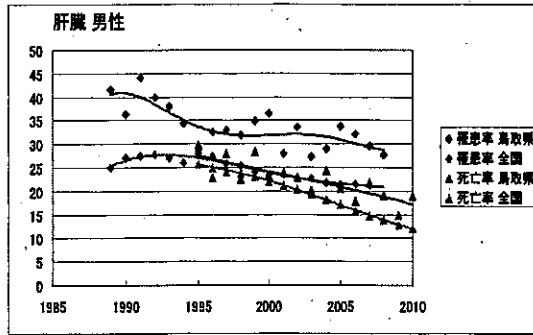


(イ) 全年齢

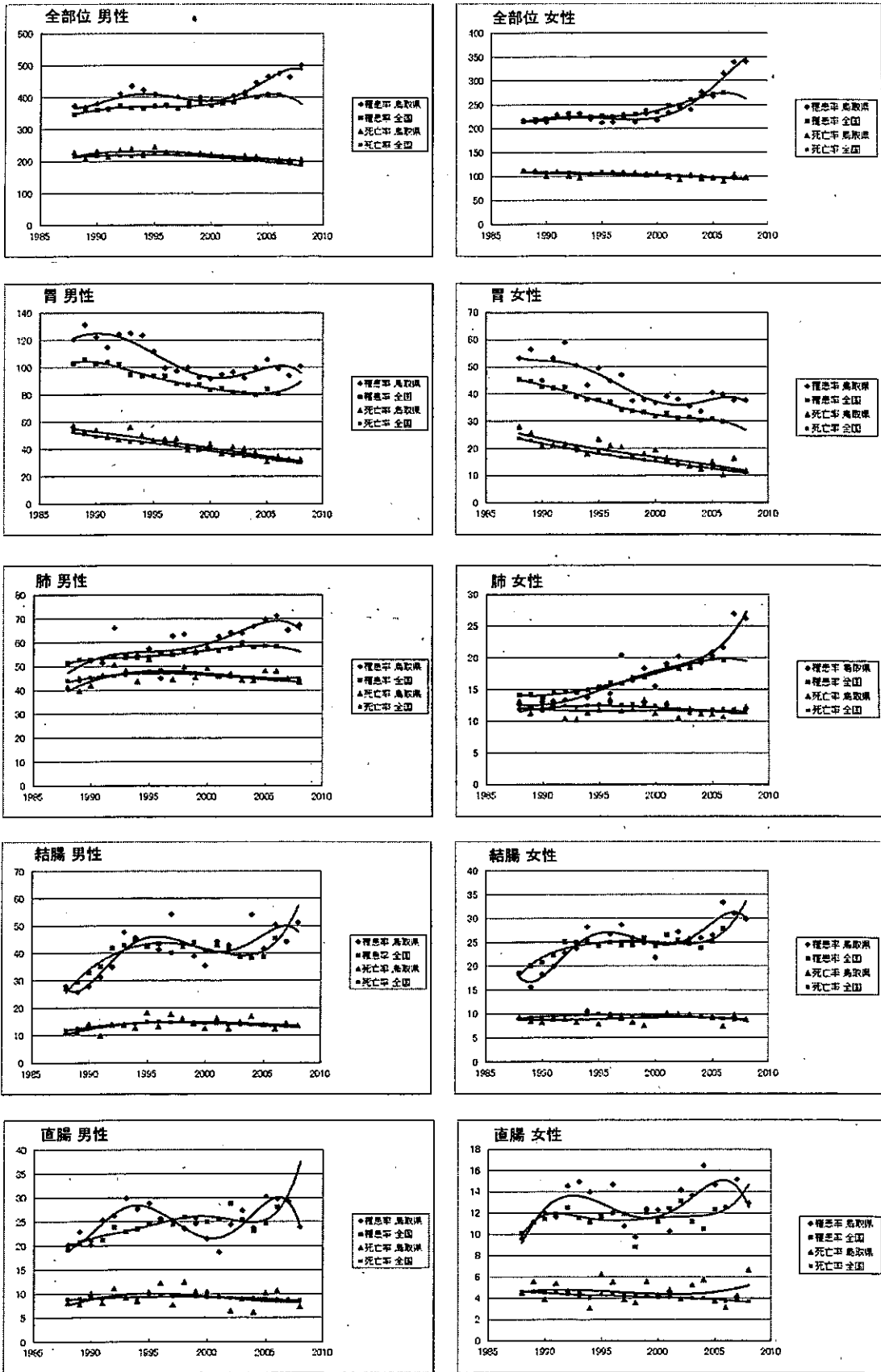


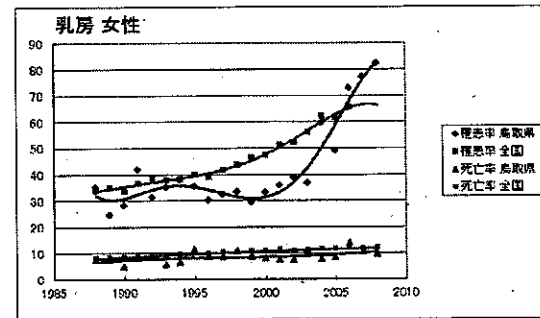
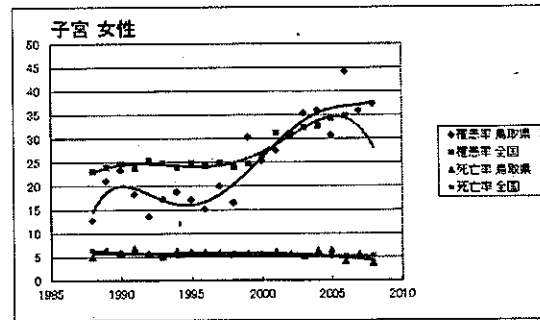
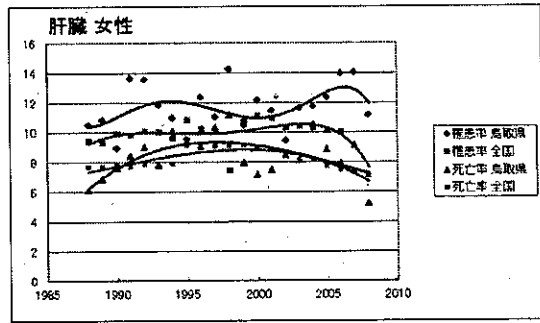
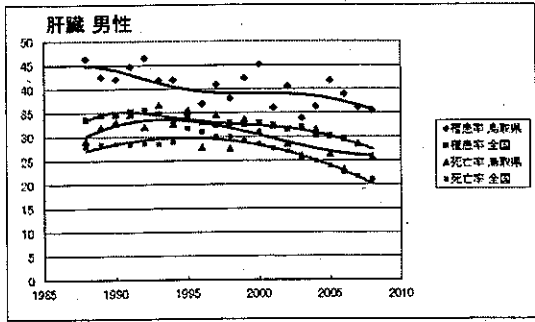
(3) <表 21> 75 歳未満・部位別年齢調整罹患率・死亡率の年次推移





<表 22> 全年齢・部位別年齢調整罹患率・死亡率の年次推移





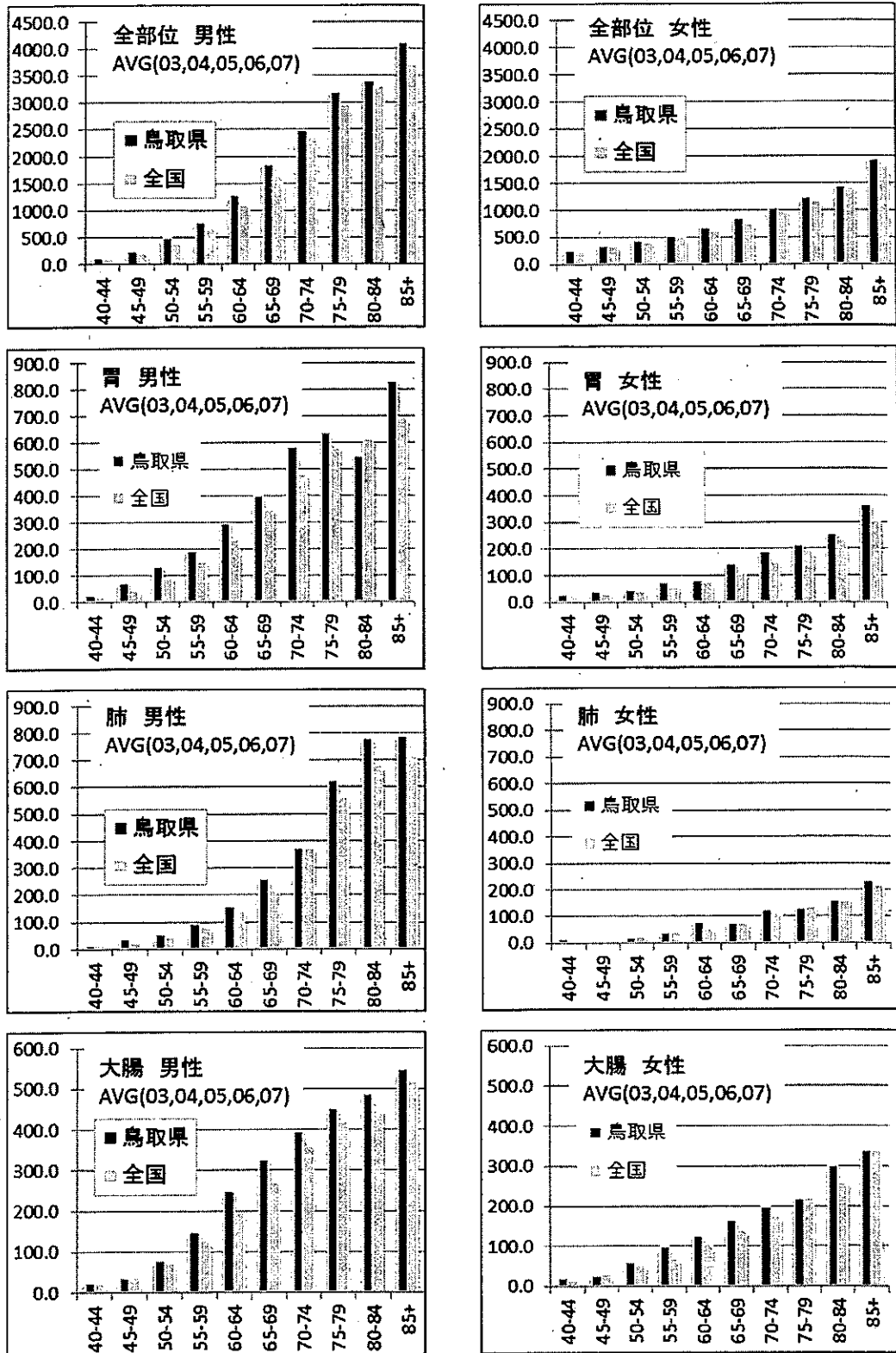
(4)どの年代(男女別)で罹患率が高いのか

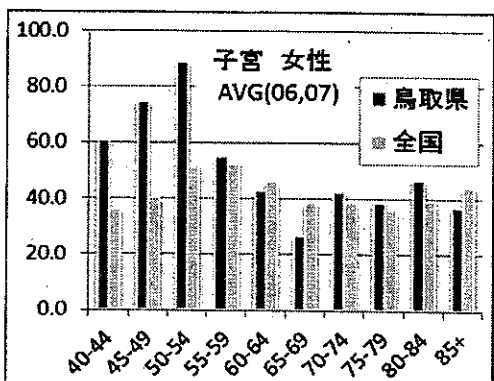
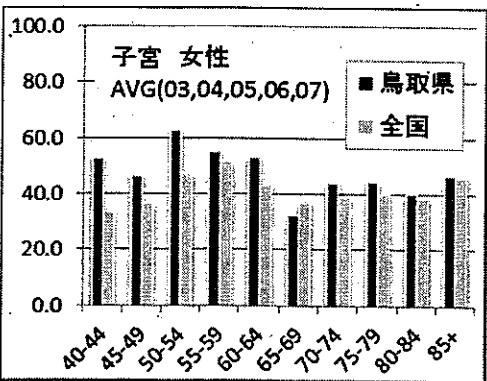
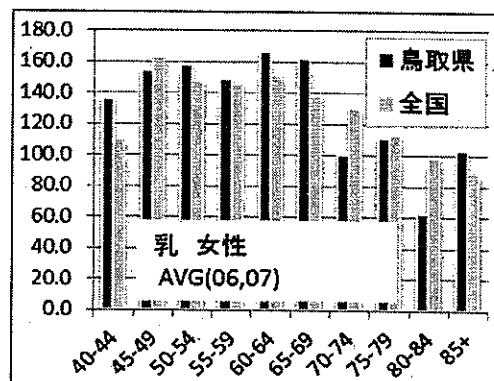
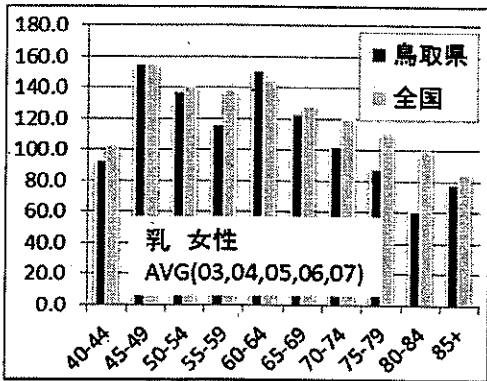
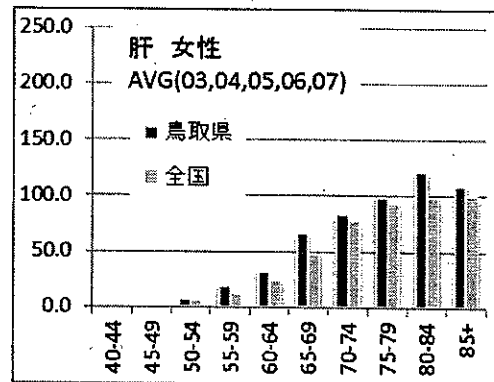
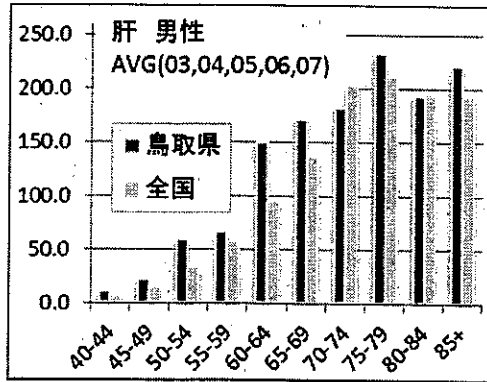
2003年から2007年の5年間の罹患率(全部位)の単純平均を年代別に比較すると、鳥取県は、概ねすべての年代で罹患率が高い。

<表 23> 部位別、年代別罹患率の全国比較 5年間の単純平均(2003,2004,2005,2006,2007)

※なお、乳がん、子宮がんのAVG(06,07)は、最新データである2年間の単純平均

(出典)鳥取県地域がん登録データ加工







## 5 がん死亡に係る要因の現状

### (1) 生活習慣

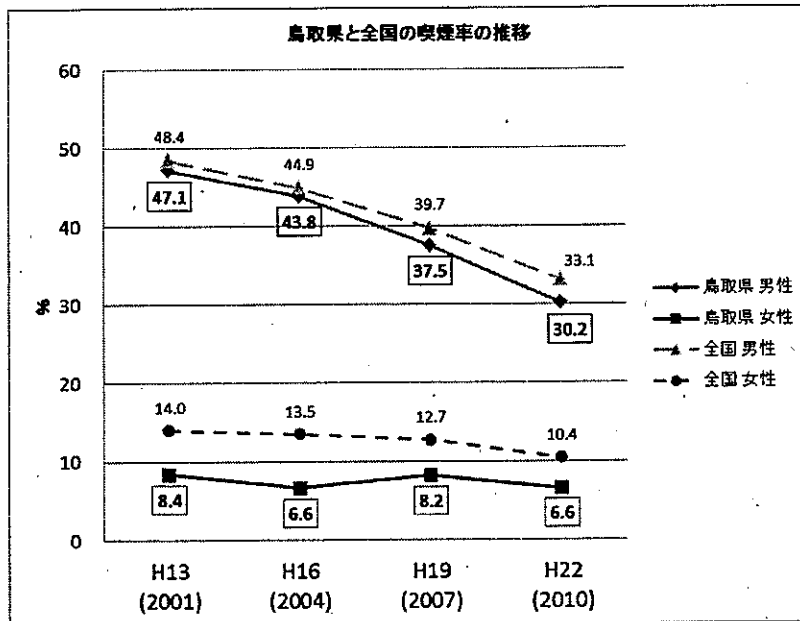
#### ア 喫煙習慣（喫煙率） H22 国民生活基礎調査

(ア)男女とも年々減少傾向にあり、全国平均に比べ低く推移。

	鳥取県（全年齢計）	全国（全年齢計）
男性	30.2%	33.1%
女性	6.6%	10.4%

⇒全年齢計の全国比較において、男性は2.9ポイント低く、女性は3.8ポイント低い。

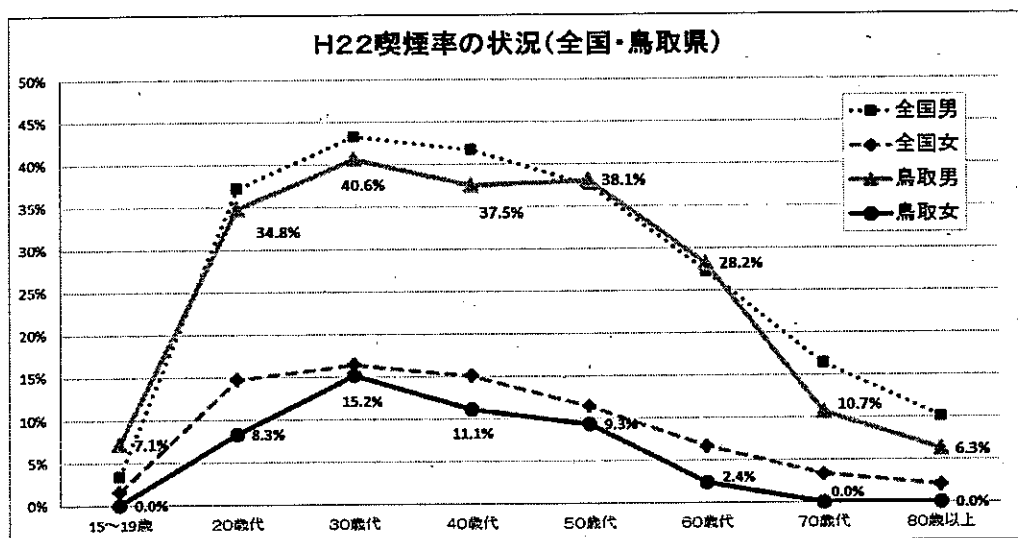
#### (イ) <表 24>鳥取県と全国の喫煙率の年次推移



⇒鳥取県、全国とも、喫煙率は年々減少。

(イ)本県の傾向として、男性の20～50歳代で高く、女性では20～40歳代が高い。

<表 25>平成 22 年調査の年齢構成内訳

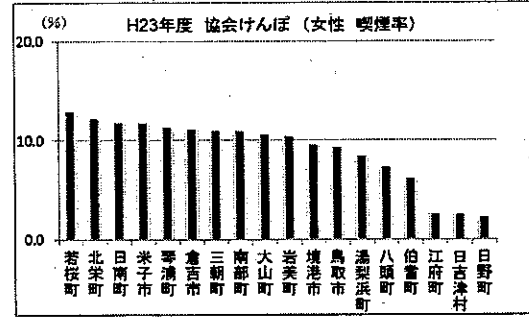
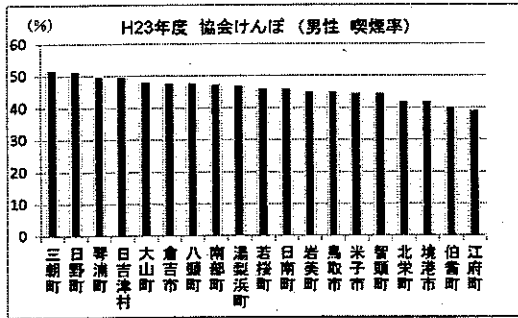
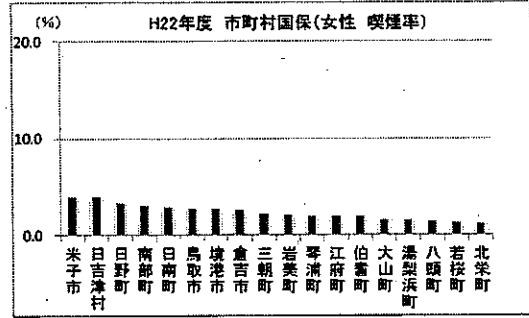
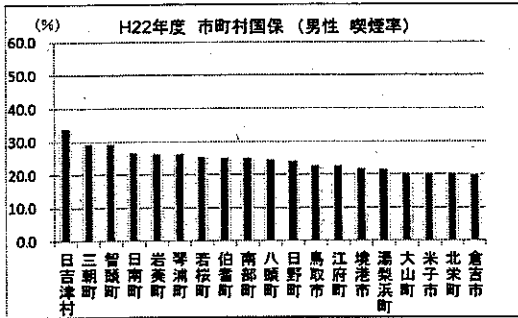


⇒特に男性50～60歳代で全国値より高値。

(ウ)市町村国保に比べ、働き世代の多い協会けんぽ加入者の喫煙率が高い。

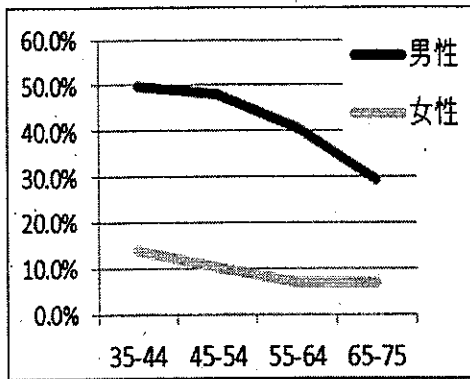
〈表 26〉

(特定健診問診票集計による比較) 市町村名は、いずれも住所地。



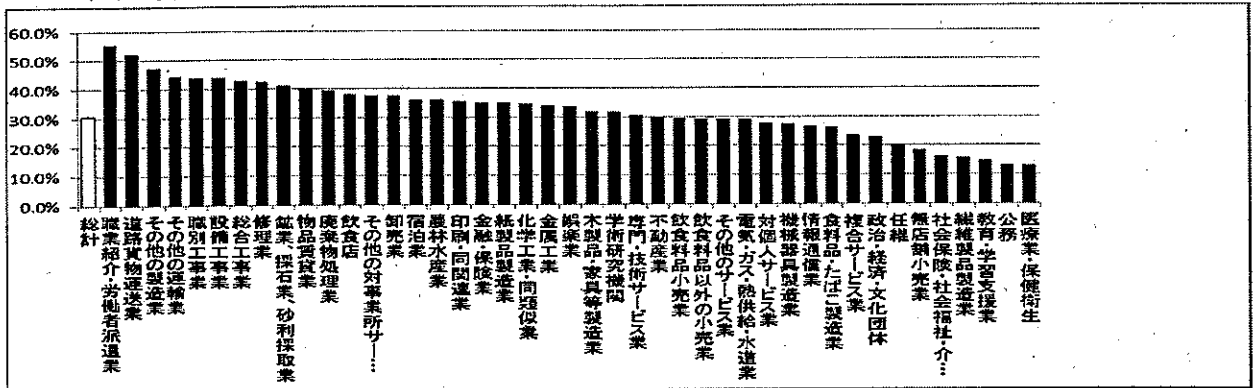
(エ)男女とも年齢が若いほど、喫煙率が高い。(協会けんぽ鳥取県支部 H23 年度集計)

〈表 27〉



年齢	喫煙	喫煙率	未	総計	
計	11,441	32.7%	23,571	35,012	
男性	10,081	45.8%	12,034	22,125	
35-44	3,814	49.9%	3,827	7,641	
45-54	3,267	48.2%	3,511	6,778	
55-64	2,681	40.7%	3,909	6,590	
65-75	329	29.5%	787	1,116	
女性	1,343	10.4%	11,530	12,873	
35-44	570	13.9%	3,527	4,097	
45-54	502	10.3%	4,357	4,859	
55-64	247	6.9%	3,325	3,572	
65-75	24	7.0%	321	345	
(空白)	(空白)	7	50.0%	7	14

(オ)〈表 28〉 業種によって喫煙傾向に差がある (協会けんぽ鳥取県支部 H23 年度集計)



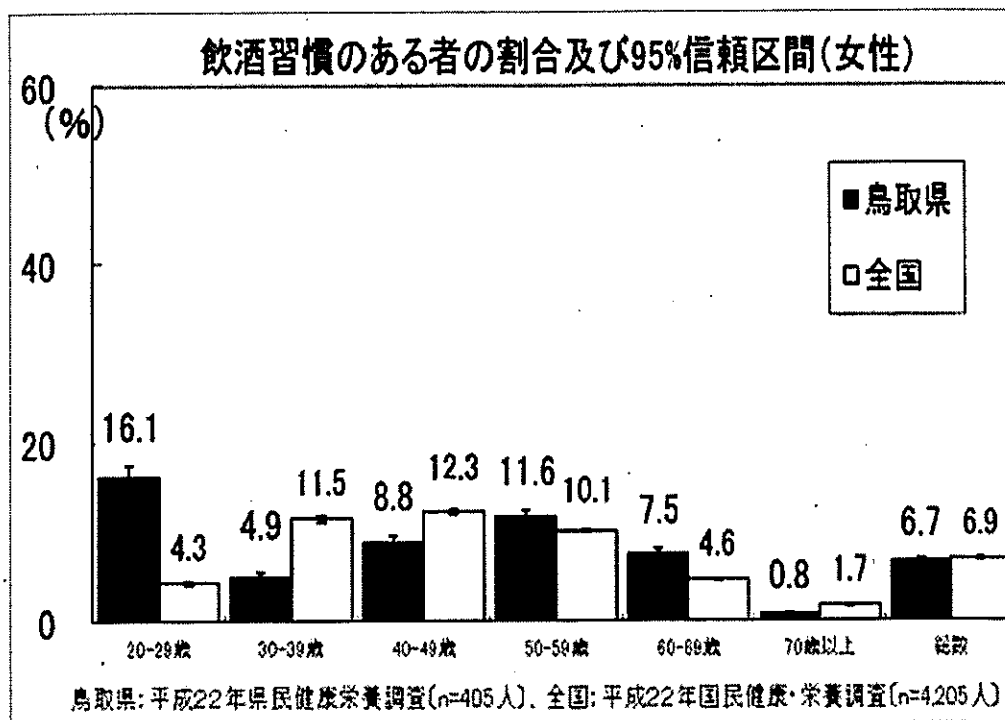
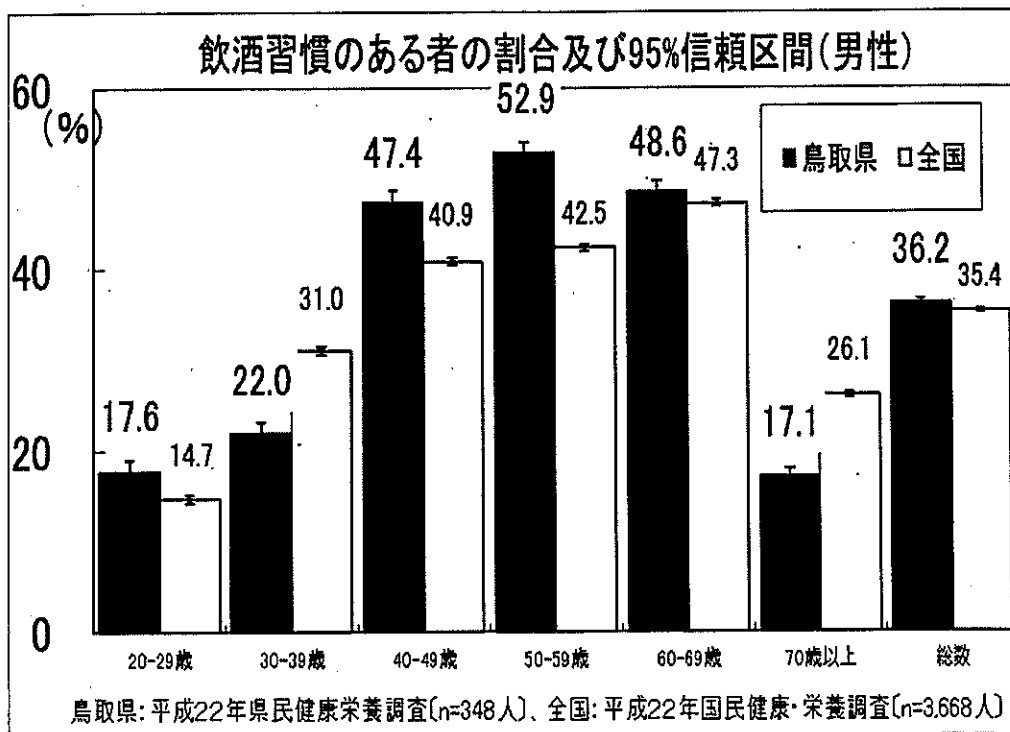
イ 飲酒習慣割合

(ア)全年齢計の全国比較において、男性は0.8ポイント高く、女性は、0.2ポイント低い。

	鳥取県(全年齢計)	全国(全年齢計)
男性	36.2%	35.4%
女性	6.7%	6.9%

(イ)本県の年代別では、男性の40～60歳代で高く、女性では20歳代が高い。

<表 29>

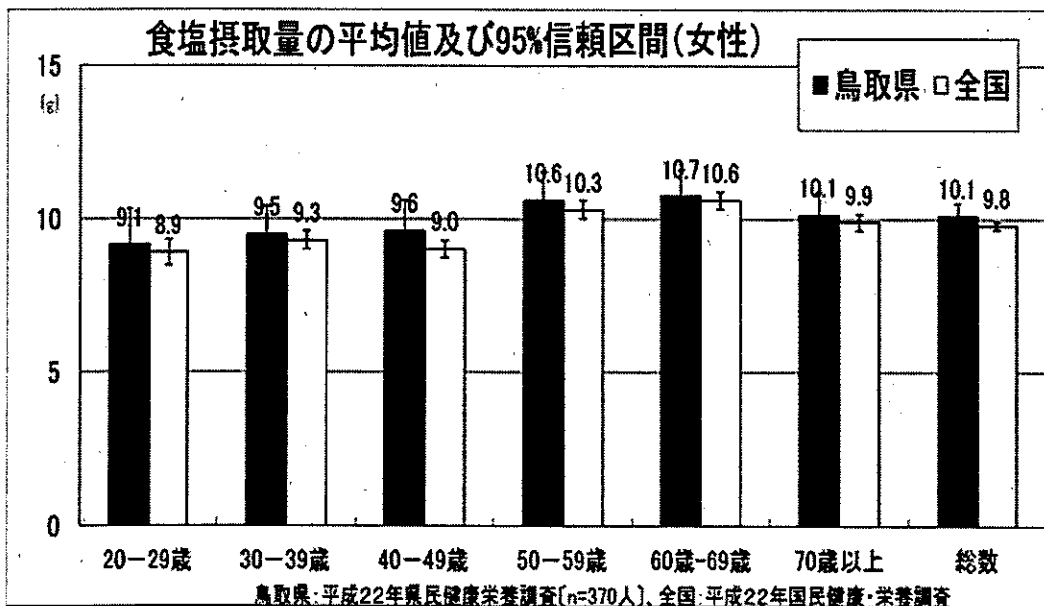
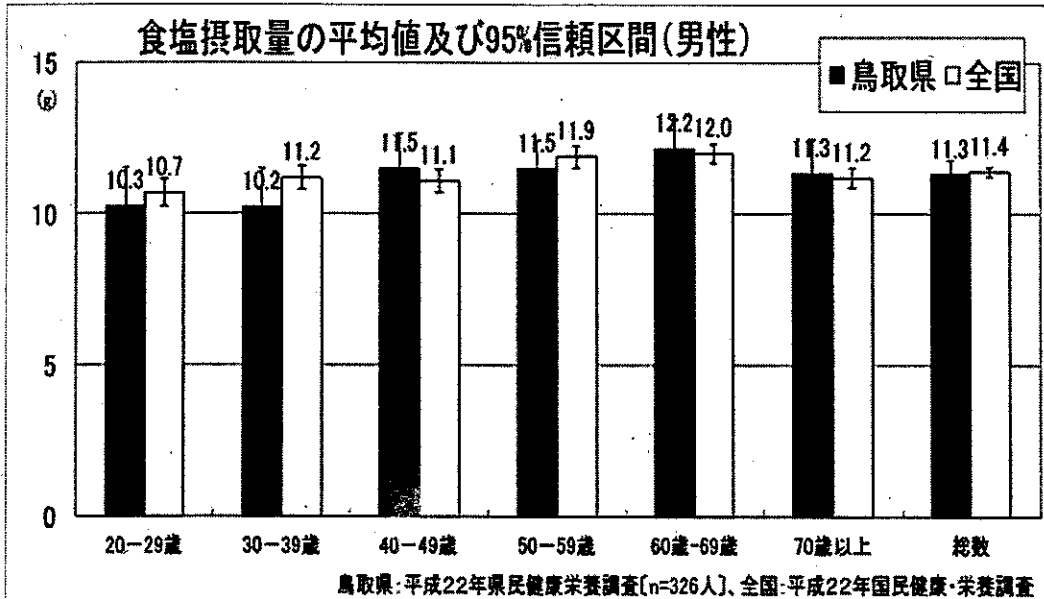


ウ 塩分摂取

(ア) 全年齢計の全国比較において、男性、女性ともほぼ同じ。

	鳥取県(全年齢計)	全国(全年齢計)
男性	11.3g	11.4g
女性	10.1g	9.8g

(イ) <表 30>



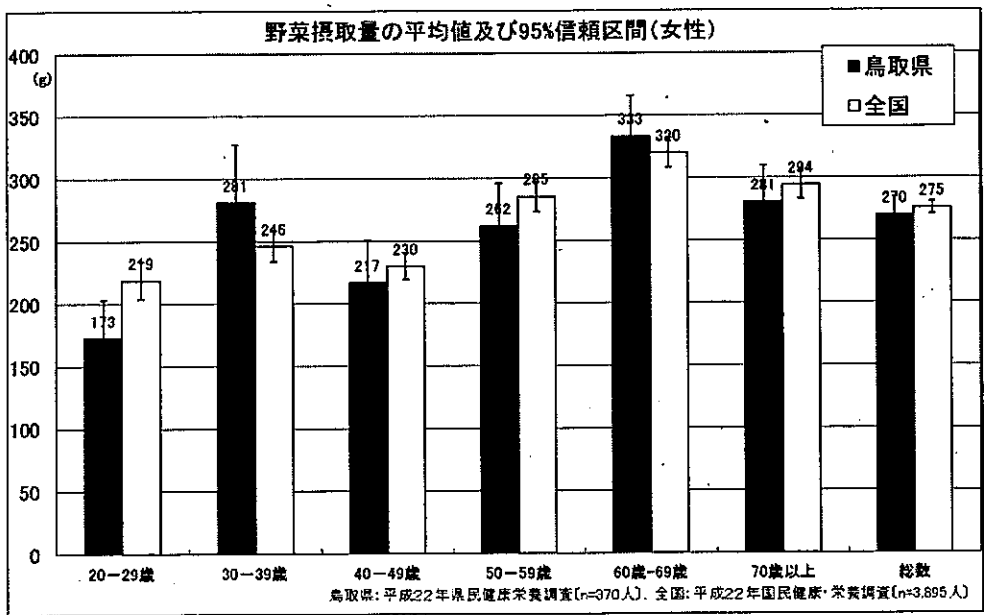
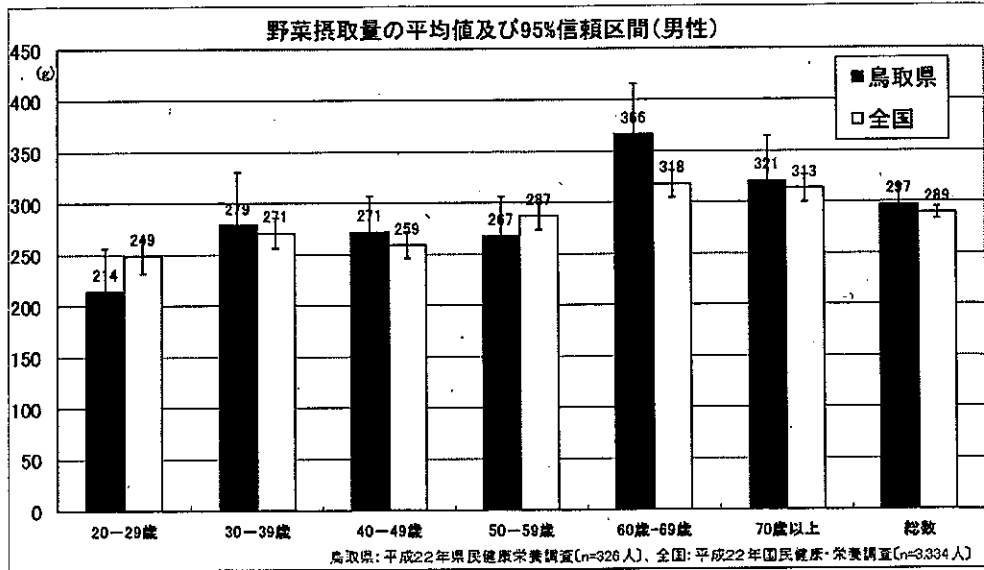
エ 野菜摂取

(ア) 全年齢計の全国比較において、男性は8g高く、女性は5g低い。

	鳥取県(全年齢計)	全国(全年齢計)
男性	297g	289g
女性	270g	275g

(イ) 本県の年代別では、男女とも60～70歳代が高く、20歳代が最も低い。

<表 31>



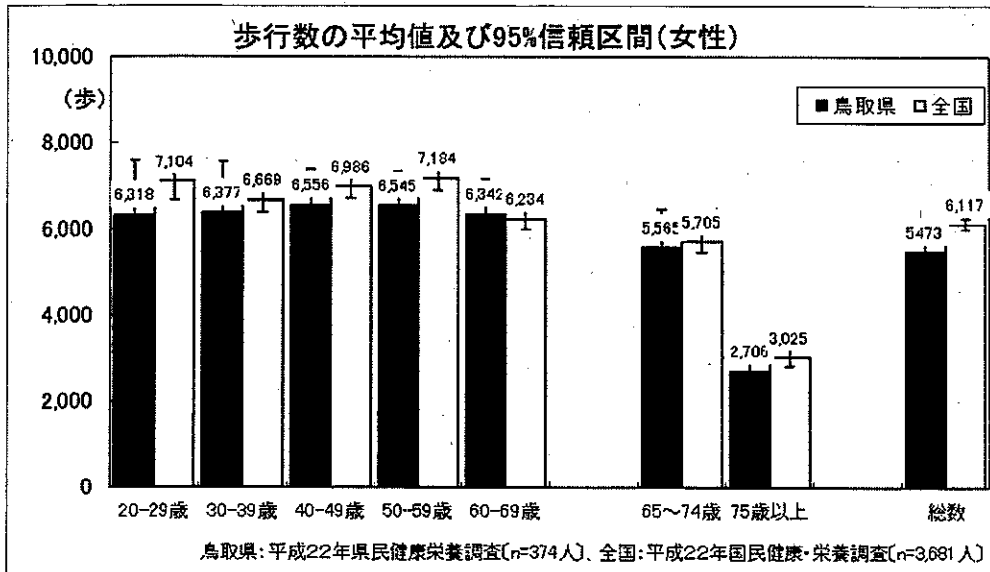
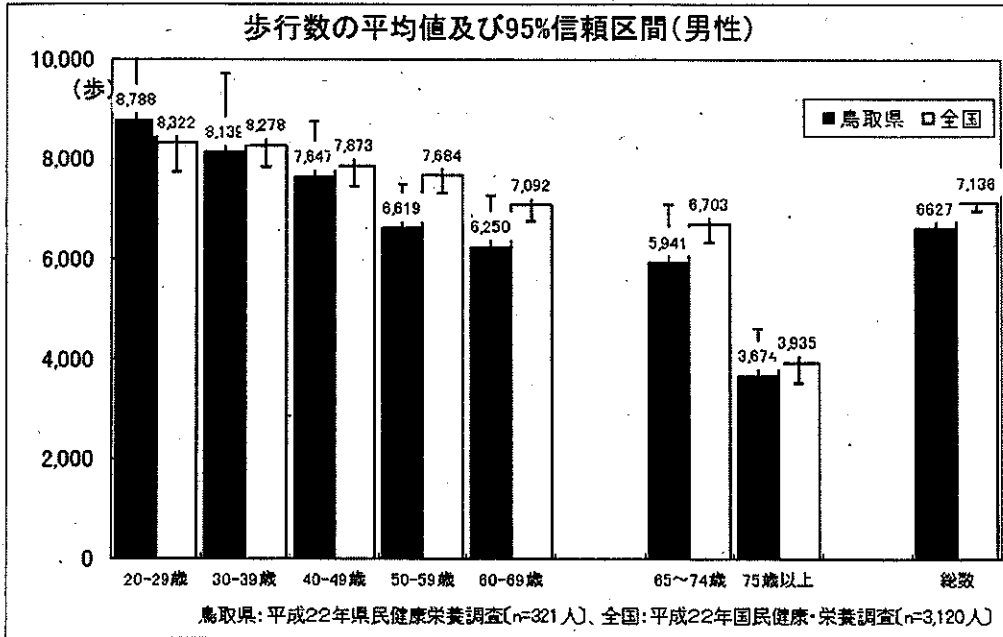
オ 運動習慣（歩行数）

(ア)男女とも全国と比較し、歩行数が少ない

	鳥取県	全国
男性	6,627 歩	7,136 歩
女性	5,473 歩	6,117 歩

(イ)本県は、ほとんどの年代で歩行数が少ない。

<表 32>



(2) 肝炎ウイルスの現状 (市町村が実施する肝炎ウイルス検査の状況)

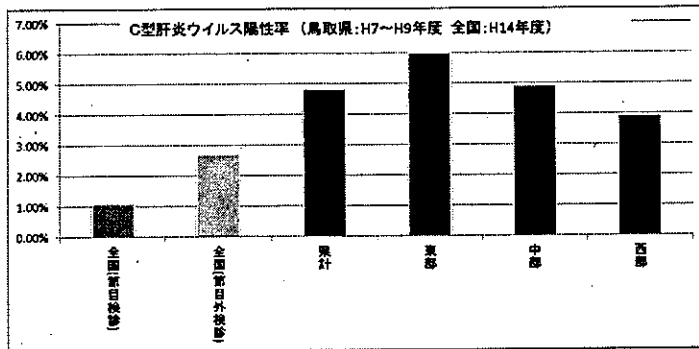
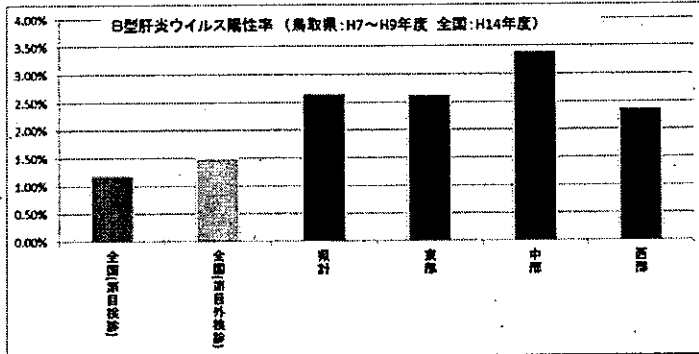
ア 肝炎ウイルス検査陽性率の全国比較

⇒本県は、肝炎ウイルス陽性率が全国平均に比べ高い。

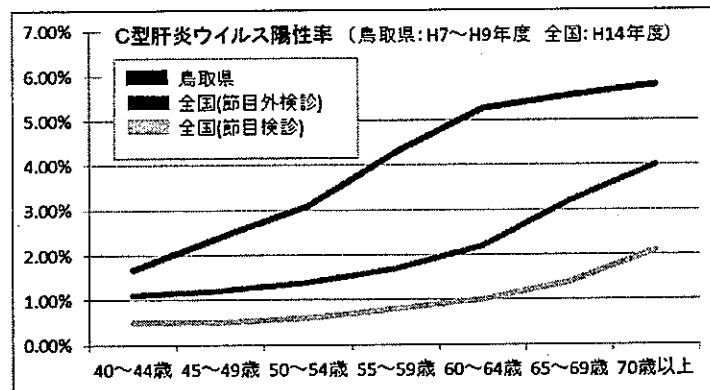
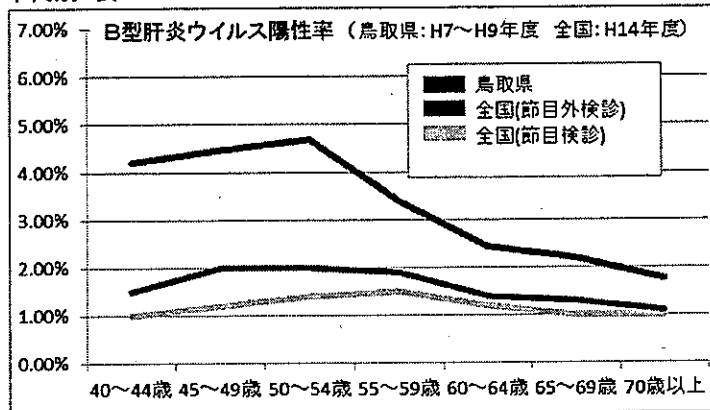
(ア) 地域別<表 33>

※陽性率の比較年の相違について

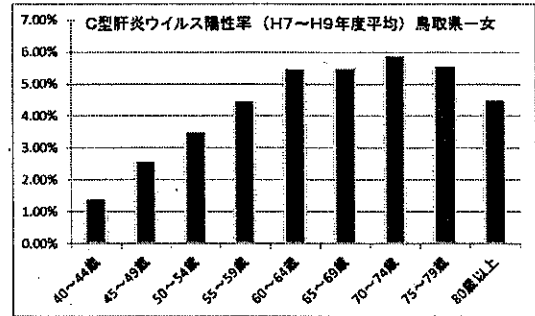
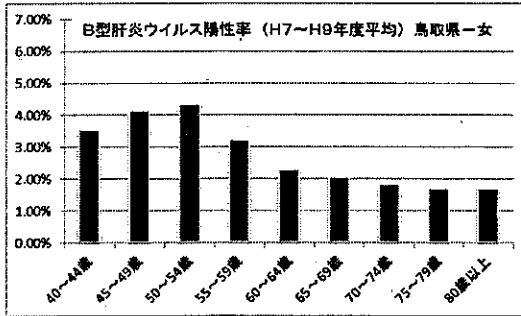
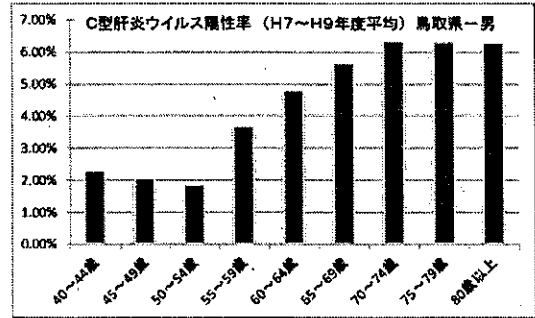
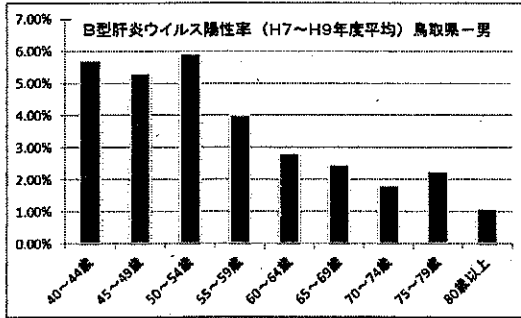
陽性率の状況を知るには、肝炎ウイルス検査開始年の陽性率をもって比較するのが適当であるが、全国的な検査開始年が平成14年度であるのに対し、鳥取県では、全国に先駆け平成7年から平成9年度に開始しているため、比較年をあえて変えている。(別の表も同じ)



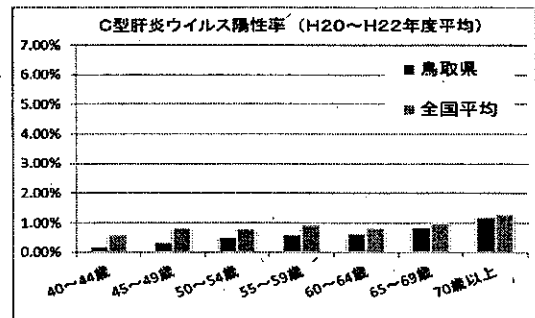
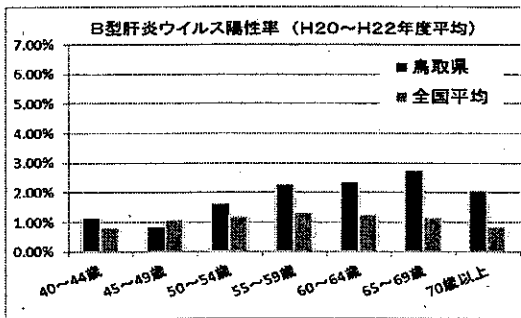
(ア) 年代別<表 34>



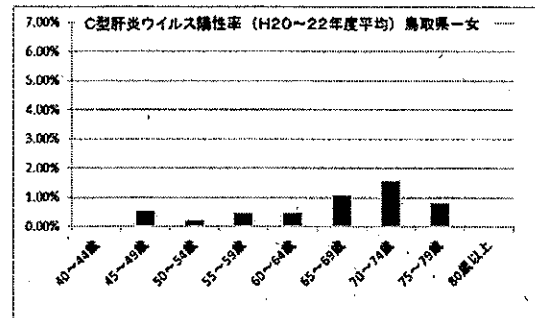
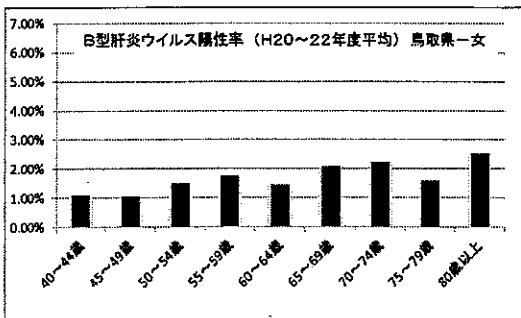
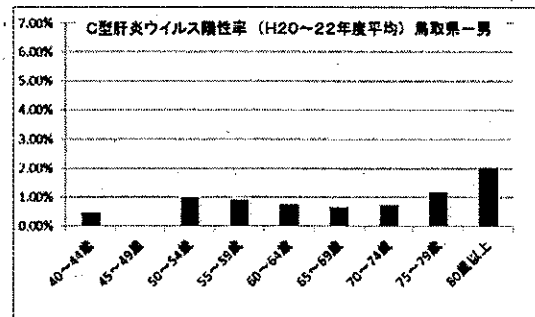
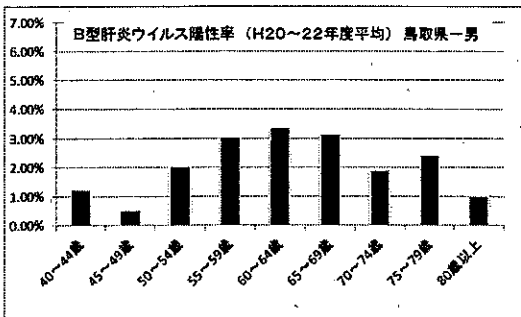
(ウ) 性別<表 35>



(エ) <表 36>直近3年平均 (平成20年度、平成21年度、平成22年度) 比較



<表 37>男女別、年齢別





[参考1]

過去（平成7～9年度）の市町村が実施する肝炎ウイルス検査実績

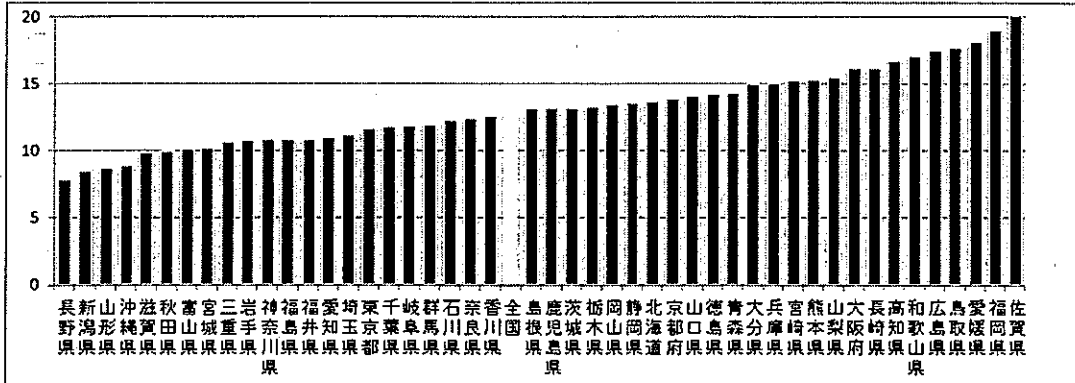
年齢	一次検査受診者数			HBS抗原陽性者			HBS抗原陽性率			HCV抗体陽性者			HCV抗体陽性率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
40～44歳	964	2,092	3,056	55	74	129	5.71%	3.54%	4.22%	22	29	51	2.28%	1.39%	1.67%
45～49歳	1,226	2,914	4,140	65	120	185	5.30%	4.12%	4.47%	25	75	100	2.04%	2.57%	2.42%
50～54歳	981	3,149	4,130	58	136	194	5.81%	4.32%	4.70%	18	110	128	1.83%	3.49%	3.10%
55～59歳	1,199	4,206	5,404	48	135	183	4.01%	3.21%	3.39%	44	188	232	3.67%	4.47%	4.29%
60～64歳	2,827	6,767	9,594	79	154	233	2.78%	2.28%	2.43%	135	370	505	4.78%	5.47%	5.26%
65～69歳	3,915	7,288	11,203	86	149	245	2.45%	2.04%	2.19%	221	401	622	5.64%	5.50%	5.55%
70～74歳	3,493	5,934	9,427	63	108	171	1.80%	1.82%	1.81%	221	349	570	6.33%	5.88%	6.05%
75～79歳	1,874	3,412	5,286	42	58	100	2.24%	1.70%	1.89%	118	190	308	6.30%	5.57%	5.83%
80歳以上	1,399	2,357	3,756	15	40	55	1.07%	1.70%	1.46%	88	106	194	6.28%	4.50%	5.17%
計	17,877	38,118	55,996	521	874	1,495	2.91%	2.56%	2.67%	892	1,818	2,710	4.89%	4.77%	4.84%

直近3年平均（平成20～22年度）市町村が実施する肝炎ウイルス検査実績

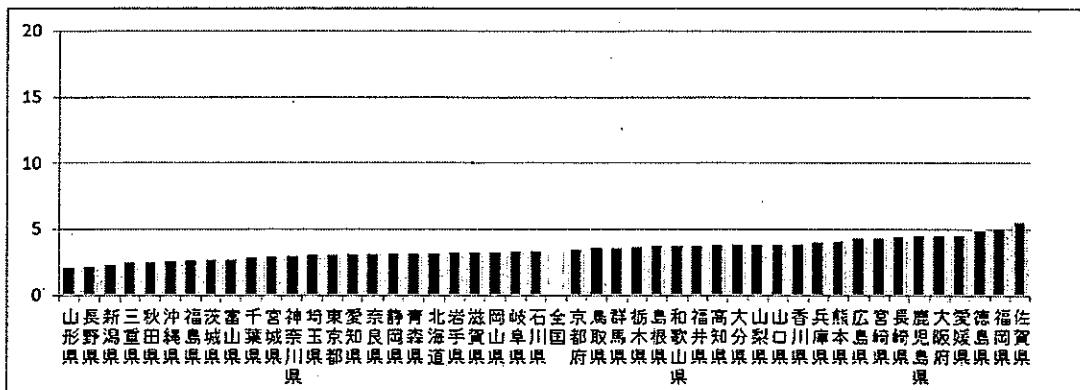
年齢	一次検査受診者数			HBS抗原陽性者			HBS抗原陽性率			HCV抗体陽性者			HCV抗体陽性率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
40～44歳	407	808	1,215	5	9	14	1.23%	1.11%	1.15%	2	0	2	0.49%	0.00%	0.16%
45～49歳	193	380	573	1	4	5	0.52%	1.05%	0.87%	0	2	2	0.00%	0.53%	0.35%
50～54歳	297	531	828	6	8	14	2.02%	1.51%	1.69%	3	1	4	1.01%	0.19%	0.48%
55～59歳	430	673	1,103	13	12	25	3.02%	1.78%	2.27%	4	3	7	0.93%	0.45%	0.63%
60～64歳	892	1,023	1,915	30	15	45	3.36%	1.47%	2.35%	7	5	12	0.78%	0.49%	0.63%
65～69歳	732	853	1,585	23	18	41	3.14%	2.11%	2.59%	5	9	14	0.68%	1.06%	0.88%
70～74歳	527	706	1,233	10	16	26	1.90%	2.27%	2.11%	4	11	15	0.76%	1.56%	1.22%
75～79歳	166	248	414	4	4	8	2.41%	1.61%	1.93%	2	2	4	1.20%	0.81%	0.97%
80歳以上	194	234	428	2	6	8	1.03%	2.56%	1.87%	4	0	4	2.06%	0.00%	0.93%
計	3,838	5,456	9,294	94	92	186	2.45%	1.69%	2.00%	31	33	64	0.81%	0.60%	0.69%

[参考2]

肝臓がん（男性）75歳未満年齢調整死亡率（直近3年平均） AVG(2008, 2009, 2010)



肝臓がん（女性）75歳未満年齢調整死亡率（直近3年平均） AVG(2008, 2009, 2010)



(3) がん検診の現状

ア <表 38> 鳥取県におけるがん検診受診率 (平成 22 年度実績)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
地域保健・健康増進事業報告	23.0 (9.6)	23.6 (17.2)	25.8 (16.8)	30.1 (23.9)	30.5 (19.0)
国民生活基礎調査	34.1 (30.1)	28.3 (23.0)	27.7 (24.8)	30.3 (32.0)	30.5 (31.4)
鳥取県独自調査	25.2 (-)	28.2 (-)	27.0 (-)	21.1 (-)	22.6 (-)

※ ( )内は、全国平均  
 ※地域保健・健康増進事業報告とは、厚生労働省が集計した市町村がん検診実績  
 ※国民生活基礎調査とは、厚生労働省が実施する抽出アンケート調査(n=約万2千人)  
 なお、子宮がん、乳がん受診率は、全国平均、鳥取県とも「過去2年間」の値により算出  
 ※鳥取県独自調査とは、医療機関に協力頂き県が実施した、職域を含めた県全体の受診率実態調査

(参考) 県内全体のがん検診受診率 (鳥取県調査) <表 39>

※県医師会及びがん検診実施医療機関 (87/125 機関) に御協力頂き、県内全体の受診率を独自調査。

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
鳥取県受診率 (%) C / D	25.2	28.2	27.0	21.1	22.6

<内 訳>

A.市町村がん検診受診者数(人)	43,296	45,482	49,495	42,691 (28,453)	35,803 (17,726)
B.職域等がん検診受診者数(人)	45,428	53,979	45,597	10,901	7,722
C.受診者数合計(人) A+B	88,724	99,461	95,092	53,592	43,525
D.検診対象数(人)	351,628	351,628	351,628	254,450	192,215

- A.市町村がん検診受診者数は、平成 22 年度受診者数の確定値。ただし、子宮がん、乳がんについては、国の算出方法(2年計算法)により算出した人数。なお、( )内は、H22 年度単年の受診者数。  
 B.市町村が実施する職域等のがん検診受診者数は、アンケートに協力いただける県内医療機関、検診機関から報告のあった人数。  
 なお、職域の乳がん、子宮がんについては、検診間隔に定めがないため、単年の受診者数。  
 D.検診対象人数は、直近(平成 22 年)鳥取県推計人口(出典:鳥取県統計課)

算出方法

$$\text{市町村が実施するがん検診の受診者} + \text{職域などで実施するがん検診の受診者} = \text{県全体の検診対象人口}$$

(ア) 職域等で実施するがん検診受診者数										(人)	
(年齢)	胃がん検診			肺がん検診			大腸がん検診			子宮がん検診	乳がん検診
	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
20~29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	866	-
30~39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,503	-
40~49	10,938	6,737	17,675	11,341	8,379	19,719	10,207	6,564	16,771	3,397	3,324
50~59	11,015	6,672	17,686	12,273	8,948	21,120	10,692	7,076	17,757	3,053	3,278
60~69	4,032	1,926	5,958	5,255	3,025	8,280	4,473	2,278	6,751	718	741
70~	477	454	931	735	613	1,348	580	480	1,060	114	79
年齢不詳	-	-	3,178	-	-	3,512	-	-	3,258	250	300
計	26,462	15,789	42,251	29,604	20,864	50,468	25,952	16,399	42,251	10,901	7,722

(イ) 市町村がん検診受診者数										(人)	
(年齢)	胃がん検診			肺がん検診			大腸がん検診			子宮がん検診	乳がん検診
	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
20~29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,852	-
30~39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,688	-
40~49	903	1,978	2,881	798	1,679	2,477	993	2,202	3,195	4,839	3,692
50~59	1,821	3,711	5,532	1,518	3,594	5,112	1,767	4,192	5,959	5,145	4,149
60~69	5,860	9,256	15,116	5,731	9,582	15,313	6,311	10,406	16,717	7,185	6,094
70~	8,199	11,768	19,967	8,957	13,623	22,580	9,582	14,042	23,624	4,744	3,791
計	16,583	28,713	45,296	17,004	28,478	45,482	18,653	30,842	49,495	28,453	17,726

(ウ) 県全体のがん検診受診率									
(年齢)	胃がん検診			肺がん検診			大腸がん検診		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
20~29	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30~39	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40~49	35.7%	25.4%	30.5%	36.6%	29.4%	32.9%	33.8%	25.6%	29.6%
50~59	30.8%	25.2%	28.0%	33.6%	30.2%	31.9%	30.4%	27.3%	28.8%
60~69	24.5%	26.2%	25.4%	27.2%	29.6%	28.4%	26.7%	29.8%	28.3%
70~	19.4%	16.5%	17.6%	21.6%	19.2%	20.1%	22.7%	19.6%	20.8%
計	27.0%	22.1%	24.3%	29.2%	25.7%	27.3%	28.0%	24.6%	26.1%

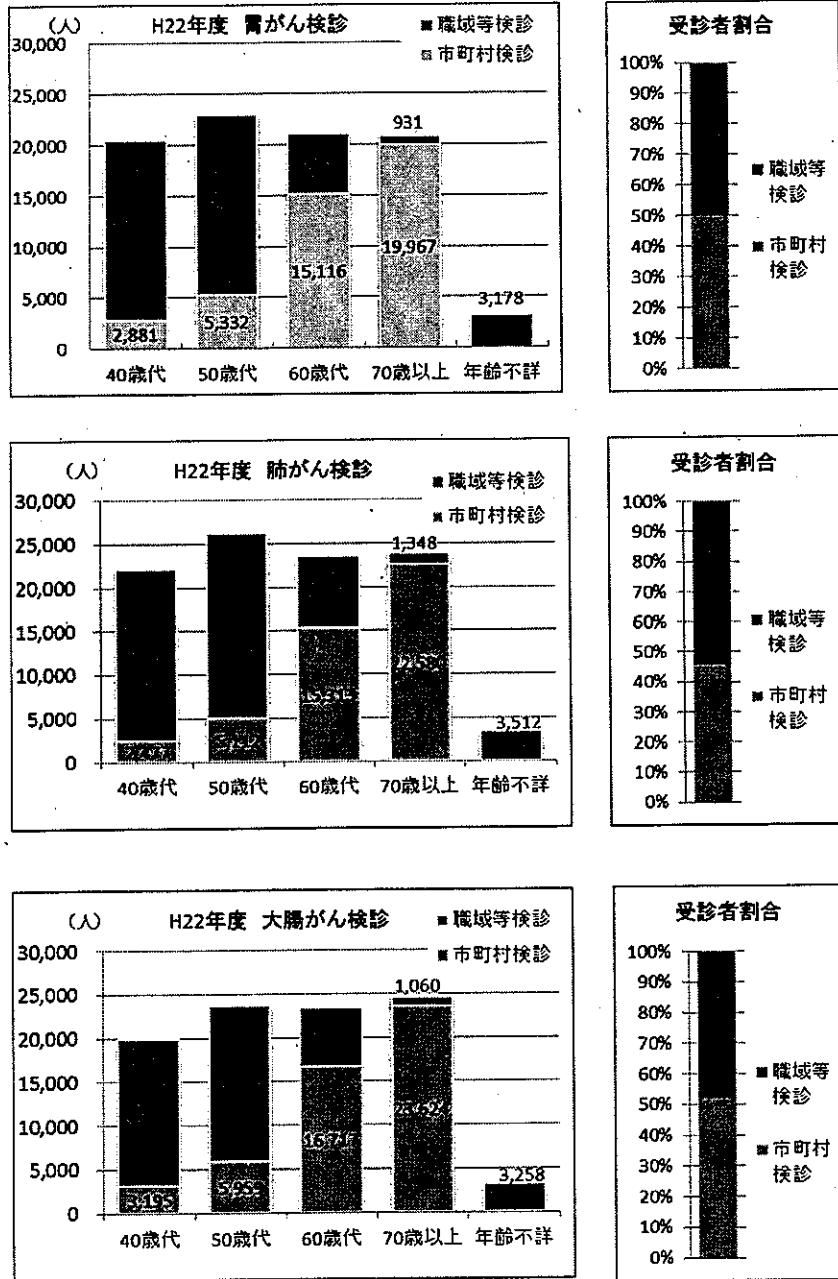
※市町村がん検診以外の受診者のうち、年齢不詳の受診者約3千人については、受診率に反映していない。

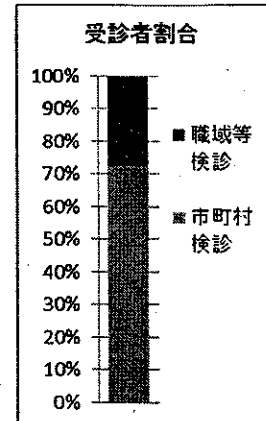
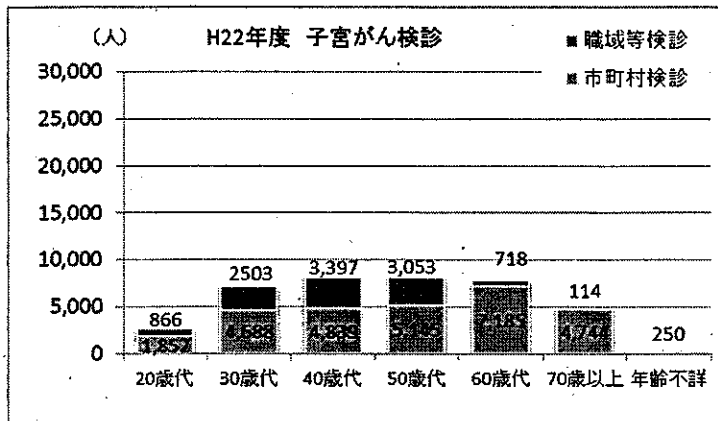
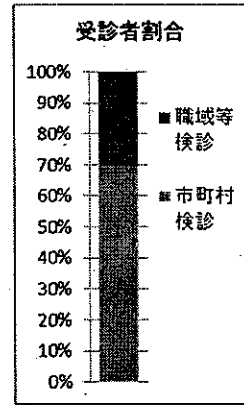
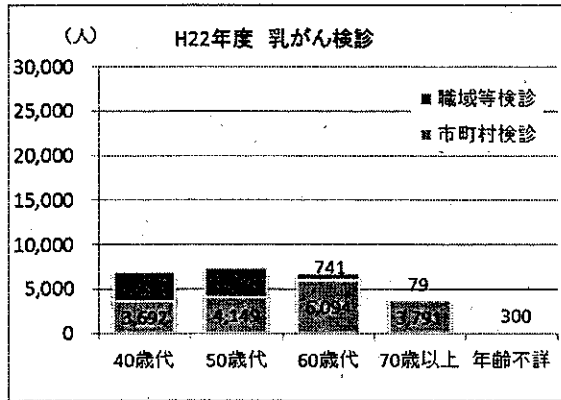
(ウ) がん検診種別受診傾向

働き世代の若い年代は、職場検診の受診する割合が多く、市町村検診は60歳以上の高齢者の割合が多い傾向。

全年齢では、胃がん、肺がん、大腸がんは、市町村検診と職場検診の受診割合はほぼ同じ。一方、乳がん、子宮がんについては、市町村検診の受診者の割合が多い。

<表 40>





イ <表 41> 市町村がん検診受診率の年次推移 (県域別) 出典:鳥取県健康対策協議会集計データ

胃がん検診受診率 (%)					乳がん検診受診率 (%)				
胃がん	H20	H21	H22	単純率平均	乳がん	H20	H21	H22	単純率平均
東部	24.9	24.6	24.4	24.6	東部	12.9	15.7	15.2	14.6
中部	16.8	16.7	18.1	17.2	中部	13.0	16.1	14.7	14.6
西部	23.7	24.1	24.2	24.0	西部	11.4	16.9	14.8	14.4

※受診率は単年計算による

肺がん検診受診率 (%)					子宮がん検診受診率 (%)				
肺がん	H20	H21	H22	単純率平均	子宮がん	H20	H21	H22	単純率平均
東部	29.9	29.3	28.6	29.3	東部	16.6	18.6	19.8	18.3
中部	29.0	29.2	19.1	25.8	中部	18.4	20.4	20.5	19.8
西部	17.0	17.8	17.5	17.4	西部	17.6	19.6	21.0	19.4

※受診率は単年計算による

大腸がん検診受診率 (%)				
大腸がん	H20	H21	H22	単純率平均
東部	28.3	27.9	27.8	28.0
中部	21.3	22.6	24.2	22.7
西部	25.6	26.0	25.8	25.8

ウ <表 42> 市町村が実施するがん検診の受診者数の年次推移 (人)

	H18	H19	H20	H21	H22
胃がん	45,192	44,272	42,799	42,801	43,296
肺がん	49,296	49,806	46,015	46,247	45,482
大腸がん	52,026	51,773	48,409	48,949	49,495
子宮がん	24,150	24,450	24,207	26,943	28,453
乳がん	13,956	14,134	14,624	19,278	17,726

※乳がん検診の受診機会は、2年に1回

エ <表 43> 精密検査受診率

検診種類	区分	H17	H18	H19	H20	H21	5年平均
胃がん	全国平均	74.6	75.2	75.2	79.9	79.7	76.9
	鳥取県	80.3	80.4	79.2	83.0	81.6	80.9
肺がん	全国平均	72.3	72.1	70.6	76.1	76.4	73.5
	鳥取県	84.9	84.6	85.4	88.1	89.0	86.4
大腸がん	全国平均	54.5	55.4	55.1	63.2	62.9	58.2
	鳥取県	69.2	73.2	72.6	73.1	76.2	72.9
子宮がん	全国平均	62.6	61.8	60.3	68.0	64.3	63.4
	鳥取県	87.6	83.3	87.6	90.2	89.5	87.6
乳がん	全国平均	79.9	80.5	79.6	85.0	82.3	81.4
	鳥取県	88.9	90.7	93.1	92.6	92.4	91.5

⇒部位より差はあるものの、いずれの部位も全国平均より高く推移。

オ 精度の高い検診が行われているか

<表 44> がん検診精度管理プロセス指標 (平成 22 年度市町村がん検診実績)

⇒部位や地域別で変動はあるものの、県計では、概ね精度の高い検診が実施されている。

検診種類	区分	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
		国指標	鳥取県	国指標	鳥取県	国指標	鳥取県	国指標	鳥取県	国指標	鳥取県
胃がん	許容値	11.0%以下	7.8%	3.0%以下	4.4%	7.0%以下	7.6%	1.4%以下	1.03%	11.0%以下	8.1%
肺がん	許容値	70%以上	83.3%	70%以上	88.2%	70%以上	75.3%	70%以上	65.5%	80%以上	92.3%
	目標値	90%以上		90%以上		90%以上		90%以上			
大腸がん	許容値	0.11%以上	0.3%	0.03%以上	0.11%	0.13%以上	0.27%	0.05%以上	0.07%	0.23%以上	0.39%
子宮がん	許容値	1.0%以上	2.2%	1.3%以上	2.8%	1.0%以上	4.7%	4.0%以上	10.4%	2.5%以上	5.3%

※鳥取県健康対策協議会集計値

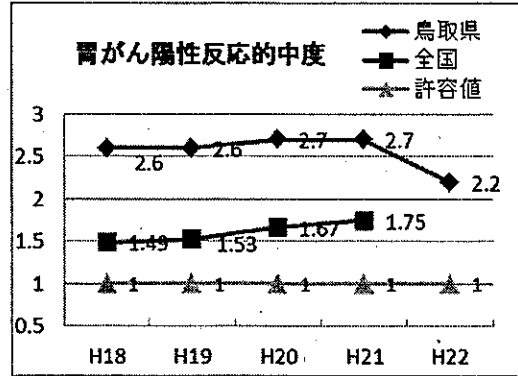
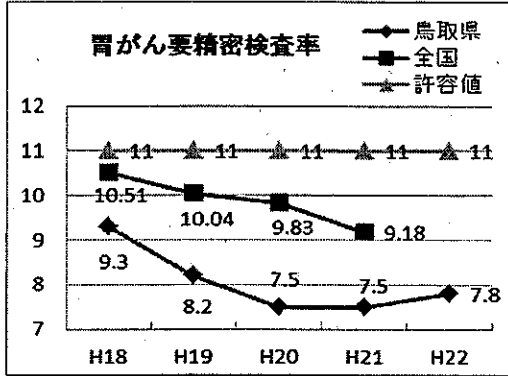
平成22年度に県内市町村で実施されたがん検診実績におけるプロセス指標対比表

区分		要精密検査率				精密検査受診率				がん発見率				陽性反応の集中度			
		東部	中部	西部	県計	東部	中部	西部	県計	東部	中部	西部	県計	東部	中部	西部	県計
胃がん	集団	7.1	6.7	5.6	6.5	83.0	84.7	84.2	83.9	0.18	0.12	0.11	0.14	3.0	2.1	2.3	2.5
	個別	13.5	27.3	9.8	12.3	82.3	86.7	85.1	82.3	0.56	0.44	0.33	0.44	1.8	—	1.5	1.6
	計	9.0	7.2	6.9	7.8	82.7	83.1	84.6	83.3	0.42	0.24	0.27	0.33	2.5	2.0	2.0	2.2
	許容値	11.0%以下				70%以上				0.11%以上				1.0%以上			
肺がん	集団	2.5	4.6	4.3	3.9	85.2	84.9	87.3	86.1	0.12	0.10	0.08	0.10	5.4	2.5	2.3	2.9
	個別	4.4	11.6	—	5.4	90.1	94.1	—	91.3	0.14	0.16	—	0.14	4.6	—	—	3.1
	計	3.7	5.9	4.3	4.4	88.9	88.1	87.3	88.2	0.13	0.11	0.08	0.11	3.9	2.1	2.2	2.8
	許容値	3.0%以下				70%以上				0.03%以上				1.3%以上			
大腸がん	集団	6.1	6.1	6.1	6.1	77.5	89.4	76.1	74.0	0.14	0.17	0.21	0.17	2.9	4.1	4.5	3.8
	個別	8.0	9.5	9.3	8.7	77.1	75.0	75.5	76.1	0.38	0.49	0.28	0.34	6.1	7.7	3.9	5.1
	計	7.4	6.5	6.5	7.6	77.1	70.8	75.6	75.4	0.30	0.23	0.26	0.27	5.2	5.0	4.0	4.7
	許容値	7.0%以下				70%以上				0.13%以上				1.9%以上			
子宮がん	集団	0.4	0.7	0.2	0.5	80.0	84.6	50.0	80.0	0.02	0.05	—	0.03	6.3	9.1	—	7.5
	個別	1.5	0.9	1.3	1.3	82.9	60.0	81.2	82.6	0.08	0.00	0.10	0.09	8.2	22.2	12.2	11.2
	計	1.1	0.7	1.1	1.0	85.8	75.6	82.2	85.5	0.06	0.07	0.08	0.07	7.8	12.9	11.9	10.4
	許容値	1.4%以下				70%以上				0.05%以上				4.0%以上			
乳がん	集団	8.5	6.3	4.5	6.5	93.4	92.3	93.2	95.4	0.22	0.41	0.38	0.35	2.8	7.1	9.1	5.7
	個別	7.7	8.1	11.4	9.5	89.4	89.7	93.7	91.9	0.39	0.12	0.33	0.44	5.7	1.6	5.1	5.1
	計	8.0	6.7	8.9	8.1	91.1	91.5	93.6	92.3	0.33	0.34	0.49	0.39	4.5	5.4	2.5	5.3
	許容値	11.0%以下				80%以上				0.23%以上				2.5%以上			

※区分内の「集団」とは、検診機関が行う集団検診、「個別」とは、医療機関で行う医療機関個別検診をいう。  
 ※胃がんの「個別」の要精密検査率の値については、内視鏡検診を含まない。  
 ※「—」は、許容値未達成部分  
 ※表中、「—」印は、値が0.01未満  
 ※許容値は、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書(がん検診事業の評価に関する委員会、平成20年3月)による

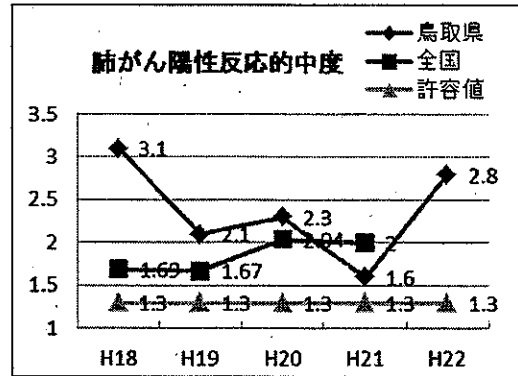
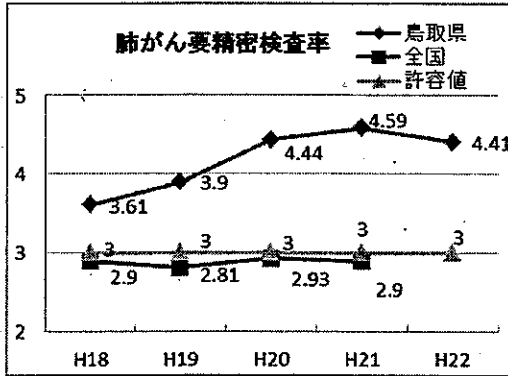
(ア) 胃がん

平成12年度から内視鏡検査を取り入れ、内視鏡検査受診者数が次第に増加。要精検率、陽性反応的中度ともに国の示す許容値内。

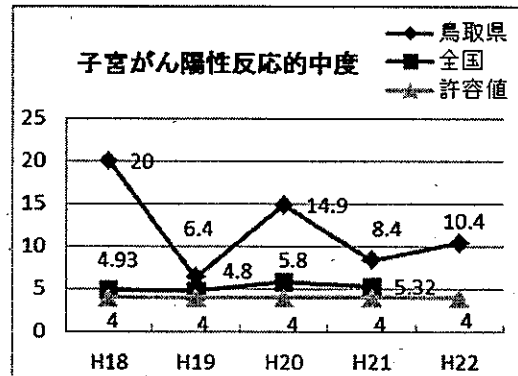
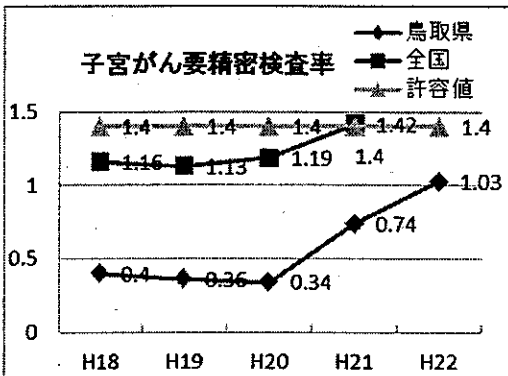
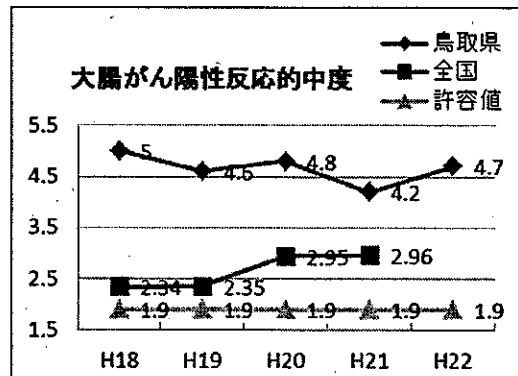
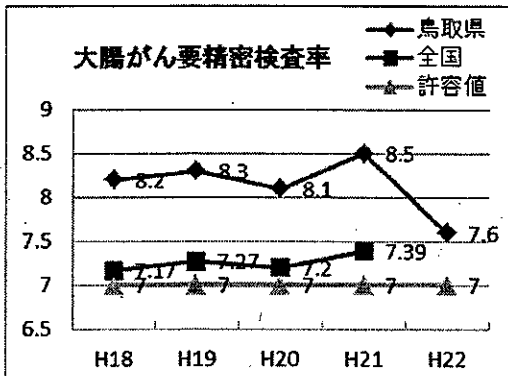


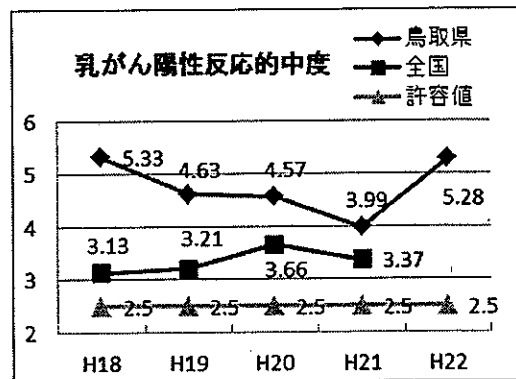
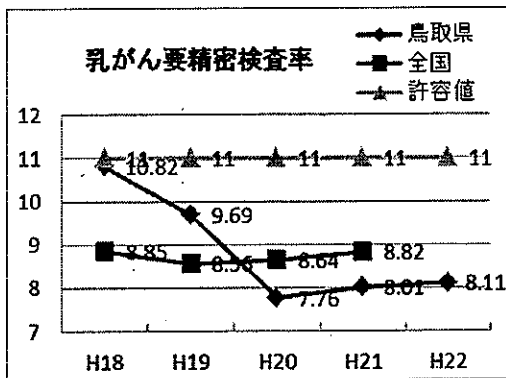
(イ) 肺がん

要精検率が国の示す許容値を大きく上回も、陽性反応的中度は良好。



(ウ) 大腸がん、子宮がん、乳がん





カ 早期に発見できているか

(ア) <表 45> 地域がん登録時の病巣の拡がりは他県とほぼ同じ傾向

		病巣の拡がり					
		上皮内	限局	所属リンパ節	隣接臓器浸潤	遠隔転移	不明
鳥取県	全部位	7.9%	46.0%	13.0%	9.7%	14.8%	8.6%
岡山県	全部位	6.5%	45.0%	9.9%	13.8%	16.6%	14.8%
福井県	全部位	5.9%	43.5%	10.2%	11.8%	16.3%	12.3%

(出典)2008 鳥取県地域がん登録、2008 岡山県地域がん登録、2007 福井県地域がん登録  
 ※他県比較は、がん死亡率が低く（良好）で、がん登録の精度が高い県から選定

(イ) <表 46> しかしながら、受療動機をみると検診の割合は少ない

		検診	健康診断 (人間ドック)	各種 検診	自覚 症状	その他
		鳥取県	全部位	34.3	5.6	10.1
岡山県	全部位	14.9	15.5		25.9	43.6

(出典)鳥取県地域がん登録、岡山県地域がん登録  
 ※他県比較は、がん死亡率が低く（良好）で、がん登録の精度が高い県から選定

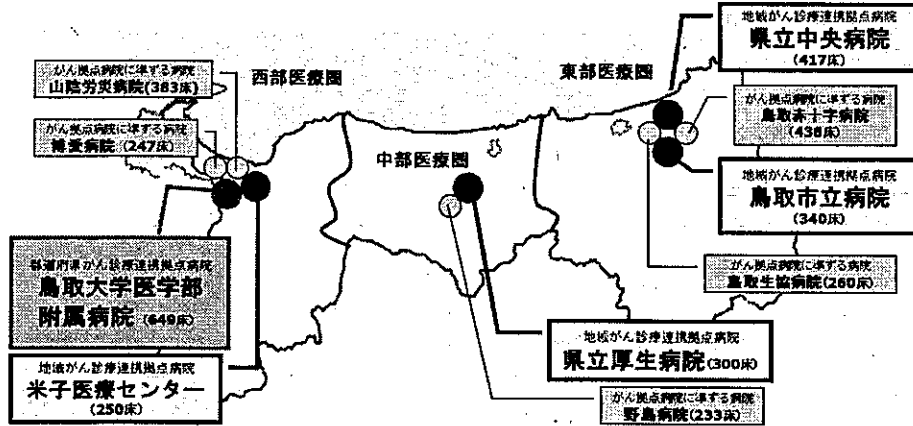
(4) がん医療

ア がん診療連携拠点病院等

がん医療については、がん診療連携拠点病院（県内5箇所）が県内2次医療圏内にバランスよく配置されており、がん診療連携拠点病院を中心に、がん医療を提供できる体制が整備されている。

がん拠点病院5病院＋がん拠点病院に準ずる病院5病院

居住する地域にかかわらず、県民に質の高いがん医療を提供  
 がんの専門医療機関とかかりつけ医などが連携し、切れ目のない治療を提供



イ 病院の症例数

がん診療連携拠点病院（5病院）における地域がん登録の届出割合は計74.4%で、がん診療連携拠点病院に準じる病院（5病院計）の届出割合計13.8%を加えると、双方の割合を加えると88.4%。本県地域がん登録の届出件数の約9割を占めている。

<表 47> 2011年主要病院・部位別届出集計(鳥取県地域がん登録)

医療機関名	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	前立腺	膀胱	腎臓	甲状腺	リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	その他	合計	届出割合	
鳥取大学医学部附属病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113	0	0	0	0	0	0	0	113	25.2%	
鳥取赤十字病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
鳥取市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
鳥取生協病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
東立厚生病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
鳥取赤十字病院	2	43	42	19	7	5	6	3	41	0	7	15	7	0	0	0	0	8	205	3.7%	
野島病院	1	45	27	16	7	7	17	5	26	0	2	0	2	4	5	1	2	14	181	3.3%	
山陰労災病院	4	37	32	12	12	6	10	5	5	0	20	11	3	0	0	0	1	7	165	3.0%	
生協病院	7	26	15	11	0	7	7	22	8	0	0	1	0	0	1	0	1	10	116	2.1%	
済生会境港総合病院	4	27	21	10	6	7	8	11	5	0	1	2	0	0	0	0	0	0	102	1.8%	
博愛病院	0	18	17	11	12	2	4	0	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	1.8%	
日野病院	1	2	0	0	0	2	1	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	15	0.3%	
岩美病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
智頭病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
西伯病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
日南病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
その他	13	106	57	27	38	13	27	82	27	20	24	8	13	7	7	3	7	56	535	9.5%	
累計	144	882	565	327	278	132	204	727	430	210	351	171	144	76	149	36	101	617	5,544	88.2%	
(地域別)																					
東部	42	336	232	115	112	47	81	274	129	81	122	58	53	26	52	14	30	178	1,982	35.8%	
中部	19	194	107	63	48	29	47	151	63	40	37	18	17	9	14	3	7	76	942	17.0%	
西部	83	352	226	149	118	56	76	302	238	89	192	95	74	41	83	19	64	363	2,620	47.3%	

※表中、     は、がん診療連携拠点病院、     は、がん診療連携拠点病院に準じる病院



ウ 治療方法

〈表 48〉がん診療連携拠点病院 院内がん登録 2009年全国集計報告書より抜粋  
(出典) 国立がん研究センター がん対策情報センター

5大癌登録数合計(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類 治療前ステージ別

施設名	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
鳥取大学医学部附属病院	471	5	240	64	65	83	14
鳥取県立厚生病院	321	15	162	40	59	43	2
米子医療センター	224	12	78	25	46	53	10
鳥取県立中央病院	361	37	141	31	82	64	6
鳥取市立病院	327	12	136	56	46	53	24
計	1704	81	757	216	298	296	56

胃癌登録数(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類 治療前ステージ別

施設名	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
鳥取大学医学部附属病院	103	1	82	5	2	11	2
鳥取県立厚生病院	102	0	69	11	10	12	0
米子医療センター	43	0	21	2	6	11	3
鳥取県立中央病院	98	0	62	4	13	19	0
鳥取市立病院	87	0	47	9	8	22	1
計	433	1	281	31	39	75	6

肺癌登録数(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類 治療前ステージ別

施設名	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
鳥取大学医学部附属病院	166	1	84	1	33	43	4
鳥取県立厚生病院	83	0	43	4	20	15	1
米子医療センター	64	0	15	2	17	26	4
鳥取県立中央病院	67	1	16	2	22	24	2
鳥取市立病院	72	0	41	5	11	15	0
計	452	2	199	14	103	123	11

大腸癌登録数(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類 治療前ステージ別

施設名	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
鳥取大学医学部附属病院	78	2	21	17	10	20	8
鳥取県立厚生病院	73	15	17	7	21	12	1
米子医療センター	76	12	18	9	20	14	3
鳥取県立中央病院	126	36	40	6	28	12	4
鳥取市立病院	104	9	24	23	13	12	23
計	457	74	120	62	92	70	39

肝癌登録数(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類 治療前ステージ別

施設名	総数	I期	II期	III期	IV期	不明
鳥取大学医学部附属病院	54	17	15	17	5	0
鳥取県立厚生病院	21	7	4	7	3	0
米子医療センター	5	3	0	1	1	0
鳥取県立中央病院	45	11	10	15	9	0
鳥取市立病院	34	16	8	9	1	0
計	159	54	37	49	19	0

乳癌登録数(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類 治療前ステージ別

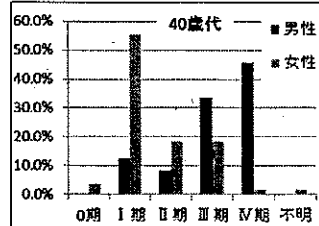
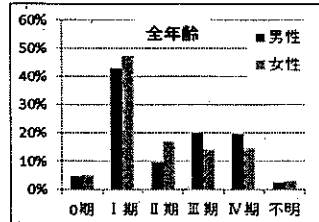
施設名	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
鳥取大学医学部附属病院	70	1	36	26	3	4	0
鳥取県立厚生病院	42	0	26	14	1	1	0
米子医療センター	36	0	21	12	2	1	0
鳥取県立中央病院	25	0	12	9	4	0	0
鳥取市立病院	30	3	8	11	5	3	0
計	203	4	103	72	15	9	0

エ 男女別、年代別、自施設初回治療ステージ割合

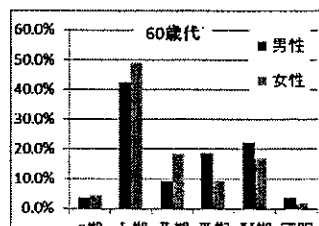
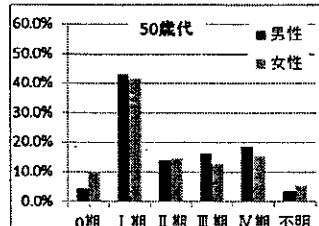
5大癌登録数合計(自施設初回治療、癌腫):施設、UICC-TNM分類 治療前ステージ別

⇒男性、女性、各年代ともI期の割合が高い。III・IV期は男性が高い傾向。

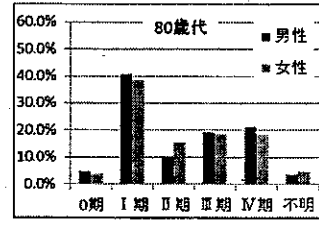
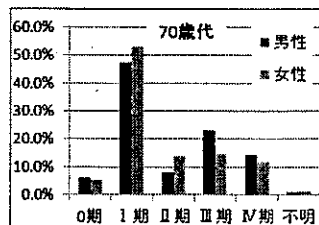
年齢	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
20歳代	3	0	0	0	0	3	0
30歳代	23	0	13	7	1	1	1
40歳代	78	2	33	12	18	12	1
50歳代	245	17	104	35	36	42	11
60歳代	457	18	204	56	71	94	14
70歳代	546	31	272	58	107	72	6
80歳代	301	13	120	38	57	61	12
90歳以上	41	0	11	10	8	11	1
計	1324	38	757	219	298	296	44
ステージ別割合	100%	3%	57%	16%	22%	22%	3%



年齢	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
20歳代	2	0	0	0	0	2	0
30歳代	4	0	2	0	1	1	0
40歳代	24	0	3	2	8	11	0
50歳代	135	6	58	19	22	25	5
60歳代	304	11	129	28	57	68	11
70歳代	316	19	150	26	73	45	3
80歳代	172	8	70	18	33	37	6
90歳以上	16	0	7	2	3	3	1
計	973	34	416	95	187	192	29
ステージ別割合	100%	3%	43%	10%	20%	20%	3%



年齢	総数	0期	I期	II期	III期	IV期	不明
20歳代	1	0	0	0	0	1	0
30歳代	19	0	11	7	0	0	1
40歳代	54	2	30	10	10	1	1
50歳代	110	11	46	16	14	17	6
60歳代	153	7	75	28	14	26	3
70歳代	230	12	122	32	34	27	3
80歳代	129	5	50	20	24	24	6
90歳以上	25	0	4	8	5	8	0
計	721	37	341	127	102	106	20
ステージ別割合	100%	5%	47%	17%	14%	15%	3%



オ 施設別がん治療法割合（総数 50 例以上より抜粋）〈表 49〉

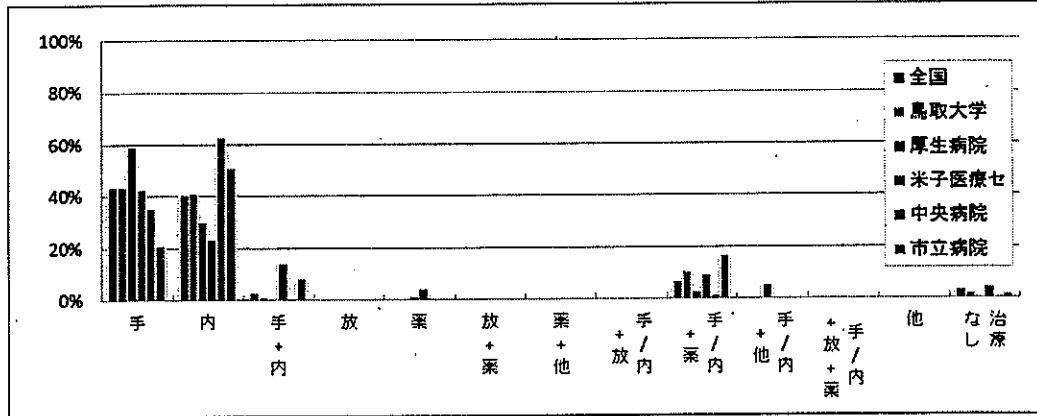
(ア) 胃がん

治療前ステージⅠ期（自施設初回治療、癌腫、UICC-TNM分類）：施設、治療方法別

(1) 集計件数														
施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	34,546	15,948	14,118	1,023	5	246	14	3	14	2,380	261	14	115	1,305
馬取大学	82	36	34	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	2
馬取大学厚生病院	59	41	21	0	0	1	0	0	0	2	4	0	0	1
独立行政法人国立がん研究センター	21	9	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
馬取県立中央病院	52	23	39	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
馬取市立病院	47	10	24	4	0	0	0	0	0	8	0	0	0	1
計	281	118	123	8	0	2	0	0	0	22	4	0	0	4

(2) 治療割合														
施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	-	43.56%	40.87%	2.86%	0.01%	0.71%	0.04%	0.01%	0.04%	6.89%	0.76%	0.04%	0.33%	3.78%
馬取大学	-	43.90%	41.48%	1.22%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	10.98%	0.00%	0.00%	0.00%	2.44%
馬取大学厚生病院	-	59.42%	30.43%	0.00%	0.00%	1.45%	0.00%	0.00%	0.00%	2.90%	5.80%	0.00%	0.00%	0.00%
独立行政法人国立がん研究センター	-	42.86%	23.81%	14.29%	0.00%	4.76%	0.00%	0.00%	0.00%	9.52%	0.00%	0.00%	0.00%	4.35%
馬取県立中央病院	-	35.48%	82.90%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.61%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
馬取市立病院	-	21.28%	51.08%	8.51%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	17.02%	0.00%	0.00%	0.00%	2.13%
計	-	41.99%	43.77%	2.85%	0.00%	0.71%	0.00%	0.00%	0.00%	7.83%	1.42%	0.00%	0.00%	1.42%

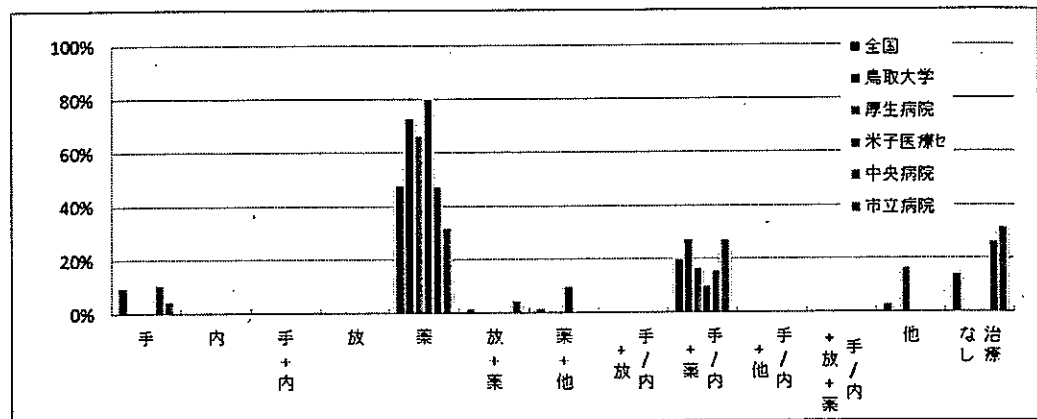


治療前ステージⅣ期（自施設初回治療、癌腫、UICC-TNM分類）：施設、治療方法別

(1) 集計件数														
施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	6,646	826	51	8	53	4,131	142	142	8	1,731	34	28	261	1,231
馬取大学	11	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
馬取大学厚生病院	12	0	0	0	0	8	0	0	0	2	0	0	2	0
独立行政法人国立がん研究センター	10	0	0	0	0	8	0	1	0	1	0	0	0	0
馬取県立中央病院	19	2	0	0	0	9	0	0	0	3	0	0	0	5
馬取市立病院	22	1	0	0	0	7	1	0	0	6	0	0	0	7
計	74	3	0	0	0	40	1	1	0	15	0	0	2	12

(2) 治療割合														
施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	-	9.55%	0.59%	0.09%	0.81%	47.78%	1.64%	1.64%	0.09%	20.02%	0.39%	0.32%	3.02%	14.24%
馬取大学	-	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	72.73%	0.00%	0.00%	0.00%	27.27%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
馬取大学厚生病院	-	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	66.67%	0.00%	0.00%	0.00%	16.67%	0.00%	0.00%	16.67%	0.00%
独立行政法人国立がん研究センター	-	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	80.00%	0.00%	10.00%	0.00%	10.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
馬取県立中央病院	-	10.53%	0.00%	0.00%	0.00%	47.37%	0.00%	0.00%	0.00%	15.79%	0.00%	0.00%	0.00%	26.32%
馬取市立病院	-	4.55%	0.00%	0.00%	0.00%	31.82%	4.55%	0.00%	0.00%	27.27%	0.00%	0.00%	0.00%	31.82%
計	-	4.05%	0.00%	0.00%	0.00%	54.05%	1.35%	1.35%	0.00%	20.27%	0.00%	0.00%	2.70%	16.22%



(イ) 肺がん

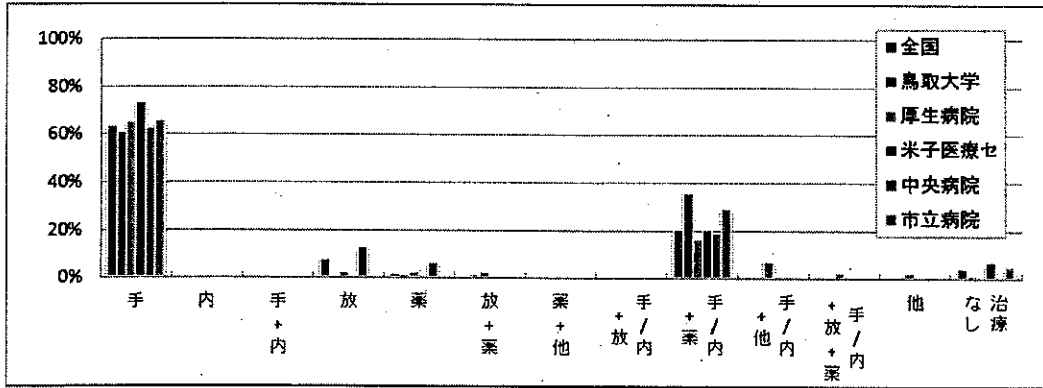
治療前ステージⅠ期 (自施設初回治療、癌腫、UICC-TNM分類) : 施設、治療方法別

(1) 集積件数

施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	17,276	10,950	14	20	1,285	253	150	5	97	3,485	102	102	125	688
鳥取大学医学部附属鳥取院	84	51	0	0	0	1	1	0	0	30	0	0	0	1
鳥取県立厚生病院	43	26	0	0	1	1	1	0	0	7	3	1	1	0
独立行政法人国立病院機構米子医療センター	15	11	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1
鳥取県立中央病院	16	10	0	0	2	1	0	0	0	3	0	0	0	0
鳥取市立病院	41	27	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	2
計	199	127	0	0	3	3	2	0	0	55	3	1	1	4

(2) 治療割合

施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	-	63.38%	0.08%	0.12%	7.44%	1.46%	0.87%	0.03%	0.56%	20.17%	0.59%	0.59%	0.72%	3.98%
鳥取大学医学部附属鳥取院	-	60.71%	0.00%	0.00%	0.00%	1.19%	1.19%	0.00%	0.00%	35.71%	0.00%	0.00%	0.00%	1.19%
鳥取県立厚生病院	-	65.12%	0.00%	0.00%	2.33%	2.33%	2.33%	0.00%	0.00%	16.28%	6.88%	2.33%	2.33%	0.00%
独立行政法人国立病院機構米子医療センター	-	73.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	20.00%	0.00%	0.00%	0.00%	6.73%
鳥取県立中央病院	-	62.50%	0.00%	0.00%	12.50%	6.25%	0.00%	0.00%	0.00%	18.75%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
鳥取市立病院	-	65.85%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	29.27%	0.00%	0.00%	0.00%	4.88%
計	-	63.82%	0.00%	0.00%	1.51%	1.51%	1.01%	0.00%	0.00%	27.64%	1.51%	0.50%	0.50%	2.01%



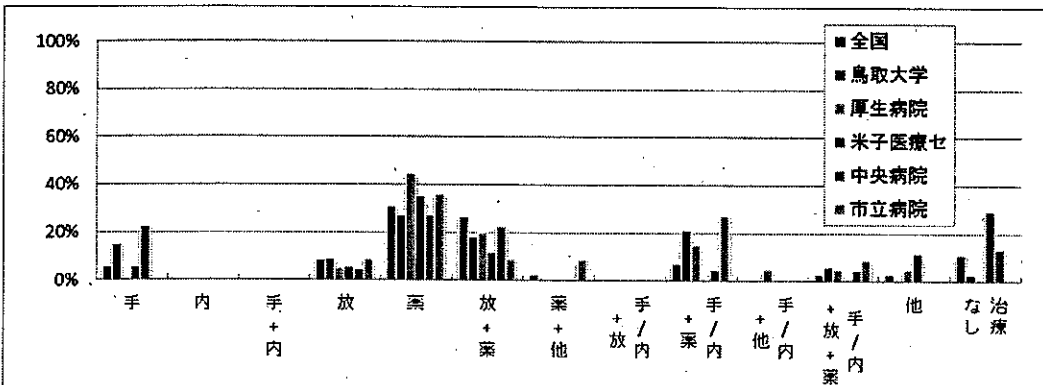
治療前ステージⅢ期 (自施設初回治療、癌腫、UICC-TNM分類) : 施設、治療方法別

(1) 集積件数

施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	10,143	593	8	2	867	3,156	2,718	247	45	727	8	282	341	1,149
鳥取大学医学部附属鳥取院	33	5	0	0	3	9	8	0	0	7	0	2	0	1
鳥取県立厚生病院	20	0	0	0	1	9	4	0	0	3	1	1	1	0
独立行政法人国立病院機構米子医療センター	17	1	0	0	1	6	2	0	0	0	0	0	2	5
鳥取県立中央病院	22	5	0	0	1	6	5	0	0	1	0	1	0	3
鳥取市立病院	11	0	0	0	1	4	1	1	0	3	0	1	0	0
計	103	11	0	0	7	34	18	1	0	14	1	5	3	9

(2) 治療割合

施設名	総数	手	内	手+内	放	薬	放+薬	薬+他	手/内+放	手/内+薬	手/内+他	手/内+放+薬	他	治療なし
全国	-	5.85%	0.08%	0.02%	8.55%	31.12%	26.80%	2.44%	0.44%	7.17%	0.08%	2.78%	3.36%	11.33%
鳥取大学医学部附属鳥取院	-	15.15%	0.00%	0.00%	9.09%	27.27%	18.18%	0.00%	0.00%	21.21%	0.00%	6.06%	0.00%	3.03%
鳥取県立厚生病院	-	0.00%	0.00%	0.00%	5.00%	45.00%	20.00%	0.00%	0.00%	15.00%	5.00%	5.00%	5.00%	0.00%
独立行政法人国立病院機構米子医療センター	-	5.88%	0.00%	0.00%	5.88%	35.29%	11.76%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	11.76%	29.41%	29.41%
鳥取県立中央病院	-	22.73%	0.00%	0.00%	4.55%	27.27%	22.73%	0.00%	0.00%	4.55%	0.00%	4.55%	0.00%	13.64%
鳥取市立病院	-	0.00%	0.00%	0.00%	9.09%	36.36%	9.09%	9.09%	0.00%	27.27%	0.00%	9.09%	0.00%	0.00%
計	-	10.68%	0.00%	0.00%	6.30%	33.01%	17.48%	0.97%	0.00%	13.58%	0.97%	4.85%	2.91%	8.74%



カ がん拠点病院における5年生存率

※県内の各拠点病院のデータについては症例の背景（年齢等）や予後調査の方法が各病院で異なる可能性があり、このことが生存率に影響を与えることもあるため、あくまで参考データである。  
 今後、院内がん登録や予後調査の充実により、共通した客観的なデータを示していく予定。  
 なお、全国がん成人病センター協議会のデータは、県内施設のデータと時期をあわせるため、ほぼ同時期の集計データを使用した。

〈表 50〉

がん拠点病院における5年生存率																
出典：全国がん(成人病)センター協議会加盟施設「がんの統計111」 各がん診療連携拠点病院ホームページ																
癌種	対象期間	最大症数期間		最立上期間		最立上期間		最立上期間		最立上期間						
		人数	生存率	人数	生存率	人数	生存率	人数	生存率	人数	生存率					
胃がん	平成11年～平成15年	全例	12,416	87.8	全例	24	85.8	全例	104	92.0%	全例	221	93.20%	全例	0	-
		Ⅰ期	1,932	62.0	Ⅰ期	0	-	Ⅰ期	32	89.8%	Ⅰ期	123	92.70%	Ⅰ期	0	-
		Ⅱ期	2,448	40.5	Ⅱ期	0	-	Ⅱ期	30	76.7%	Ⅱ期	36	77.80%	Ⅱ期	37	92.2
		Ⅲ期	4,067	7.2	Ⅲ期	8	0	Ⅲ期	23	55.0%	Ⅲ期	30	40.00%	Ⅲ期	112	86.6
		Ⅳ期	2,909	-	Ⅳ期	32	71.8	Ⅳ期	10	20.0%	Ⅳ期	28	17.90%	Ⅳ期	17	60
		不明	29,772	63.2	不明	-	-	不明	73	7.0%	不明	68	4.40%	不明	15	50
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	13	16.7
		ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	28	34.6
		ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	40	5.3
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	197	81.3
肺がん	平成11年～平成15年	全例	7,904	71.7	全例	23	71.8	全例	18	66.7%	全例	46	94.4	全例	0	-
		Ⅰ期	1,803	39.3	Ⅰ期	15	48.2	Ⅰ期	12	83.3%	Ⅰ期	34	88	Ⅰ期	30	83.3
		Ⅱ期	5,704	18.6	Ⅱ期	42	20.1	Ⅱ期	4	50.0%	Ⅱ期	16	52	Ⅱ期	18	38.9
		Ⅲ期	5,887	4.3	Ⅲ期	55	5	Ⅲ期	2	50.0%	Ⅲ期	12	51	Ⅲ期	48	66.7
		Ⅳ期	1,775	-	Ⅳ期	136	36.2	Ⅳ期	12	8.3%	Ⅳ期	10	0	Ⅳ期	3	66.7
		不明	23,079	35.8	不明	-	-	不明	11	18.2%	不明	118	68.7	不明	7	42.9
		合計	-	-	合計	-	-	合計	48	7.9%	合計	-	-	合計	10	50
		ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	17	37.5
		ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	12	18.2
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	29	29.6
大腸がん	平成11年～平成15年	全例	2,209	89.0	全例	54	98.1	全例	16	92.3%	全例	46	50.8	全例	8	100
		Ⅰ期	1,860	79.1	Ⅰ期	81	91	Ⅰ期	30	91.3%	Ⅰ期	12	72.9	Ⅰ期	21	100
		Ⅱ期	2,319	69.0	Ⅱ期	144	80.8	Ⅱ期	41	77.1%	Ⅱ期	9	0	Ⅱ期	27	73.1
		Ⅲ期	1,611	13.7	Ⅲ期	106	68.9	Ⅲ期	32	68.0%	Ⅲ期	-	-	Ⅲ期	20	55
		Ⅳ期	1,940	-	Ⅳ期	43	39.2	Ⅳ期	22	47.1%	Ⅳ期	-	-	Ⅳ期	15	33
		不明	9,939	66.6	不明	81	19.4	不明	32	0%	不明	-	-	不明	35	48.7
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	23	-
		ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	14	68.8
		ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	11	45.5
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	42	28.8
肝臓がん	平成11年～平成15年	全例	1,257	49.5	全例	12	66.7	全例	6	100.0%	全例	17	68.8	全例	11	45.5
		Ⅰ期	1,647	37.7	Ⅰ期	38	75	Ⅰ期	13	46.2%	Ⅰ期	32	56.4	Ⅰ期	14	30.9
		Ⅱ期	1,478	17.7	Ⅱ期	24	52.2	Ⅱ期	19	15.8%	Ⅱ期	31	32.4	Ⅱ期	9	22.2
		Ⅲ期	1,074	7.7	Ⅲ期	9	37.5	Ⅲ期	4	5.0%	Ⅲ期	14	34.2	Ⅲ期	-	-
		Ⅳ期	1,262	-	Ⅳ期	83	62.7	Ⅳ期	1	0%	Ⅳ期	93	47.4	Ⅳ期	8	-
		不明	6,718	26.5	不明	-	-	不明	-	-	不明	-	-	不明	-	-
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	42	28.8
		ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-
		ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-
乳がん	平成11年～平成15年	全例	5,850	95.7	全例	11	100	全例	25	100.0%	全例	-	-	全例	13	100
		Ⅰ期	10,226	90.9	Ⅰ期	42	95.1	Ⅰ期	7	100.0%	Ⅰ期	-	-	Ⅰ期	45	97.7
		Ⅱ期	2,057	89.7	Ⅱ期	70	92.8	Ⅱ期	14	78.6%	Ⅱ期	-	-	Ⅱ期	29	96.4
		Ⅲ期	1,064	32.2	Ⅲ期	9	88.9	Ⅲ期	6	66.7%	Ⅲ期	-	-	Ⅲ期	5	80
		Ⅳ期	1,832	-	Ⅳ期	10	58.3	Ⅳ期	4	75.0%	Ⅳ期	-	-	Ⅳ期	34	93.9
		不明	22,152	56.2	不明	-	-	不明	1	0%	不明	-	-	不明	2	100
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	1	-
		ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	-	-	ⅠⅡⅢ	4	100
		ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	-	-	ⅠⅡⅢⅣ	1	75
		合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	-	-	合計	2	-

(キ) がん医療提供体制にかかる現状と課題

- がん薬物療法専門医等の専門医の偏在（地域及び専門分野）
- 放射線専門医及び放射線専門技術者不足 p50 [資料 2]

## 6 がん 75歳未満死亡率が全国に比して高い要因と考えられること

死亡統計を分析した結果、高齢化が進行していることや人口規模が小さいことを考慮しても、鳥取県のがん75歳未満年齢調整死亡率は全国にみても高い(悪い)ことが確認された。

〈P2表1〉

また、全年齢での鳥取県のがん死亡率も全国に比べて高いものの、75歳未満における死亡率ほど顕著ではなく、比較的若い世代での改善の余地があると思われた。〈P4表6等〉

全国平均と本県の部位別75歳未満年齢調整死亡率を比較すると、ほとんどの部位で全国平均を上回っていた(悪かった)が、男性では肝、胃、肺、食道、膵の順に全国平均との差が大きく、女性では胃を筆頭に、卵巣、乳房、大腸の順に高い(悪い)結果であった。75歳未満の標準化死亡比でみると男性が女性に比べて高く、仮に全国並みの死亡状況と仮定した場合の死亡数(期待死亡数)を上回る超過死亡数でみると、男性の肝、胃、肺が死亡率を高くしている大きな要因であることがうかがわれた。〈P4表5~7〉

また、年齢階級別死亡率でみると、50歳代から70歳代前半の男性で全国平均を大きく上回り、肝、胃、肺の年齢階級別死亡率でも同様の傾向がみられた。さらに、出生時期別にみたデータでも、1940~50年生まれ、すなわち現在、60歳から70歳にかけての年代で全国平均等に比べて高い傾向が示された。〈P7表12, P13表15〉

さらに、従来は比較的、罹患率が低かった乳がんが近年、罹患率が上昇するとともに、75歳未満年齢調整死亡率も全部位では減少している中で上昇傾向にある。〈P5表8, P16表19等〉以上のような高い死亡率をもたらしている要因について検討したので、その概要を以下に示す。

### (1) 肝、胃、肺がんの死亡率が高い要因

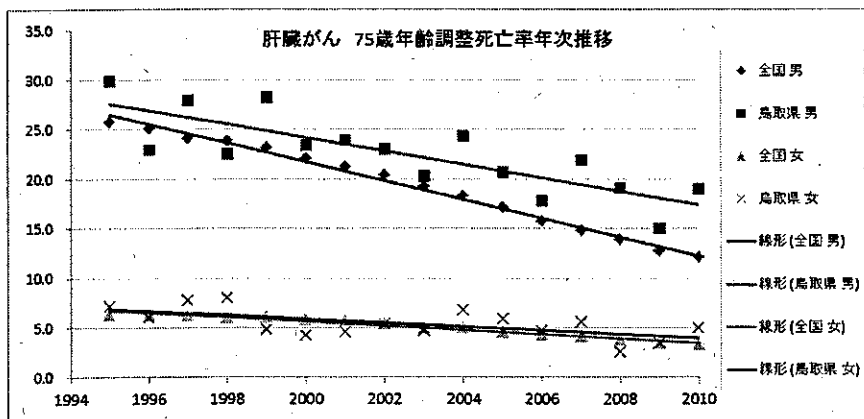
地域がん登録からみると、肝、胃、肺に限らず、多くの部位で罹患率が全国に比して高く、これが死亡率を高くしている1つの要因と考えられる。〈P14表16, P15表17等〉

さらに、それぞれの部位で罹患率及び死亡率が高くなっている要因としては次のようなことが考えられる。

#### ア 肝臓がん

鳥取県では全国に先駆けて、県のモデル事業として平成7~9年に県内全市町村を対象に肝炎ウイルス検査を実施した。その結果をみると、県内のウイルス陽性率は全国平均(平成14年度集計値 ※全国は平成14年度が検査実施の初年度)より高く、特にB型で中部、C型では東部が高い傾向がみられた。〈P31表33〉これは地域別の肝臓がん死亡状況とも一致〈P10~13表14〉し、肝炎ウイルス陽性率が高いことが肝臓がん死亡率を高めている大きな要因と思われる。

また、年代別でみるとB型では平成7~9年度検査時に陽性率が高かった40~50歳代が、現在の50~60歳代にシフトしていると思われるが、最近の検査を受けた人でも、この年代で全国平均を上回っていた。また、C型では最近の検査を受けた人の陽性率は全国平均並みだが、平成7~9年の結果から推測すると、現在の60~70歳代では、かなり



全国平均より高いのではないかとと思われる、高死亡率への関与が疑われる。〈P31表34~P32表36〉

## イ 胃がん

年齢階級別死亡率でみると、男性 50～70 歳代、女性 50 歳代で全国平均を上回り〈P7 表 12〉、地域別では男性では中部、東部、女性では東部で高い死亡率を示した。〈P10 表 14〉

塩分摂取や野菜摂取などの食生活の面では全国平均並みであったが、有意差はないものの女性 40～50 歳代で塩分摂取が多く、野菜摂取が少ない傾向がみられた。〈P28～29 表 30～31〉

ただ、サンプル数が少ないため、地域別の解析は出来ていない。

なお、胃がんの発生については、さまざまな研究でピロリ菌の関与が指摘されているが、当県における実態を把握したデータはない。胃がん死亡率や罹患率が高い要因の分析には、地域別、性・年齢階級別など実態把握が今後の課題である。

## ウ 肺がん

年齢階級別死亡率でみると、男性 50 歳代～70 歳代前半、女性 60 歳代で全国平均を上回り〈P7 表 12〉、地域別では男性の中部、女性の東部で全国平均を 10%以上、上回っていた。〈P10 表 14〉

肺がんの発生に大きく関与する喫煙率については、いくつかの調査があるが、国民生活基礎調査でみる限り、当県の喫煙率は男女とも全国平均を下回っている。ただ、年代別では男性 50～60 歳代の喫煙率だけは全国平均を上回り〈P25 表 25〉、これが男性の肺がん死亡率を高めている一因と考えられるほか、受動喫煙等の影響により、女性 60 歳代の肺がん死亡率を高めている可能性もあるものと思われる。なお、地域別の喫煙率のデータからは明らかな地域差はみいだせなかった。

### (2) 50 歳代から 70 歳代前半の男性で死亡率が高い要因

部位別では肝、胃、肺において、それぞれ 50 歳代から 70 歳代前半の男性の死亡率が高く、その要因としては既に述べたように、肝炎ウイルス陽性率が高いことや喫煙率が高いことなどが考えられる。このほか、40～50 歳代の男性で飲酒習慣のあるものの割合は全国平均を上回っており〈P27 表 29〉、飲酒が関与している可能性もあるが、多量飲酒者の状況など、さらなるデータの集積、分析が必要である。

がん検診の受診状況をみると、男性 40 歳代以降、年代が進むほど受診率が低下していく傾向があり〈P34 表 39〉、がんが増加してくる 50～60 歳代の受診率のさらなる向上が必要である。また、60 歳代の男性は職域でのがん検診から市町村が実施するがん検診に移行する時期であり、円滑な移行によりがん検診の受診機会が途切れないように配慮していく必要がある。

県内のがん拠点病院の院内がん登録データから治療開始前のがんの進行度の状況をみると、40～60 歳代の男性では他の年代に比べて、やや進行した症例の割合が高く〈P41〉、この点からみても、この年代におけるがん検診の一層の充実が必要である。

### (3) 乳がん等で従来は罹患率が高くなかったものの、現在、死亡率が高くなっている要因

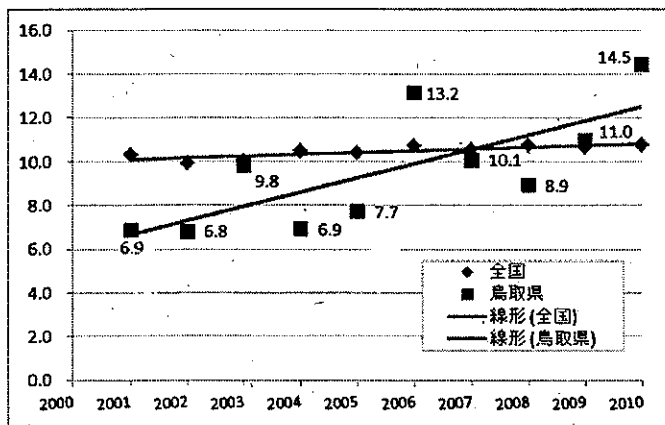
乳がんの罹患率は従来、全国平均を大きく下回っていたが、近年、急激に増加傾向となり全国平均を上回る状況になっている〈P20 表 21、P48 表 51〉。死亡状況では全年齢の標準化死亡比は全国平均を下回っているものの、75 歳未満の標準化死亡比は全国平均を上回り〈P11〉、75 歳未満年齢調整死亡率も多くの部位で減少傾向にある中で、大きく増加してきている〈P5 表 8〉。さらに年齢階級別死亡率でみると、40 歳代から 50 歳代前半の死亡率が全国平均を大きく上回っている〈P8〉。

県内で乳がんの増加をきたしている生活習慣上の課題は明らかではないが、女性の飲酒習慣は、50～60 歳代で全国平均を上回り〈P27 表 29〉、運動習慣（歩行数）では、60 歳未満で全国平均を下回る〈P30 表 32〉など、望ましくない生活習慣となっている可能性が示唆された。

次に 40～50 歳代のがん検診についてみると、女性のがん検診受診率は、男性に比べて低く、この年代における受診者増加に向けた取組みに改善の余地があると考えられた。

医療面では、公表されているデータが限られてはいるが、全国のがんセンターと県内のがん拠点病院の5年生存率を進行度別に比較してみると、若干のばらつきはみられるものの、県内の治療成績は全国で専門的ながん診療を行っている医療機関とほぼ同等であることが確認され、他の部位でも同様の傾向がみられた<P45>。また、がんの進行期別の治療方法について、県内のがん拠点病院の状況と全国平均を比べても極端な偏り等は見出せなかった<P42～44>。ただ、これらのデータだけでは化学療法や放射線治療の詳細な治療内容の比較は困難であり、今後、各医療機関が治療内容を積極的に公開し、医療機関相互で情報交換しながら治療レベルの均てん化や向上を図っていくことも必要である。なお、現在は全国的に集積できるデータはがん拠点病院に限られている状況にあるが、鳥取県ではがん拠点病院に準じる病院も含めて院内がん登録データを集積する体制が動き始めており、今後、これらのデータも活用して、県内のがん診療レベルの更なる向上を図ることが必要である。

<表 51> 乳がん 75歳年齢調整死亡率年次推移

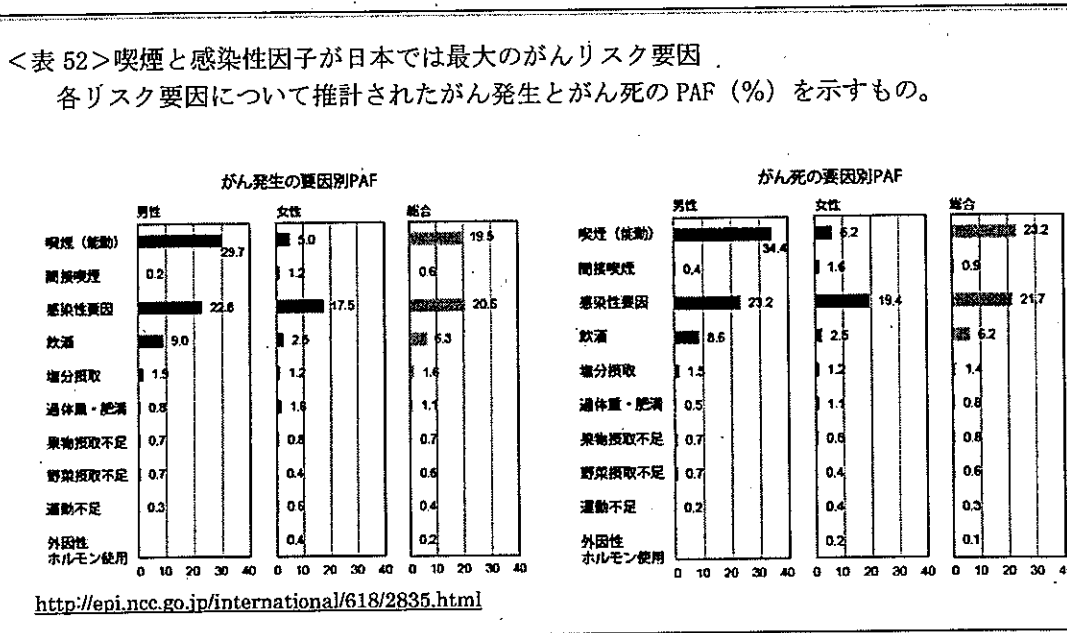




7 今後、重点的に取り組むべき対策

独立行政法人国立がん研究センター（がん予防・検診研究センター予防研究部）は、2005年に日本で発生した部位別のがんのPAF（population attributable fraction, 人口寄与割合）を推計。「日本におけるがんの原因—予防可能なリスク要因はがんの原因としてどの程度を占めるのか—」（Annals Of Oncology 23, 2011 in press）を発表。

これによると、日本では、喫煙（PAF 23.3%）と感染性因子（PAF 21.7%）が最大のがんリスク要因。



全国平均と比較して、特にがん死亡率が高い胃がん、肺がん、肝臓がんについては、がん予防、がん早期発見等の対策を強化すべきである。

なお、これらのがんについては、鳥取県において罹患率が全国平均より高いことが推定されている。肝臓がんについては、肝炎ウイルスの陽性率がB型、C型とも高いことの関与が疑われ、肺がんについては、鳥取県においても喫煙が大きく影響している可能性があり、これらへの対策が重要である。

胃がんについては、一般的にはピロリ菌等の関与が疑われるが、ピロリ菌除菌による胃がん死亡率減少の有効性については、国レベルにおいて現段階で十分な検証がなされていない。ピロリ菌対策については、今後の国の方針（見解）を見ながら、有効な対策を検討すべきである。

鳥取県のがん死亡率全体を早急かつ効果的に減少に導くためには、がんの早期発見やがん医療の推進とあわせて、たばこ対策と肝炎ウイルス対策を重点的に取り組むことが効果的である。

## < 強化推進すべき対策 >

- 1 がんに関する教育の推進
  - (1) 学校等でのがん教育の推進
  - (2) 食育やウオーキングの推進など、望ましい生活習慣の啓発
- 2 たばこ対策
  - (1) 禁煙支援、特に職域での取り組みの推進
  - (2) 受動喫煙防止、特に職域や飲食店、運動施設などでの取り組みの推進
  - (3) 防煙教育（子どもたちにたばこを吸わせない）の推進
- 3 肝炎対策の推進
  - (1) 県民に対する肝炎に関する正しい知識の普及
  - (2) 肝炎ウイルス検査受診機会の拡大
  - (3) 肝炎ウイルス陽性者に対する定期フォロー検査の推進
  - (4) 肝炎医療費助成制度の活用促進に向けた取り組み
- 4 がんの早期発見
  - (1) がん検診普及啓発（がん教育含む）
  - (2) がん検診を受診しやすい体制の推進（特に若い世代の乳がん、子宮がん）
  - (3) 働き盛りの検診の推進（職場でもがん検診が受けやすい体制の整備と啓発）
  - (4) 退職年齢（ハイリスク年齢）への職域検診から地域の検診へのスムーズな移行の推進
  - (5) 質の高いがん検診実施体制の推進
- 5 がん医療の推進
  - (1) がん治療施設及び機器の充実
  - (2) がん専門治療について専門的知識をもつ医師及びコメディカルの増加と質の向上
  - (3) 手術療法、放射線療法、薬物療法の医療資源の有効活用と高度専門的な医療を提供するため、拠点となる施設の体制強化（症例の集約化を含む）及び県内治療施設での標準的な治療水準の確保（均てん化）
  - (4) 地域がん登録、院内がん登録（がん拠点病院に準ずる病院を含む）の推進及びデータの活用（医療施設の客観的な評価を実施し、積極的に公表）

## 75歳未満年齢調整死亡率年次推移 (2001~2010)

部位	性別	都道府県	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
全部位	男女計	全国	100.3	97.0	94.7	94.9	92.4	90.0	88.5	87.2	84.4	84.3
		鳥取県	104.0	95.6	103.5	100.8	98.4	94.7	96.2	96.6	85.8	96.2
		順位	41	29	45	42	42	40	43	45	35	46
	男	全国	134.4	130.0	126.8	126.0	122.1	118.3	116.4	114.0	109.8	109.1
		鳥取県	142.2	135.3	142.2	139.3	133.2	134.2	128.4	133.2	114.2	128.5
		順位	41	37	44	45	40	45	42	46	36	45
	女	全国	69.8	67.4	65.9	67.0	65.6	64.3	63.2	62.9	61.3	61.8
		鳥取県	70.5	60.7	69.7	66.7	67.9	59.7	70.3	65.2	59.3	68.0
		順位	36	5	41	30	39	11	46	39	18	46
胃	男女計	全国	16.0	15.0	14.5	14.5	13.7	13.2	12.7	12.2	11.8	11.4
		鳥取県	16.6	17.7	17.3	16.3	15.2	14.0	15.7	14.4	13.4	14.9
		順位	28	45	45	39	38	34	44	42	42	45
	男	全国	23.4	21.9	21.5	21.1	20.1	19.5	18.8	18.0	17.4	16.9
		鳥取県	23.1	28.0	26.4	25.5	20.8	22.7	21.3	22.0	18.4	24.4
		順位	25	46	45	44	29	43	41	44	35	46
	女	全国	9.4	8.8	8.3	8.4	7.8	7.5	7.2	6.9	6.6	6.3
		鳥取県	10.9	8.4	9.1	8.1	10.3	6.4	11.0	7.8	8.7	6.2
		順位	44	13	37	18	47	7	47	38	46	18
気管、気管支及び肺	男女計	全国	16.5	16.1	15.3	15.8	15.8	15.5	15.3	15.3	14.9	15.1
		鳥取県	18.1	15.8	15.9	15.2	15.8	17.3	15.1	15.2	15.6	18.5
		順位	43	28	38	22	31	44	27	31	40	47
	男	全国	26.5	26.0	24.9	25.5	25.0	24.5	24.4	24.1	23.5	23.8
		鳥取県	29.0	26.1	25.0	24.1	25.3	29.0	24.6	24.6	24.0	30.7
		順位	41	29	28	15	26	46	32	28	34	46
	女	全国	7.5	7.2	6.7	7.0	7.1	7.2	7.1	7.2	6.9	7.0
		鳥取県	8.7	6.7	8.1	7.3	7.5	7.2	6.7	6.8	7.8	7.5
		順位	43	23	46	38	38	29	27	23	44	38
大腸	男女計	全国	11.9	11.6	11.6	11.6	11.2	10.9	10.9	10.5	10.1	10.3
		鳥取県	14.3	9.8	12.9	12.7	12.9	10.9	12.3	12.0	9.3	11.2
		順位	46	8	46	43	45	26	45	44	17	42
	男	全国	15.6	15.1	14.9	15.0	14.3	14.2	14.1	13.8	13.0	13.4
		鳥取県	18.7	11.6	17.0	14.3	17.6	16.5	15.4	13.6	14.3	13.5
		順位	45	4	44	21	47	44	42	22	39	34
	女	全国	8.6	8.5	8.6	8.6	8.3	7.9	7.9	7.5	7.5	7.6
		鳥取県	10.3	8.3	9.1	11.3	8.8	5.9	9.5	10.7	4.7	9.3
		順位	47	28	34	47	35	3	44	47	2	47
子宮	全国	4.2	4.3	4.2	4.3	4.3	4.3	4.2	4.4	4.2	4.5	
	鳥取県	5.1	4.8	4.1	5.4	5.6	3.0	4.4	2.6	2.8	4.5	
	順位	43	39	20	45	45	3	33	3	2	24	
乳房	全国	10.3	9.9	10.0	10.5	10.4	10.7	10.5	10.8	10.6	10.8	
	鳥取県	6.9	6.8	9.8	6.9	7.7	13.2	10.1	8.9	11.0	14.5	
	順位	2	1	30	1	5	46	26	7	34	47	
肝及び肝内胆管	男女計	全国	13.1	12.6	11.8	11.3	10.6	9.8	9.3	8.7	7.9	7.6
		鳥取県	13.7	13.7	12.1	15.3	13.0	11.0	13.3	10.3	9.0	11.6
		順位	29	33	30	44	37	34	45	39	32	47
	男	全国	21.2	20.4	19.2	18.3	17.1	15.7	14.8	13.9	12.7	12.1
		鳥取県	23.9	23.0	20.3	24.3	20.6	17.8	21.9	19.1	15.0	19.0
		順位	31	33	30	39	34	33	45	45	35	47
	女	全国	5.7	5.4	5.0	4.9	4.5	4.3	4.1	3.8	3.4	3.3
		鳥取県	4.6	5.4	4.7	6.8	5.9	4.7	5.6	2.6	3.5	4.9
		順位	9	27	27	42	39	33	43	4	25	47

75歳未満年齢調整死亡率年次推移 (2001~2010)

部位	性別	都道府県	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
卵巣	女	全国	3.8	3.7	3.7	3.9	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
		鳥取県	4.0	4.2	4.7	3.1	4.9	3.7	1.4	4.9	3.6	4.9
		順位	34	39	46	11	46	24	1	47	25	45
前立腺	男	全国	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.4	2.4
		鳥取県	4.5	3.2	2.6	3.3	2.4	2.6	3.3	3.1	2.3	2.2
		順位	47	38	18	39	12	25	43	42	20	17
膀胱の 悪性新生物	男女計	全国	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
		鳥取県	1.9	1.4	1.5	0.8	1.6	1.4	0.6	1.6	0.7	1.3
		順位	47	47	45	13	47	47	3	47	12	46
	男	全国	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4
		鳥取県	3.4	2.1	2.5	1.6	2.3	2.3	0.7	2.8	1.1	2.2
		順位	47	43	45	25	43	47	3	47	15	44
	女	全国	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4
		鳥取県	0.5	0.7	0.6	0.2	0.9	0.7	0.4	0.5	0.2	0.5
		順位	33	46	44	5	47	42	27	39	13	41
悪性リンパ腫	男女計	全国	2.7	2.6	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2
		鳥取県	2.4	2.1	2.5	2.7	4.0	1.4	3.5	3.2	2.5	1.8
		順位	8	8	21	38	47	1	47	46	38	8
	男	全国	3.6	3.5	3.4	3.3	3.0	3.0	3.0	2.9	3.0	2.8
		鳥取県	2.8	3.5	3.3	3.3	6.2	2.2	4.0	4.4	3.0	2.8
		順位	5	27	23	27	47	4	45	44	24	22
	女	全国	1.9	1.9	1.8	1.7	1.7	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6
		鳥取県	2.1	1.0	1.6	2.0	1.8	0.7	3.1	2.2	2.1	1.0
		順位	27	2	20	39	33	1	47	44	44	3
白血病	男女計	全国	3.0	2.9	2.9	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.5	2.6
		鳥取県	3.4	3.4	4.3	2.6	2.4	1.6	2.7	2.0	2.3	1.7
		順位	37	38	41	24	16	1	28	6	22	2
	男	全国	3.9	3.7	3.6	3.4	3.5	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3
		鳥取県	4.7	4.7	5.6	4.1	2.7	1.9	3.4	2.3	3.1	2.1
		順位	37	40	42	37	8	1	26	7	21	3
	女	全国	2.3	2.1	2.2	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9	1.8	1.8
		鳥取県	2.1	2.1	3.2	1.3	2.3	1.3	2.1	1.8	1.7	1.4
		順位	21	24	40	4	33	5	32	25	21	5
食道	男女計	全国	4.3	4.2	4.2	4.1	3.9	3.9	4.0	3.9	3.7	3.7
		鳥取県	4.5	4.1	5.1	4.4	4.0	3.9	5.3	5.1	4.6	3.2
		順位	34	27	43	36	31	30	47	47	45	17
	男	全国	8.1	7.7	7.8	7.5	7.3	7.2	7.3	7.1	6.8	6.7
		鳥取県	9.1	7.8	10.1	8.8	7.4	7.7	9.5	10.1	8.6	5.8
		順位	37	28	44	41	30	34	46	47	45	17
	女	全国	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.9	0.9	0.9	0.9
		鳥取県	0.5	0.8	0.5	0.4	1.2	0.4	1.5	0.5	0.8	0.9
		順位	16	30	8	4	44	9	46	12	31	31
胆のう 及び他の胆道	男女計	全国	3.7	3.5	3.4	3.3	3.3	3.2	3.0	3.0	2.9	2.8
		鳥取県	2.9	2.1	2.6	3.7	3.3	3.3	3.3	3.9	3.2	2.3
		順位	3	1	2	35	25	31	37	45	32	5
	男	全国	4.2	4.2	4.0	3.8	3.9	3.8	3.7	3.7	3.6	3.4
		鳥取県	2.9	2.9	4.5	5.4	3.7	5.2	3.0	3.7	4.6	2.6
		順位	2	1	38	45	17	42	5	29	42	3
	女	全国	3.2	3.0	2.9	2.8	2.7	2.6	2.4	2.4	2.3	2.3
		鳥取県	3.0	1.5	1.0	2.3	2.8	1.7	3.7	4.2	2.0	2.1
		順位	14	1	1	3	27	1	47	47	12	12
痔	男女計	全国	6.2	6.1	6.3	6.5	6.6	6.4	6.4	6.7	6.7	6.8
		鳥取県	5.8	5.5	8.0	7.8	6.1	7.2	6.4	8.0	6.5	7.0
		順位	10	9	46	46	16	43	28	44	18	29
	男	全国	8.2	8.1	8.3	8.5	8.6	8.4	8.4	8.7	8.7	8.7
		鳥取県	7.5	7.9	10.4	10.0	10.0	10.7	7.7	10.7	9.3	9.9
		順位	11	21	43	41	41	44	16	44	35	43
	女	全国	4.4	4.3	4.6	4.6	4.7	4.5	4.6	4.8	4.9	5.1
		鳥取県	4.4	3.2	6.1	5.7	2.6	4.1	5.1	5.6	3.8	4.3
		順位	25	2	47	46	1	16	36	42	7	7

資料 2

がん診療連携拠点病院における専門医療従事者の配置状況

(出典：平成 24 年度がん診療連携拠点病院現況報告より)

※常勤の人数

医師	計	島大	県中	市立	厚生	米七
(社) 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	5	2	2	1	0	0
(社) 日本病理学会 病理専門医	5	3	1	1	0	0
(社) 日本肝臓学会 肝臓専門医	18	10	3	1	2	2
(社) 日本血液学会 血液専門医	7	3	3	1	0	0
(社) 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	23	16	3	1	0	3
(財) 日本消化器病学会 消化器病専門医	33	18	5	2	4	4
有限責任中間法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	22	11	3	2	3	3
特定非営利活動法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	15	10	4	1	0	0
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	8	5	1	0	1	1
(社) 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	28	9	5	3	5	4
有限責任中間法人 日本乳癌学会 乳癌専門医	3	2	0	1	0	0
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	3	2	1	0	0	0
特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	5	3	2	0	0	0
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	7	4	1	1	0	1
日本緩和医療学会 緩和医療専門医	0	0	0	0	0	0
がん治療認定医機構 がん治療認定医	30	44	15	13	3	5
日本IVR学会 IVR専門医	1	4	1	0	1	0
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価	12	2	6	3	0	1
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医師B評価	12	3	6	0	0	3
<b>歯科医師</b>	<b>計</b>	<b>島大</b>	<b>県中</b>	<b>市立</b>	<b>厚生</b>	<b>米七</b>
(社) 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	2	5	1	0	0	0
(社) 日本病理学会 口腔病理専門医	0	0	0	0	0	0
<b>看護師</b>	<b>計</b>	<b>島大</b>	<b>県中</b>	<b>市立</b>	<b>厚生</b>	<b>米七</b>
(社) 日本看護協会 がん看護専門看護師	2	1	1	0	0	0
(社) 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	6	1	1	2	1	1
(社) 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	0	0	0	0	0
(社) 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	0	0	0	0	0
(社) 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	7	2	1	2	1	1
(社) 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	4	1	1	1	0	1
(社) 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	0	0	0	0	0
(社) 日本看護協会 手術看護認定看護師	1	1	0	0	0	0
(社) 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	1	0	0	0	0	1
日本IVR学会認定看護師	14	6	8	0	0	0
<b>その他専門的技術・知識を有する医療従事者</b>	<b>計</b>	<b>島大</b>	<b>県中</b>	<b>市立</b>	<b>厚生</b>	<b>米七</b>
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0	0	0	0	0	0
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	6	3	1	1	0	1
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	0	0	0	0	0
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	9	4	0	1	4	0
日本臨床細胞学会 細胞検査士	16	4	5	3	3	1
NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	16	4	4	2	4	2
日本医学放射線学会 医学物理士	2	1	0	1	0	0
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	7	3	2	1	0	1
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	10	4	2	1	2	1
四病院団体協議会/医療研修推進財団 診療情報管理士	16	3	2	7	2	2

